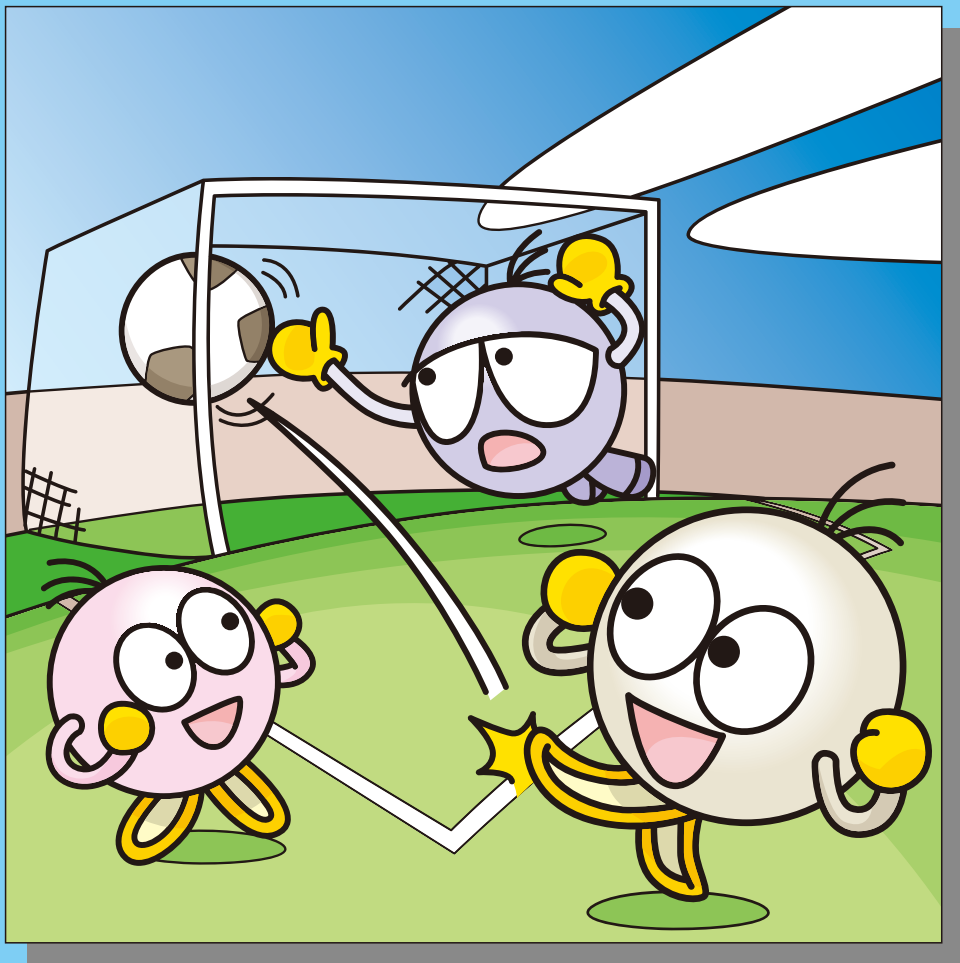


在日フィリピン人児童のための算数教材

# 掛け算マスター・

# 日本語クリアー

日本人指導者用





## 在日フイリピン人児童のための算数教材 『掛け算マスタ―日本語クリアー』

### 指導者用 目次

\* Nは名詞、Vは動詞の意味

| 課  | タイトル                    | 指導内容                                                                                         | 日本語の表現                                                                                                      | ページ |
|----|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1課 | 「3 こずつ 4 さらぶんで 12こ」     | ① 「A個ずつ」という考え方と正しい方を理解する。<br>② 「1 つぶん」という考え方と正しい方を理解する。<br>③ 「A個ずつB皿ぶんでC個」という考え方と正しい方を理解する。  | ① 同じ数を繰り返し計上する表現「～(数詞) ずつ」<br>② ある数を1つの単位としてみなす表現「～(数詞) ぶん」<br>③ 総和を表す助詞「で」                                 | 1   |
| 2課 | 「3 かける 4 は 12」          | ① 掛け算の意味と記号「×」の正しい方を理解する。<br>② 「1 つぶん」の大きさを把握して、掛け算を使って全体量を求められるようにする。                       | ① 「×」の正しい方および、掛け算の式の読み方を知る。<br>② 「かけざん」という用語を知る。                                                            | 8   |
| 3課 | 「3 cmの 3 ばい」            | ① 「いくつぶん」の概念を知る。<br>② 「いくつぶん」と「何倍」の関係、および「～のA倍」の正しい方を知る。                                     | ① 「□が□つぶんで□」<br>(例) 3 cmのテープが2つぶんで6 cmです。<br>② 「A倍」「□のA倍」(例) 2この3 ばいでは6 こです。                                | 13  |
| 4課 | 「九九」                    | ① 「□のA倍」を足し算で計算していると手間がかかることに気づく。<br>② 掛け算九九を覚えると計算が速くなり便利であることを知る。<br>③ 五の段と二の段の九九の正しい方を知る。 | ① 算数用語「九九」「□の段」および、五の段と二の段の九九の正しい方<br>② 「A個ずつB個分でC個」                                                        | 20  |
| 5課 | 「1 ふくろ ふえると、なんこ ふえますか。」 | ① 三の段と四の段の九九の構成と正しい方を知る。<br>② 掛ける数が「1」大きくなると、答えが「掛けられる数」の分だけ大きくなることに気づく。                     | ① 三の段と四の段の九九の正しい方<br>② 「1 袋増えと、みかんはA個増えます。」                                                                 | 28  |
| 6課 | 「1 おおきくなると」             | ① 六の段と七の段の九九の構成と正しい方を知る。                                                                     | ① 六の段と七の段の九九の正しい方<br>② 「増える」と「大きくなる」の2つの正しい方があることに気づく。                                                      | 35  |
| 7課 | 「なんこ たべることになりますか。」      | ① 八の段と九の段および一の段の九九の構成と正しい方を知る。                                                               | ① 八の段と九の段および一の段の九九の正しい方<br>② 期間などを単位とした正しい方「で」(例) 1 週間で、2 日で<br>③ 動作をした結果を表す正しい方「Vことになる」<br>(例) 3 個食べることになる | 42  |
| 8課 | 「3 はこぶんで いくつになりますか。」    | ① 掛け算を適用する場面に慣れる。                                                                            | ① 「A個分で」「何個になるか」などの正しい方の復習                                                                                  | 51  |
| 9課 | 「いれかえても おなじ」            | ① 掛け算では掛ける数と掛けられる数を入れ替えても答えは同じであること(乗法の交換法則)を理解する。                                           | ① 「入れ替えても(答えは) 同じ」                                                                                          | 55  |

| 課   |                   | タイトル | 指導内容                                                                                                                              | 日本語の表現                                                                                | ページ |
|-----|-------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 10課 | 「0のかけざん」          |      | ① 0を掛けると答えは0になる場面を理解し、 $\square \times 0 = 0$ の式で表すことを理解する。<br>② 0にどんな数を掛けても答えは0になる場面を理解し、 $0 \times \square = 0$ の式で表すことを理解する。   | ① 「おはじき」「はじく」「とくてん」<br>② N1のN2のN3 「0点のどころの得点」                                         | 62  |
| 11課 | 「わけてあわせて」         |      | ① 乗法の交換法則を理解する。<br>「かけられる数」を2つに分けて計算し、あとでそれぞれの答えを足して、元の掛け算と比べてみる。<br>「かける数」を2つに分けて計算し、あとでそれぞれの答えを足して、元の掛け算と比べてみる。                 | ① 「もとめる」「ほうほう」「答えをだす。」<br>② N1はN2とN3をVたN4。「8は5と3を合わせた数」                               | 69  |
| 12課 | 「10こずつ3ふくらで」      |      | ① 「10×（1位数）」の掛け算の答えの求め方を理解する。<br>② 「（1位数）×10」の掛け算の答えの求め方を理解する。<br>③ 既習内容を用いて「（2位数）×（1位数）」の掛け算ができることに気づく。                          | ① 1（単位）にNはいくつあるかを表す言い方。<br>「1袋にみかんはいくつあるか。」<br>② 同じ数だけ繰り返し行われる表現 「□個ずつV」（例）「2個ずつ増える。」 | 78  |
| 13課 | 「20×3や200×3のかけざん」 |      | ① 「何十×（1位数）」の掛け算の答えの求め方を理解する。<br>② 「何百×（1位数）」の掛け算の答えの求め方を理解する。                                                                    | ① いくつかある中で、ある部分を限定する言い方。<br>「900円で答えが合っているか」<br>「4箱の場合で確かめてみましょう。」                    | 85  |
| 14課 | 「23×3のかけざん」       |      | ① （2位数）×（1位数）の掛け算の筆算の方法を理解する。<br>② （2位数）×（1位数）で答えが3位数になる場合の計算方法を理解する。                                                             | ① 算数でよく使われる語句「代金」<br>算数特有の言葉「筆算」                                                      | 94  |
| 15課 | 「くりあがりのあるかけざん」    |      | ① （2位数）×（1位数）の掛け算で十の位で繰り上がりのある計算の方法を理解する。                                                                                         | ① 「Vずに〜」（例）「忘れずに〜。」<br>② 「正方形」「長方形」「辺」                                                | 103 |
| 16課 | 「213×3のかけざん」      |      | ① （3位数）×（1位数）の掛け算の筆算の方法を理解する。<br>② （3位数）×（1位数）で答えが4位数になる場合の計算方法を理解する。                                                             | ① 「1単位で[数]円のN」＋「～を[数]単位V」（例）1mで213円のリボンを3m買いました。                                      | 109 |
| 17課 | 「どこからかけてもおなじ」     |      | ① 3つの掛け算が用いられる場面を理解する。<br>② 3つの掛け算は、どれを先にかけても答えは同じになることを知る。<br>③ （ ）を使って3つの掛け算を計算する方法を理解する。                                       | ① 「[物]が[場所]に[数量]入っている。」という表現の複雑な言い方に慣れる。<br>（例）「1個85円のケーキが1箱に4個ずつ入っています。」             | 116 |
| 18課 | 「4×30のかけざん」       |      | ① （1位数）×（何十）の掛け算場面と計算の方法を理解する。<br>② $4 \times 30$ のような掛け算は、 $4 \times 3 \times 10$ で計算でき、その答えは $4 \times 3$ の積に「0」を加えた形になることに気づく。 | ① [数量]＋[動詞の連用形]の言い方<br>（例）5人掛け 3枚入り 6人乗り 10階建て                                        | 123 |
| 19課 | 「21×14のけいざん」      |      | ① （2位数）×（2位数）の掛け算の筆算を理解する。                                                                                                        | ① 順番を表す言い方に慣れる。<br>（例）まず そして つぎに さいに                                                  | 130 |

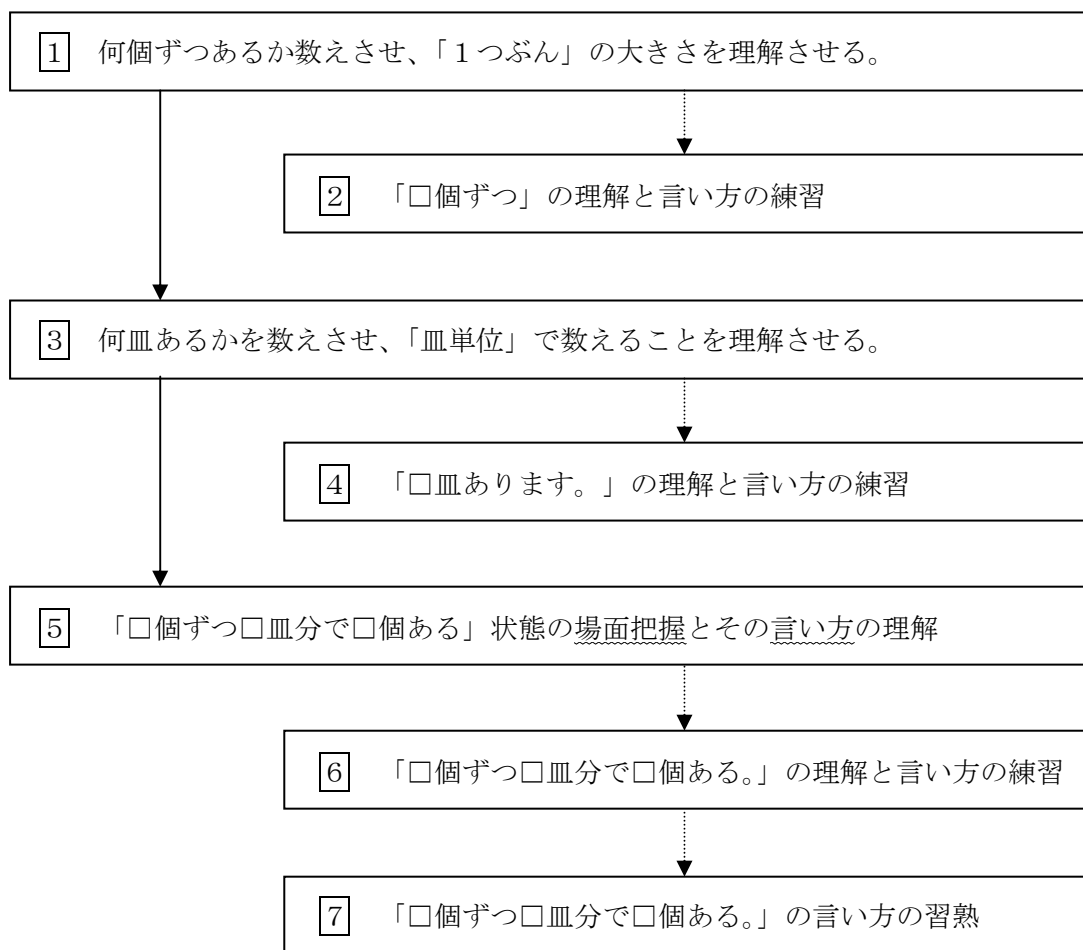
## 指導ポイント&ヒント

### 第1課 「3こずつ 4さらぶんで 12こ」

- 【指導内容】①「A個ずつ」という考え方と言い方を理解する。  
 ②「1つぶん」という考え方と言い方を理解する。  
 ③「A個ずつB皿ぶんでC個」という考え方と言い方を理解する。

- 【日本語】① 同じ数を繰り返し計上する表現「～（数詞）ずつ」  
 ② ある数を1つの単位としてみなす表現「～（数詞）ぶん」  
 ② 総和を表す助詞「で」

#### 【概念図】



- 【指導例】① 欄外上図で「何個ある」かを確認した後、①の図で「何個ずつ」あるか数えさせ、「1つぶん」の大きさを理解させる。
- (1) 「これは3個。これも3個。これも3個。これも同じ。3個。」と言って、皿にあるりんごを見て、それぞれ3個ずつあることを確認させる。
- (2) 「3個、3個、3個、3個。」と言って黒板に「3こずつ。」と書き、「こういうのを3個ずつといいます。」と言う。
- ② 「～こずつ」の言い方を練習させる。
- (1) 「何個ずつ?」「2個、2個、2個、2個。2個ずつ。」と言って、先に板書した。「3こずつ」の3を消し⇒「□こずつ」、□に2を書き入れる。「2こずつ」。
- (2) 2番・3番の問題を子どもに答えさせる。

③ 皿の数に注目させ、「いくつぶん」の概念を理解させる。

(1) 「これは皿といます。」「1, 2, 3, 4。4皿あります。」と言って図を指す。

④ 何皿あるか数えさせることで「□皿分」の基礎を養っておく。

(1) ①は教師と一緒に答えさせる。

例：「何皿ありますか。」すぐに答えられないようだったら「皿はいくつありますか。

1, 2, 3。」と言い換えてみる。「1, 2, 3。3皿あります。」

(2) ②以降を子どもに答えさせる。

⑤ 「1つ(皿)ぶん」の大きさと「いくつぶん」あるかで合計を算出する方法と言い方を理解させる。

(1) 「3, 3, 3, 3。3個ずつ。」「皿は1, 2, 3, 4, 4皿。」「3こずつ4さら**ぶん**で」と言いながら同じ文を板書する。

(2) 1皿ずつりんごを「3, 6, 9, 12。」と数え、「12こあります。」と言い、「12こあります。」を追加して板書する。

(3) もう一度「3個ずつ4皿分で12個あります。」とりんごや皿を指しながら言う。

＊「A[数詞]ぶん(B皿ぶん)」の意味はこのような事例をいくつも示すことによって「文脈」を通して理解させる。

⑥ 「1つ(皿)ぶん」の大きさと「いくつぶん」あるかで合計を算出する方法と言い方に慣れさせる。

(1) 板書した文の数字の部分を消して□にする。

「□こずつ □さら**ぶん**で □こあります。」

(2) ①の問題の図を見させ、指導者がりんごや皿を指差しながら「何個ずつ何皿分で何個ありますか。」と尋ねる。少し間を置いて、「4, 4, 4。4個ずつ。1, 2, 3。3皿で、4, 8, 12。12個あります。4個ずつ3皿で12個あります。」と言ひ、板書した「□こずつ □さら**ぶん**で □こあります。」の□にそれぞれの数を書き入れる。

(3) ②以降の問題を答えさせる。答えたら、数をテキストに書き入れさせる。

⑦ 本時の学習の復習をさせる。

(1) 「何個ずつ何皿で何個ありますか。書いて答えなさい。」と言って、問題をやらせる。

(2) 答えを書いたら、それを子どもに読ませる。

【注1】助数詞は、日本語力が不十分な子どもにとって、たいへんわかりにくい内容の一つなので、本教材では同じ課に「～個」と「～つ」が混ざらないようにしてあります。

今後「2本、5杯、6冊・・・」のように、数字に助数詞(またはそれに相当する名詞)がついて、ものの数え方を示す例が多く出てきます。これらの中には、「3本、6杯、8冊・・・」のように数字や助数詞の発音が変化する場合があります。これらは繰り返し、耳にし、目に触れることにより覚えていくものと考え、一度に1～10までの数え方をださずに、出てきたものだけについて発音に気をつけるようにするとよいでしょう。

【注2】数字の「4」「7」「9」は読み方が一つだけではなく、「4：4月4日4時4分」「7：7月7日」「9：1999年9月9日」のようにいくつもあり、子どもたちにとっては覚えるのが難しいです。しかし、どれも日常生活の中で頻度が高い語として使われるので、これらも出てきたものだけについて発音に気をつけるようにするとよいでしょう。



# 1 課/Lesson 1/Leksyon 1

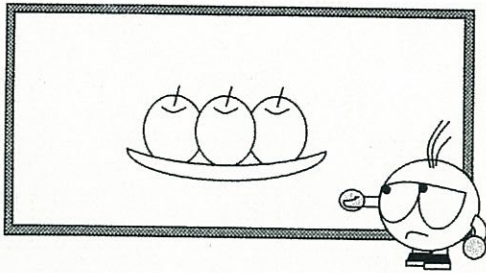
ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご | Words                                              | Mga salita                              |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| ずつ  | each                                               | tig- ~                                  |
| さら  | plate                                              | plato                                   |
| こ   | a piece/pieces (a counter for round, hard objects) | piraso (ng mabibilog, malalaking bagay) |
| ぶんで | number of plates/times/portions/ servings/parts    | parte; bahagi                           |

| ぶん                            | Phrases                                                         | Grupo ng mga salita                                                |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| りんごは(さらに)<br>なんこずつ あります<br>か。 | How many apples are there<br>on each plate?                     | Ilang mansanas ang nasa bawat plato?                               |
| さらは なんさら<br>ありますか。            | How many pieces of plates<br>are there?                         | Ilang piraso ang mga plato?                                        |
| 3 こずつ 4 さらぶん で<br>1 2 こ あります。 | 3 pieces (of something)<br>each on 4 plates makes 12<br>pieces. | Mayroong tig-3 mansanas sa 4 na plato.<br>Mayroong 12 na mansanas. |
| 3 かける 4 は 1 2                 | 3 times 4 equals 12.<br>$3 \times 4 = 12$                       | 3 paramihin ng 4 ay 12; $3 \times 4 = 12$                          |

1

3 こずつ 4 さらぶんで 1 2 こ

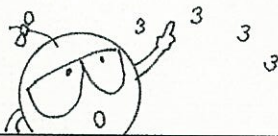


りんごは なんこ ありますか。

1

1 つぶんの大きさの理解

りんごは なんこずつ ありますか。



3 こずつ あります。



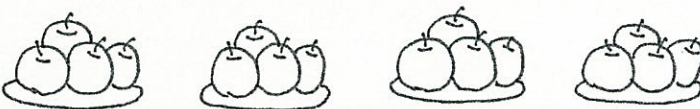
2

なんこずつ ありますか。

①



②

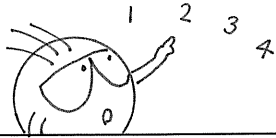
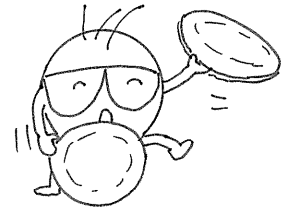


③



3

さらは なんさら ありますか。



4 さら あります。



4

なんさら ありますか。

①



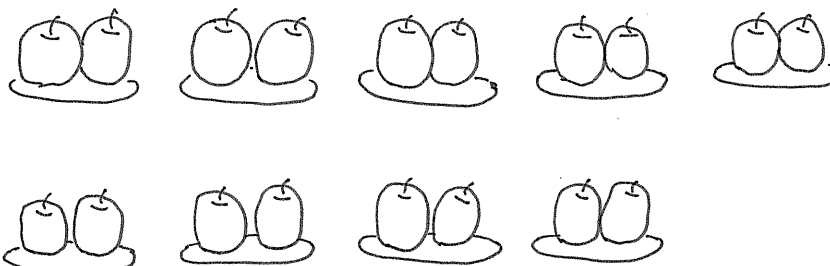
②



③



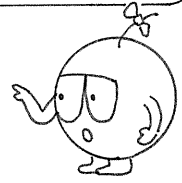
④





5

りんごは ぜんぶで 12 こ。



3 こずつ      4 さらぶんで      12 こ    あります。



6

①  こずつ     さらぶんで     こ    あります。



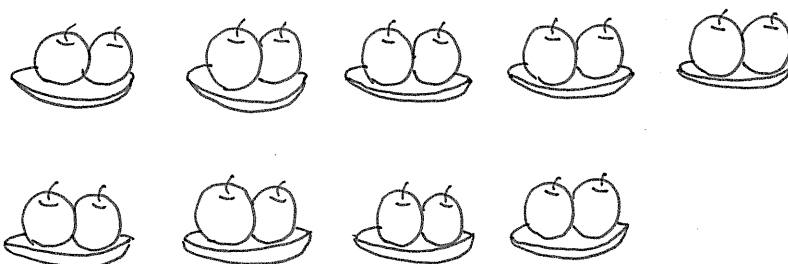
②  こずつ     さらぶんで     こ    あります。



③  こずつ     さらぶんで     こ    あります。



④  こずつ     さらぶんで     こ    あります。



なんこずつ なんさらぶんで なんこ ありますか。

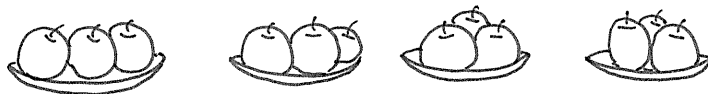
- ①  こずつ  さらぶんで  こ あります。



- ②  こずつ  さらぶんで  こ あります。



- ③ 3 こ   4 さら   で 12 こ あります。



- ④ 4 こ   5 さら    20 こ あります。



⑤



⑥



## 指導ポイント&ヒント

### 第2課 「3かける 4は 12」

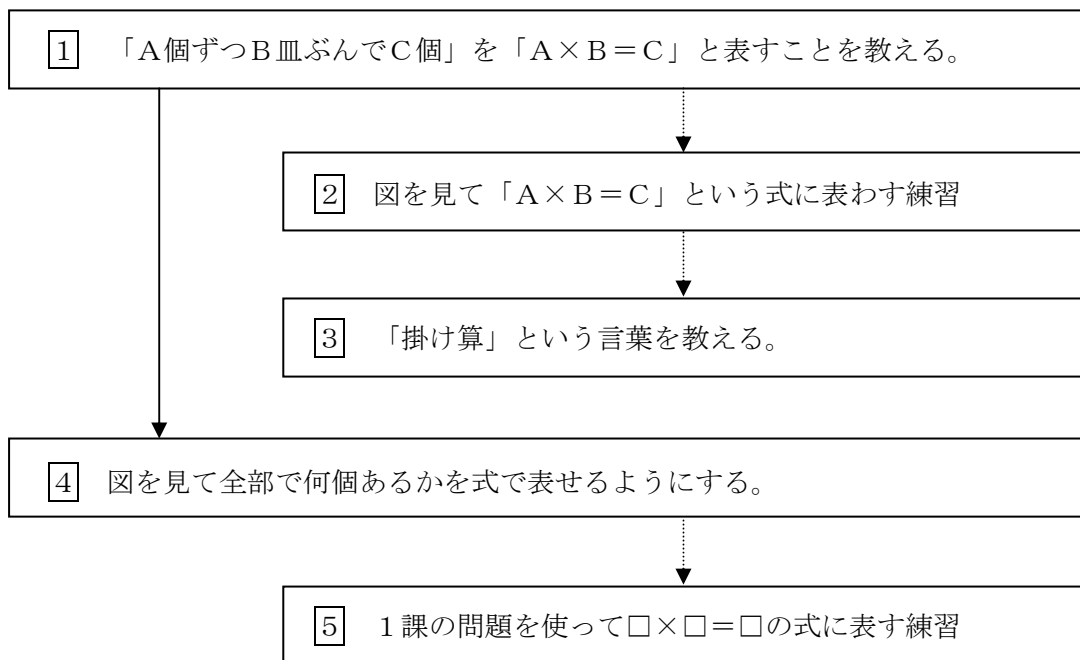
【指導内容】① 掛け算の意味と記号「 $\times$ 」の使い方を理解する。

② 「1つぶん」の大きさを把握して、掛け算を使って全体量を求められるようにする。

【日本語】① 「 $\times$ 」の言い方および、掛け算の式の読み方を知る。

② 「かけざん」という用語を知る。

【概念図】



【指導例】① 「A個ずつB皿ぶんでC個」を「 $A \times B = C$ 」と表すことを教える。

(1) 「ぶん」を指して教師が読んだ後、「3こずつ4さらぶんで12こ。」と板書する。

(2) 「しき」を指しながら「3かける4は12」と言い、「 $3 \times 4 = 12$ 」と板書する。

(3) 「 $3 \times 4 = 12$ 」を指しながら、もう一度「3かける4は12」と言う。

(4) 「 $3 \times 4 = 12$ 」を指しながら、子どもにも一緒に「3かける4は12」と言わせる。

② 図を見て「 $A \times B = C$ 」という式に表わすことができるようにする。

(1) テキストの図と文を指しながら、「絵を見て文と式を言いましょう。」と読む。

(2) ①の図を指し、「りんごは2個ずつ、皿は4皿。4皿分で8個。」と言いながら、図の上部に「2こ 4さら 8こ」と書く。

(3) 教師と一緒に「2個ずつ4皿分で8個。」と言わせる。

(4) 黒板にも「2こずつ4さらぶんで8こ。」と書く。

(5) 黒板に「 $\square \times \square = \square$ 」と書き、 $\square$ にそれぞれ2, 4, 8と書き入れる。

(6) 黒板の「 $2 \times 4 = 8$ 」を指しながら「2かける4は8」と言い、復唱させる。

(7) ②の図を指す。先の板書した「2こずつ4さらぶんで8こ。」の数字の部分消す。

(8) 「4こずつ、3さらぶん、12こ」と言って「 $\square$ こずつ  $\square$ さらぶんで  $\square$ こ。」の $\square$ に数字を書き入れる。 $(\square \times \square = \square)$ を言わせたいので、文は指導者が言ってもよい。

(9) 「 $\square \times \square = \square$ 」と板書し、 $\square$ に「4, 3, 12」と書き入れ、子どもに読ませる。

③ 「掛け算」という用語を教える。

- (1) 黒板に「 $3 + 4 = 7$ 」「 $2 + 4 = 6$ 」と書き、「これは足し算でしたね。いま勉強しているこれ（と言って「 $3 \times 4$ 」「 $2 \times 4$ 」を指す）を掛け算といいます。」と言う。
- (2) 「かけざん」と板書し、子どもに「かけざん」と言わせる。

**4** 図を見て全部で何個あるかを式で表せるようにする。

- (1) ①の図を示し、「2個ずつ6皿分、全部で何個あるでしょうか。」と尋ねる。
- (2) 「2個ずつだからここは2。6皿分だからここは6と書きます。」と言って、 $\square \times \square = \square$ に数字を書き込ませる。
- (3) 「全部で何個あるでしょうか。数えてみましょう。」と言って、「2, 4, 6」と数え、「全部で12個。」と言いながら $\square$ に12を書き入れる。
- (4) 式を指しながら「2かける6は12。」と言い、子どもにも言わせる。
- (5) ②を上記1～4のような方法で子どもにやらせる。
- 「何個ずつ? 何さら…、あっ、今度は皿ではないね。今度は箱です。何個ずつ何箱分?」と尋ねる。いきなり箱に変わること戸惑う子どももいるかもしれない。その恐れがあると思われる場合は、箱を皿の絵に描き直して出題する。
- (6) 「6個ずつ、3箱分だから…? この $\square$ には6、この $\square$ には3と書きますね。」と言ってテキストに数字を書き込ませる。
- (7) 「全部で何個あるでしょうか。数えてみましょう。6と6で12。12とまた6で18。全部で18個ですね。」と言って子どもに確認させる。
- ＊6を3回足すことを印象付けるため、「6と6で」「また6で」という言い方で合計数を言うようにする。
- (8) 「はい、この式を読んでみましょう。」と言って「 $6 \times 3 = 18$ 」の式を読ませる。
- 5** 第1課の問題を利用して理解を深めるための復習をさせる。



## 2課/Lesson 2/Leksyon 2

ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご  | Words                        | Mga salita                |
|------|------------------------------|---------------------------|
| かける  | times/multiplied by          | paramihin; multiply       |
| かけざん | multiplication               | multiplication            |
| え    | picture; illustration        | larawan                   |
| ぶん   | (mathematical) expression    | (mathematical) expression |
| しき   | math formula; equation       | math formula; equation    |
| ぜんぶで | in all; in total; everything | lahat                     |
| なんこ  | how many (pieces)?           | Ilang piraso?             |
| もんだい | math problem                 | math problem              |

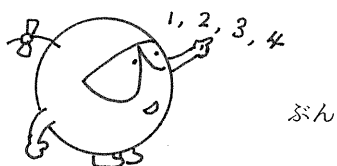
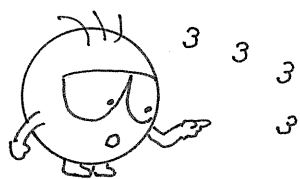
| ぶん                                                        | Phrases                                                                           | Grupo ng mga salita                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 かける 4 は 12                                              | 3 times 4 equals 12.<br>$3 \times 4 = 12$                                         | 3 paramihin ng 4 ay 12; $3 \times 4 = 12$                                                                                                 |
| $3 \times 4$ や $2 \times 4$ の<br>ような けいさんを<br>かけざんと いいます。 | calculation such as $3 \times 4$<br>and $2 \times 4$ are called<br>multiplication | Ang pagkalkula na ginagamitan ng mga<br>equations katulad ng $3 \times 4$ o $2 \times 4$ ay<br>tinatawag na multiplication o pagpaparami. |
| えをみて、ぶん と<br>しきを いいましょう。                                  | Look at the picture and say<br>math expression and<br>formula/equation.           | Tingnan ang larawan at sabihin ang tamang<br>math expression at formula.                                                                  |
| ぜんぶで なんこ<br>あるでしょうか。                                      | How many are there<br>altogether?                                                 | Ilang piraso lahat?                                                                                                                       |
| もんだいを しきで<br>あらわしましょう。                                    | Show the math problem<br>using an equation.                                       | Ipakita ang math problem sa pamamagitan<br>ng tamang equation.                                                                            |

2

# 3 かける 4 は 1 2

乗法の意味・記号「×」・用語「かける」の理解

1



ぶん

3 こずつ 4 さらぶんで 1 2 こ。

しき

$$3 \times 4 = 12$$

さん かける よん は じゅうに



1 つぶんの大きさの把握・乗法を使って全体量を求める

2

えをみて、ぶんとしきを いいましょう。

①



$$\square \times \square = \square$$

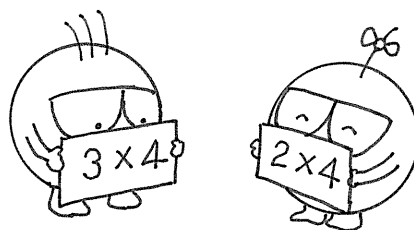
②



$$\square \times \square = \square$$

3

$3 \times 4$  や  $2 \times 4$  のようなけいさんを  
かけざんといいます。



4

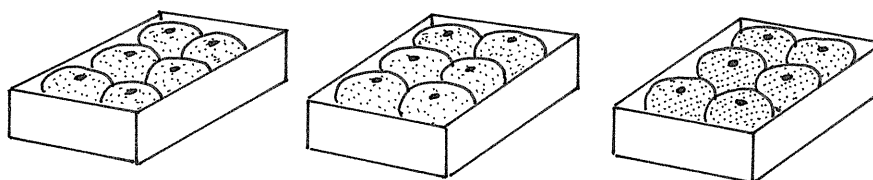
ぜんぶでなんこあるでしょうか。

①



$$\square \times \square = \square$$

②



$$\square \times \square = \square$$



5

1 かの もんだいを しきであらわしましょう。

## 指導ポイント&ヒント

### 第3課 「3cmの3ばい」

【指導内容】①「いくつぶん」の概念を知る。

②「いくつぶん」と「何倍」の関係、および「～のA倍」の言い方を知る。

【日本語】①「□が□つぶんで□」例：3cmのテープが2つぶんで6cmです。

②「A倍」「□のA倍」例：2この3ばいは6こです。

【概念図】

① テープ図を見て「いくつぶん」の概念と言い方を理解させる。

「3cmのテープが2つぶんで6cmです。」

② 「Aつぶん」を「A倍」ということを理解させる。

③ 図を見て「□cmの□倍は□cmです。」という練習

④ 図を見て「□cmの□倍は□cmです。」と言い、それを式に表す練習

【指導例】① テープのように連続した量についての「いくつぶん」の言い方

(1) 場面の確認：(テキストに記載されている) 3cmのテープを示し、「これは3cmのテープです。」と言う。

(2) 「2つぶん」の理解：3cmのテープが2つ並んでいる図を示し、「3cmのテープが2つ。」と言い、「1つ、2つ。2つぶん。2つぶんで6cm。」と言う。

(3) 「□つぶん」の確認：同じ手法で、「3つぶん」を説明する。最後の問題は子どもに「4つぶんで？」と言って「12cm」と答えさせる。ただし、この段階ではまだ九九を教えていないので、足し算(3+3+3+3)で計算させる。

(4) ①に書かれた日本語の文を読ませる。

② 「Aつぶん」と「A倍」の関係理解とその言い方

(1) 1つぶんのテープを指して、「1つ」と言う。

(2) 2つぶんのテープの1つずつを指して、「1つ、2つ。2つぶん。」と言う。

(3) 同様に、「3つぶん」「4つぶん」と言い、「Aつぶん」の復習をしておく。

(4) 2つぶんのテープを指し、「これ(1つぶん)の2倍。」と言う。

「□のA倍」という言い方は③できちんと押さえさせるので、ここでは「の」を弱く発音しておく。

(5) もう一度1つぶんのテープを指したあと、3つぶんのテープを指し「3倍」と言う。

(6) もう一度1つぶんのテープを指したあと、4つぶんのテープを指し「4倍」と言う。

(7) 2つぶんから順に「2倍、3倍、4倍。」と言い、「数」+「倍」の言い方に気づかせる。



(8) ②に書かれた日本語の文を読ませる。

③の1 「□のN倍」の言い方 記号「×」の意味

- (1) ここでは、「□のN倍」という言い方に慣れさせるのが「ねらい」。例題を指して「3 cm の2倍は6。6 cm です。」と言う。「3 cm の2倍は6。」でいったん区切るのがポイント。
- (2) 同様の方法で問題の①～③を言い聞かせる。
- (3) 問題の①～③の日本語文の□に、それぞれ「9、12、15」の数字を書き込ませる。
- (4) ①～③の日本語文を読ませる。
- (5) 例題の  $\boxed{3} \times \boxed{2} = \boxed{6}$  を見るように言う。
- (6)  $\boxed{3}$  を指し、「これは3 cm のこと。」  $\times$   $\boxed{2}$  を指し「これは2倍のこと。」と言う。
- (7) 「 $\boxed{3} \times \boxed{2} = \boxed{6}$  は3 cm の2倍は6 cm という意味なのです。」と言う。
- (8) 「この□に入る数は何でしょう？」と言いながら、①～③の式の空欄に数字を書き入れさせる。
- (9) ④の問題をやる。「2 cm の5倍は？」と尋ね、「2 + 2 + 2 + 2 + 2」の足し算をさせ、「10cm」と書かせ、式の空欄に数字を書かせる。

③の2 記号「×」の言い方 「掛け算」の言い方に慣れる。

- (1) 「3 + 2 = 5」と板書し、「3たす2は5」と言う。
- (2) その下に「3 × 2 = 6」と板書し、「×」を指して違いに気づかせたあと、「3かける2は6」と言う。（「かける」のとき強調して発音する。）
- (3) 「×」の下に「かける」と板書する。
- (4) 板書の「3 × 2 = 6」を指しながら子どもに読ませる。
- (5) テキストの例題の「×」のところに赤鉛筆で「かける」と書かせる。
- (6) ①～④の式を「3かける3は9」というように読ませる。
- (7) 板書の「3 + 2 = 5」の横に、「これは足し算といいましたね。」と言って、「たしざん」と書き、「3 × 2 = 6」の横に「これは掛け算といいましたか。」と尋ね、「かけざん」と書く。テキストの③の余白に赤鉛筆で「かけざん」と子どもにも書かせる。

④ みかんやりんごなどの分離した物（テープのようにつなげて量を測れない物）に応用発展させる。

- (1) 「これは何ですか？そう、みかんですね。今度はみかんを使って、2倍3倍の勉強をしましょう。」と言って、数えるものが変わったことを確認させる。
- (2) 例題の文を読ませる。「2個の3倍は6個です。2かける3は6。」
- (3) ①～⑤の文の□に数を入れさせたあと、文を読ませる。



### 3課/Lesson 3/Leksyon 3

ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご  | Words                              | Mga salita                                 |
|------|------------------------------------|--------------------------------------------|
| 2 ばい | 2 times; double                    | doble; 2 beses                             |
| 3 ばい | 3 times; triple                    | 3 beses                                    |
| ほん   | (counter for the number of sticks) | (Ginagamit na pambilang kung ilang libro.) |

| ぶん   | Phrases                                     | Grupo ng mga salita             |
|------|---------------------------------------------|---------------------------------|
| 5 ほん | 5 pieces (of something long or cylindrical) | 5 piraso ( ng mahahabang bagay) |

(注) 塗り潰しの部分は「ものの数え方」に関する日本語です。

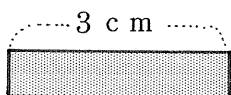
3

# 3 cm の 3 ばい

連続量についての「いくつぶん」の理解

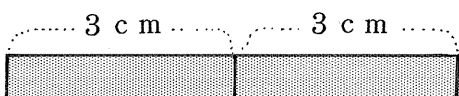
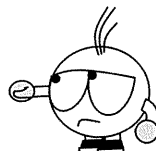
1

センチメートル



3 cm のテープ

cm



3 cm のテープが 2 つぶんで 6 cm です。



3 cm のテープが 3 つぶんで 9 cm です。



3 cm のテープが 4 つぶんで  cm です。



2

「いくつぶん」と「何倍」の関係の理解

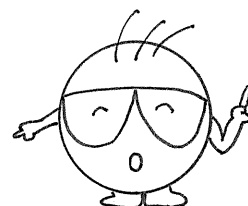


2 つぶんで 2 ばい と いいます。

ばい

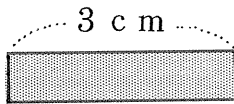


3 つぶんで 3 ばい と いいます。



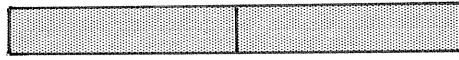
4 つぶんで  と いいます。

3

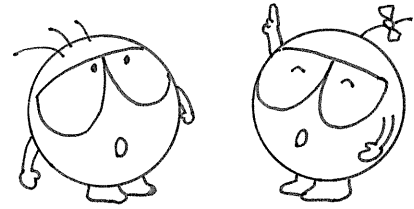


3 cmの 2 ばいは 6 cmです。

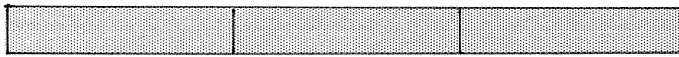
の  ばい



$$\begin{array}{c} \boxed{3} \\ \text{cm} \end{array} \times \begin{array}{c} \boxed{2} \\ \text{ばい} \end{array} = \begin{array}{c} \boxed{6} \\ \text{cm} \end{array}$$

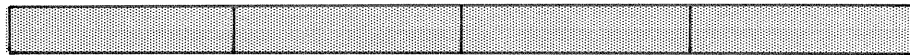


① 3 cmの 3 ばいは  cmです。



$$\boxed{3} \times \boxed{3} = \boxed{\phantom{00}}$$

② 3 cmの 4 ばいは  cmです。



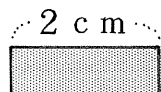
$$\boxed{3} \times \boxed{4} = \boxed{\phantom{00}}$$

③ 3 cmの 5 ばいは  cmです。



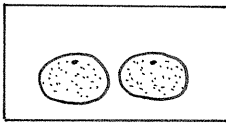
$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

④ 2 cmの 5 ばいは  cmです。

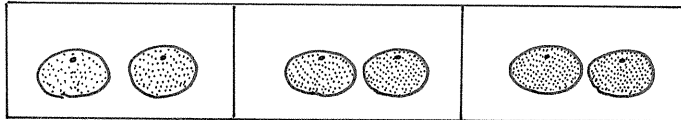


$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

えをみて ぶんとしきを いいましょう。



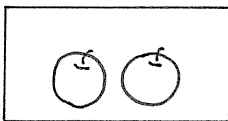
2 こ



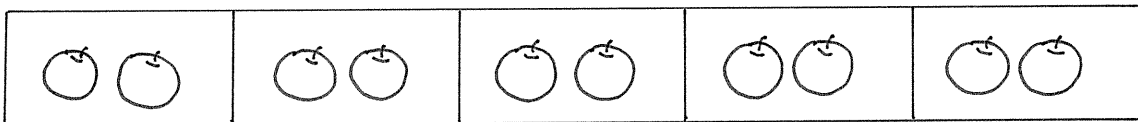
2 この 3 ばいは 6 こです。

$$\boxed{2} \times \boxed{3} = \boxed{6}$$

①



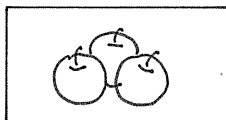
2 こ



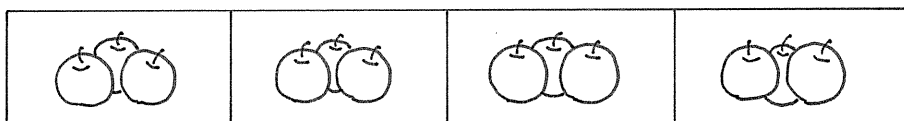
2 この  ばいは 10 こです。

$$\boxed{2} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{10}$$

②



3 こ

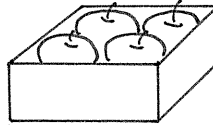
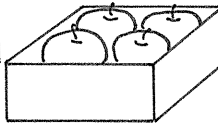
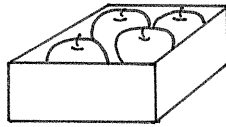
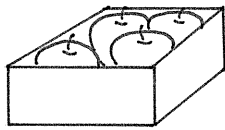


3 この  ばいは 12 こです。

$$\boxed{3} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{12}$$

③

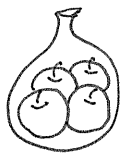
4 こ



4 この  ばいは  こです。  $4 \times \square = \square$

④

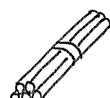
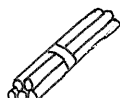
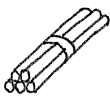
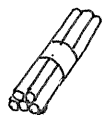
4 こ



4 この  ばいは  こです。  $\square \times \square = \square$

⑤

5 ほん



5 ほんの  ばいは  ほんです。

$$\square \times \square = \square$$

## 指導ポイント&ヒント

### 第4課 九九

【指導内容】①「□のA倍」を足し算で計算していると手間がかかることに気づく。

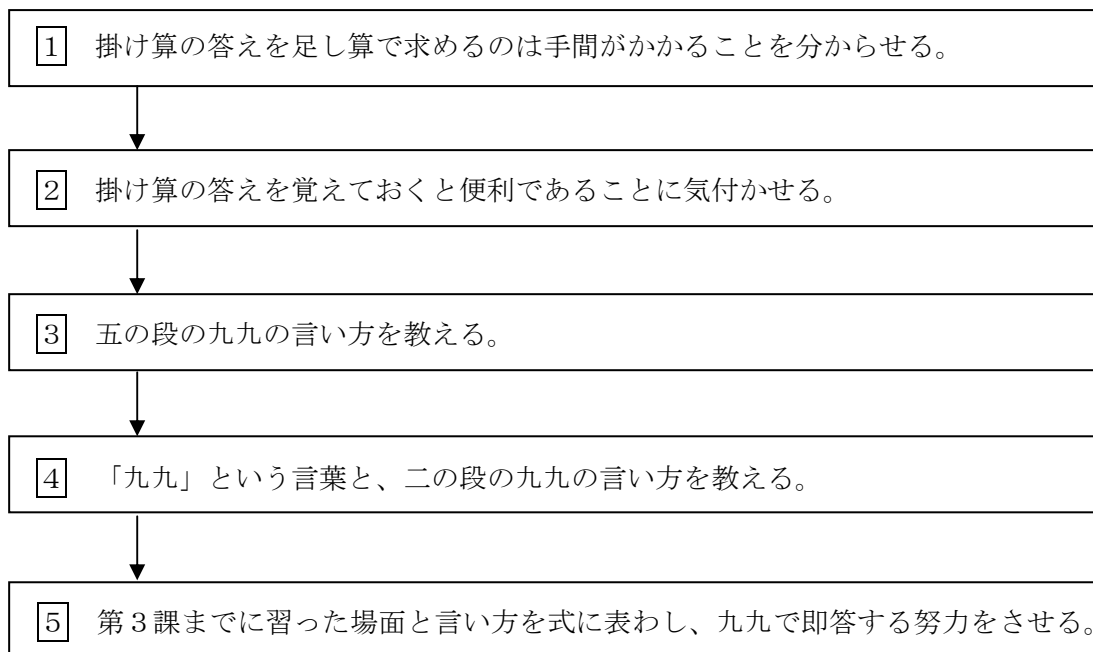
② 掛け算九九を覚えると計算が速くなり便利であることを知る。

③ 五の段と二の段の九九の言い方を知る。

【日本語】① 算数用語「九九」「□の段」および、五の段と二の段の九九の言い方

② 「A個ずつB個分でC個」

【概念図】



(例) 「2個ずつ4皿分でいくつですか。」 → 「 $2 \times 4 = \square$ 」 → 「にしがはち」

【指導例】① 「1倍」の概念を理解させる。

掛け算の答えを足し算で求めていると計算が大変なことに気づかせる。

(1) 「みかんが5個。5個の2倍だから10個。 $5 \times 2 = 10$ 」と言って、 $5 \times 2$ の場面から始める。子どもには $5 \times 2 = \square$ の空欄に10を書き込ませる。

(2) 「ほかにも問題がありますね。」と言って、3倍・4倍・5倍の場面図を指し、「5かける3。5かける4。5かける5。」と言う。

(3) 「あれ？見て。見て。これ。」と言って「 $5 \times 1$ 」を指す。5個のみかんが1つぶんしかないときは $5 \times 1$ と書くのですね。」と言って、ここはサラリと通り過ぎる。「なるほど。」と言いながら、みかんが2倍、3倍、4倍、5倍になっていく図を指し、そのつながりで「1倍」という考え方を認めさせる。「1倍」や「0倍」の意味は非常に難しく、言葉による説明で納得させにくい。そのようなときは、全体の流れ（延長線上の勢い）で教えてしまうとよい。その場合、「1倍、2倍、3倍、4倍、5倍…」といったテンポや、テキストのような図（2倍、3倍、4倍と増えるに従って三角形の底辺が拡大していく様子）を使って「直感」に訴えると効果的。

(2)「 $5 \times 3$ 」の場面を指し、子どもにいくつあるか数えさせる。同様に4倍・5倍の場面の数も足し算で計算させ、こんなに足し算を続けるのが大変であると問題提起する。

**2** 九九の便利さを理解させる。

(1) 黒板に「 $5 \times 1$ 」から「 $5 \times 9$ 」までの式を書き、「先生はすぐに答えが分かります。」と言って、答えを素早く書く。

(2)「日本の子ども達は、掛け算の答えを覚えるんですよ。だから、計算が速く、お店で買い物をしても便利なんです。」と言って、掛け算九九を覚える利便性を伝える。

**3** 「五の段」の九九を唱えて、九九の言い方に慣れさせる。

(1) テキスト**3**の「 $5 \times 1$ 」から「 $5 \times 9$ 」までの掛け算の式を指す。

(2) 九九を読んで聞かせる。

(3) 一緒に読んで九九を唱える練習をする。(3回ぐらい練習をする。)

**4** 「二の段」の九九を唱えさせる。「九九」「□の段」という用語を教える。

(1)「今度はこういう掛け算です。」と言って、テキスト**4**の「 $2 \times 1$ 」から「 $2 \times 9$ 」までの掛け算の式を指す。

(2) 九九を読んで聞かせる。

(3) 一緒に読んで九九を唱える練習をする。(3回ぐらい練習をする。)

(4)「これを九九といいます。」と言って、テキストの「九九」という文字を指す。

(5)「2の九九（と言って二の段の九九を指す）を『二の段』の九九といいます。」

「5の九九（と言ってテキスト**3**の五の段の九九を指し）を『五の段』の九九といいます。」と説明する。

**5** 実際の場合で九九を適用させる。

(1) ①の図を見させ、「りんごが2個ずつ、4皿ありますね。2個ずつ4皿分で、りんごはいくつありますか。」と尋ねる。

(2)「2個ずつだからここは2。」「4皿分だからここは4。」と言って、 $\square \times \square = \square$ の左端の空欄に「2」を、真ん中の空欄に「4」を書き込ませる。

(3)「 $2 \times 4$ だから、『にしがはち』で答えは8ですね。」と言って、8を書かせる。

(4) ②～④の問題を子どもにやらせる。その時、(2)で使った言い方を繰り返す。

「2個ずつだからここは何?」「6箱分だからここは?」など。

＊「数詞」が「個」と「箱」、「本」と「皿」、「枚」と「皿」のように変わっていくので、数詞の習得が不十分な子どもには、上記のように教師が文を読んでやるとよい。

**【補足説明】「九九」と「九九の唱え方」「覚える九九の量」について**

①九九の効用

九九は計算を速めるうえでとても便利です。九九を覚えると計算が速くなるだけでなく、計算に自信をもってきます。小学生はもちろん、中学生でも覚えられる子どもには九九を覚えさせるとよいでしょう。

②九九の唱え方

九九の唱え方については、低学年の場合は「日本流」の唱え方で大きな問題ありません。日本の子どもでも九九を唱えるときに初めて「三三」を「さざん」、「三六」を



「さぶろく」、「四八」を「しは」と発音することを覚えます。ただ、学年が高くなるにつれて、「さざん」「さぶろく」のような言い方に抵抗感をもつ可能性も高くなります。子どもが違和感をもっているようなら、無理をせず、「さん・さん・きゅう」といった通常の数で覚えさせることも視野に入れて指導してください。

また、外国語が母語の子どもでも一種の歌として覚えさせるのがコツです。ノリのよい子どもにはアップテンポにしたり、さらにリズムカルにしたりすると効果が上がります。恥ずかしがらずに先生も挑戦しては？

### ③覚える量

できれば全ての九九を覚えさせるのが理想的ですが、半分でもよいでしょう。2×3を終えたら、三の段では3×2は省略し、3×3から始めても構わないと思います。2×3と3×2では意味は違いますが、答えは同じですから、ここは「暗記の手段」と割り切って、九九81通り全て覚えるのではなく、「半分」でよいのではないのでしょうか。



## 4課/Lesson 4/Leksyon 4

### ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

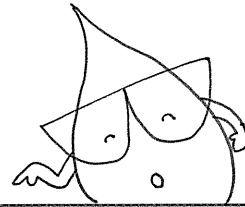
| ようご   | Words                              | Mga salita                                 |
|-------|------------------------------------|--------------------------------------------|
| いくつ   | how many                           | ilan                                       |
| かず    | count/number                       | bilang                                     |
| こたえ   | answer                             | sagot                                      |
| べんりです | easy; convenient                   | mas madali                                 |
| 九九    | multiplication                     | multiplication table                       |
| けいさん  | calculate                          | kalkulahin                                 |
| まい    | (counter for the number of papers) | (Ginagamit na pambilang kung ilang papel.) |

| ぶん                               | Phrases                                                                   | Grupo ng mga salita                                                         |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| みかんは いくつ<br>ありますか。               | How many oranges are<br>there?                                            | Ilan ang mga dalandan?                                                      |
| かずを かきましょう。                      | Let's write a number.                                                     | Isulat natin ang bilang.                                                    |
| こたえを<br>おぼえておくと<br>べんりです。        | It is helpful if you<br>memorize the answer/s.                            | Mas nakakatulong kung isaulo natin ang<br>sagot.                            |
| 2のだんの 九九                         | the table of 2 in<br>multiplication                                       | table of 2                                                                  |
| 九九を おぼえると<br>けいさんが はやく<br>できますね。 | Calculation becomes faster<br>if we memorize our<br>multiplication table. | Mas mabilis ang pagkalkula kung ating<br>naisaulo ang multiplication table. |
| 2まいずつ                            | 2 pieces each                                                             | tig-2                                                                       |

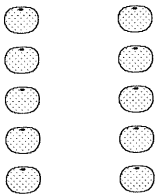
(注) 塗り潰しの部分は「ものの数え方」に関する日本語です。

1

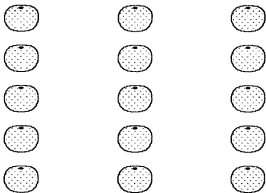
みかんは なんこ ありますか。

 に かずを かきましょう。


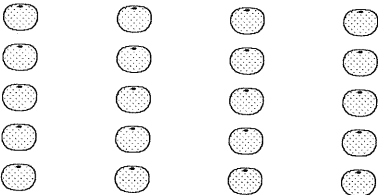
$$5 \times 1 = 5$$



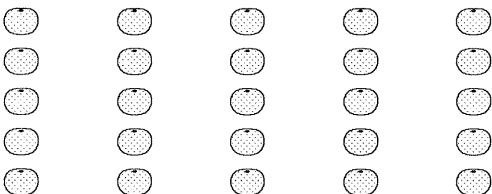
$$5 \times 2 = \boxed{\phantom{00}}$$



$$5 \times 3 = \boxed{\phantom{00}}$$



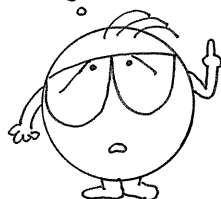
$$5 \times 4 = \boxed{\phantom{00}}$$



$$5 \times 5 = \boxed{\phantom{00}}$$

$$5 + 5 + 5 + 5$$

たいへんですね。



$$5 + 5 = 10$$

$$10 + 5 = 15$$

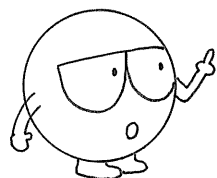
$$15 + 5 = 20$$



2

かけざんの こたえをおぼえておくと べんりです。

$$5 \times 7 = ?$$



35!



ごしち  
さんじゅうご

はい!



3

「五の段の九九」の構成と唱え方

$$5 \times 1 = 5$$

5 1 が 5  
ご いち

$$5 \times 2 = 10$$

5 2 10  
ご に

$$5 \times 3 = 15$$

5 3 15  
ご さん

$$5 \times 4 = 20$$

5 4 20  
ご し

$$5 \times 5 = 25$$

5 5 25  
ご ご

$$5 \times 6 = 30$$

5 6 30  
ご ろく

$$5 \times 7 = 35$$

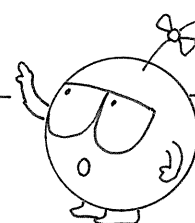
5 7 35  
ご しち

$$5 \times 8 = 40$$

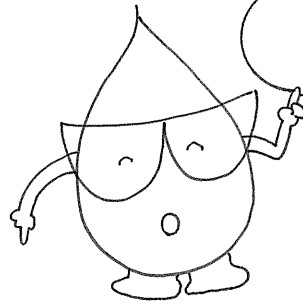
5 8 40  
ご は

$$5 \times 9 = 45$$

5 9 45  
ご っ く



これを **九九** と いいます。  
く く



2の九九を  
「2のだんの九九」といいます。



$$2 \times 1 = 2$$

2 1 が 2  
に いち

$$2 \times 2 = 4$$

2 2 が 4  
に にん

$$2 \times 3 = 6$$

2 3 が 6  
に さん

$$2 \times 4 = 8$$

2 4 が 8  
に し

$$2 \times 5 = 10$$

2 5 1 0  
に ご

$$2 \times 6 = 12$$

2 6 1 2  
に ろく

$$2 \times 7 = 14$$

2 7 1 4  
に しち

$$2 \times 8 = 16$$

2 8 1 6  
に はち

$$2 \times 9 = 18$$

2 9 1 8  
に く

九九を おぼえると  
けいさんが はやく  
できますね。



に さんが 6  
に し が 8  
に ご 10



5

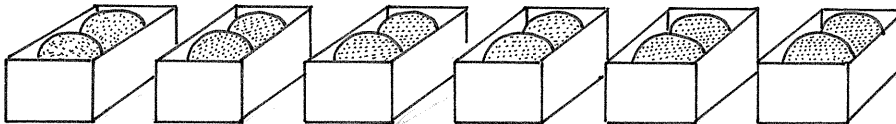
① 2 こずつ 4 さらぶんで なんこですか。

$$\square \times \square = \square$$



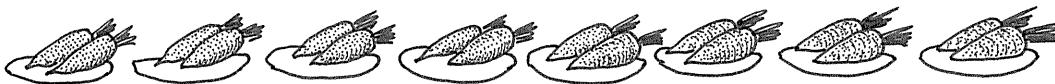
② 2 こずつ 6 はこぶんで なんこですか。

$$\square \times \square = \square$$



③ 2 ほんずつ 8 さらぶんで なんぼんですか。

$$\square \times \square = \square$$



④ 2 まいずつ 9 さらぶんで なんまいですか。

$$\square \times \square = \square$$



## 指導ポイント&ヒント

### 第5課 「1ふくろふえると、なんこふえますか。」

【指導内容】① 三の段と四の段の九九の構成と唱え方を知る。

② 掛ける数が「1」大きくなると、答えが「掛けられる数」の分だけ大きくなることに気づく。

【日本語】① 三の段と四の段の九九の言い方

② 「1袋増えると、みかんはA個増えます。」

(1単位量変化すると、特定の数量が変化する言い方)

【概念図】

① 「3個ずつA袋ぶんで」の言い方と三の段の九九の構成を理解させる。

② 三の段の九九を唱えさせる。 ③ 三の段の九九を唱えさせる。

④ 掛ける数が「1」大きくなると、答えが「掛けられる数」の分だけ大きくなることに気づかせる。

【指導例】① 「3個ずつA袋ぶんで」の言い方と三の段の九九の構成を理解させる。

(1) みかんが3個入った袋の図を全て1つずつ指し、「3個ずつ」と言う。

(2) みかんは袋に入っているので、今度はそれぞれを「1袋、2袋、3袋」と数えてみせる。

(3) 1番から順に、「3個ずつ1袋ぶん。」「3個ずつ2袋ぶん。」と読み聞かせる。

(4) テキストの文を子どもに読ませる。例「3こずつ1ふくろぶんで3こ。3かける1は3。」

(5) 「3こずつ9ふくろぶんでなんこありますか。」を読ませたところで、 $\square \times \square = \square$ とテキストに教師が書き込んで式を考えさせる。

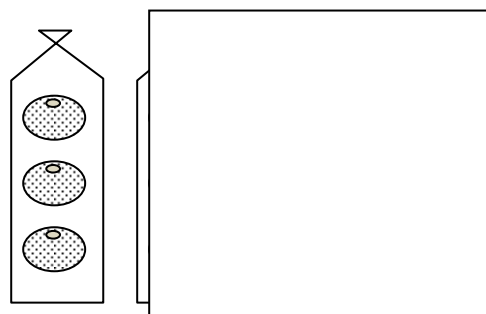
(6) 次ページ②の三の段の九九を見せ、 $3 \times 9$ の答えを見つけさせる。

(7)  $\square \times \square = \square$ の答えのところに27と書き込ませる。

② 三の段の九九を唱えさせる。

(1) テキストを見ながら三の段の九九を唱えさせる。(3～4回唱える)

(2) ①の図を使って三の段の九九を唱えさせる。(図を参照のこと)



1袋ぶん見せ、あとは紙で隠して

「3個ずつ1袋ぶんだから3。」

「さんいちが？」と尋ねる。

同様に、2袋ぶん見せて「さんにが？」と続ける。

③ 四の段の九九を唱えさせる。

(1) ②と同様の教え方で四の段を練習させる。

＊練習の仕方は同じやり方のほうが、子どもには理解しやすい。

④ 掛ける数が「1」大きくなると、答えが「掛けられる数」の分だけ大きくなることに気づかせる。

(1) みかんが3袋ある図を指し、「3袋あります。みかんは何個ありますか。」と尋ねる。

(2) 「 $4 \times 3 = \square$ 」とテキストの余白に教師が書き込み、「しさん？」と尋ねる。

(3) 「12」という答えが出てこなければ「しさんじゅうに」と言って□に12を書き込ませる。

＊ここでは「1袋増えるとみかんが何個増えるか」に気づかせることが大事。

「しさんじゅうに」という九九が唱えられなくてもよいので、ここで九九暗唱の指導に向かわないよう注意する。

(4) もう1袋たして4袋になった図を指して、「1袋増えました。1袋だからみかんは4個増えましたね。」と言う。

(5) 図の横の「1ふくろふえると、みかんは□こふえます。」の□に「4」を入れさせる。(ページ下にも同じ文があるので注意。)

(6) また1袋増えた図を指して、同様の作業をさせる。

(7) このページの一番下の行にある「1ふくろふえると みかんは□こふえます。」の□に「4」を入れさせる。

(8) このページの日本語を全文読ませる。

＊この課では「掛ける数が「1」大きくなると、答えが「掛けられる数」の分だけ大きくなることに気づかせるところまでにしておき、他の数(たとえば五の段や四の段など)で確認させることまではしなくてもよい。

#### 【注】「□袋」の言い方

この教材では、1袋(ひとふくろ)、2袋(ふたふくろ)、3袋(「みふくろ」ではなく、「さんふくろ」)、4袋(よんふくろ)、5袋(ごふくろ)、6袋(「ろっふくろ」ではなく「ろくふくろ」)、7袋(ななふくろ)、8袋(「はっふくろ」ではなく「はちふくろ」)、9袋(きゅうふくろ)、10袋(「じっふくろ」ではなく「じゅうふくろ」)ということにしています。それは、なるべく助数詞の負担を子どもにかけないためです。実際に指導する子どもの日本語力によって、どの言い方まで許容されるか考えて、使い分けてください。





## 5 課/Lesson 5/Leksyon 5

ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご | Words                                 | Mga salita      |
|-----|---------------------------------------|-----------------|
| ふくろ | bag; sack; container of various kinds | supot; lalagyan |
| ふえる | increase                              | dadami; lalaki  |

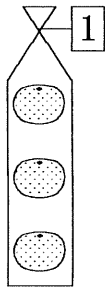
| ぶん                                 | Phrases                                                                              | Grupo ng mga salita                                              |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 1 ふくろ ふえると<br>(みかんは) なんこ<br>ふえますか。 | If 1 bag (of oranges) is added, the number of oranges will be increased by how many? | Pag dinagdagan ng 1 supot (ng dalandan), dadami ng ilang piraso? |

5

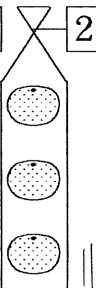
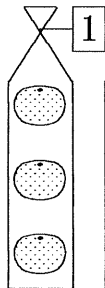
# 1 ふくろ ふえると、なんこ ふえますか

「三の段の九九」の構成

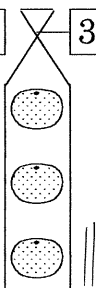
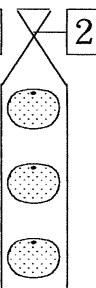
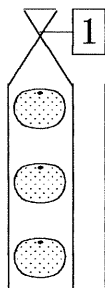
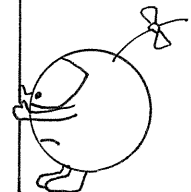
1



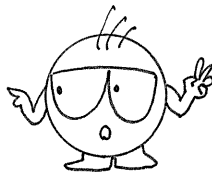
ひと  
3 こずつ 1 ふくろふんで 3 こ。  
 $3 \times 1 = 3$



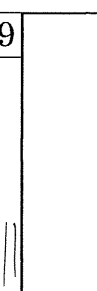
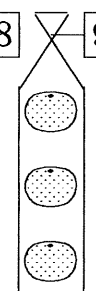
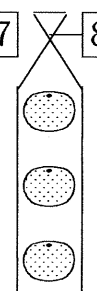
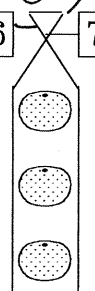
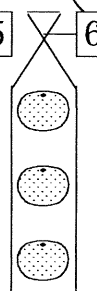
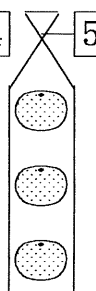
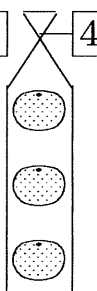
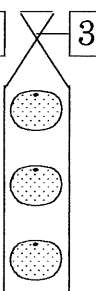
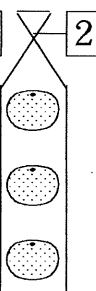
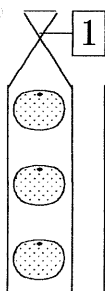
ふた  
3 こずつ 2 ふくろふんで 6 こ。  
 $3 \times 2 = 6$



さん  
3 こずつ 3 ふくろふんで 9 こ。  
 $3 \times 3 = 9$



きゅう  
3 こずつ 9 ふくろふんで  
なんこ ありますか。



$$3 \times 1 = 3$$

3 1 が 3  
さん いち

$$3 \times 2 = 6$$

3 2 が 6  
さん に

$$3 \times 3 = 9$$

3 3 が 9  
さ さん

$$3 \times 4 = 12$$

3 4 1 2  
さん し

$$3 \times 5 = 15$$

3 5 1 5  
さん ご

$$3 \times 6 = 18$$

3 6 1 8  
さぶ ろく

$$3 \times 7 = 21$$

3 7 2 1  
さん しち

$$3 \times 8 = 24$$

3 8 2 4  
さん ぱ

$$3 \times 9 = 27$$

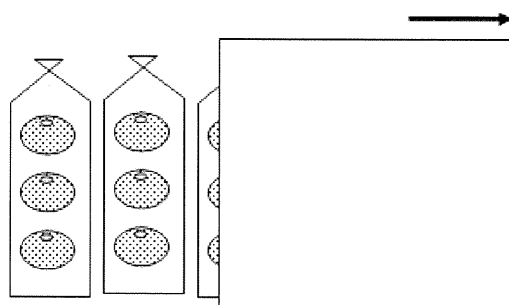
3 9 2 7  
さん く



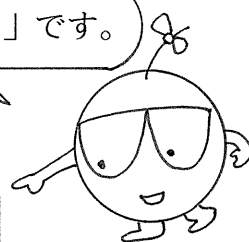
「3のだんの九九」を  
おぼえましょう。

1ふくろずつ ずらす

まえのページの えを  
かみで かくして  
「3のだんの九九」を  
おぼえる れんしゅうを  
しましょう。



これは「4のだんの九九」です。



$$4 \times 1 = 4$$

4 1 が 4  
し いち

$$4 \times 2 = 8$$

4 2 が 8  
し に

$$4 \times 3 = 12$$

4 3 1 2  
し さん

$$4 \times 4 = 16$$

4 4 1 6  
し し

$$4 \times 5 = 20$$

4 5 2 0  
し ご

$$4 \times 6 = 24$$

4 6 2 4  
し ろく

$$4 \times 7 = 28$$

4 7 2 8  
し しち

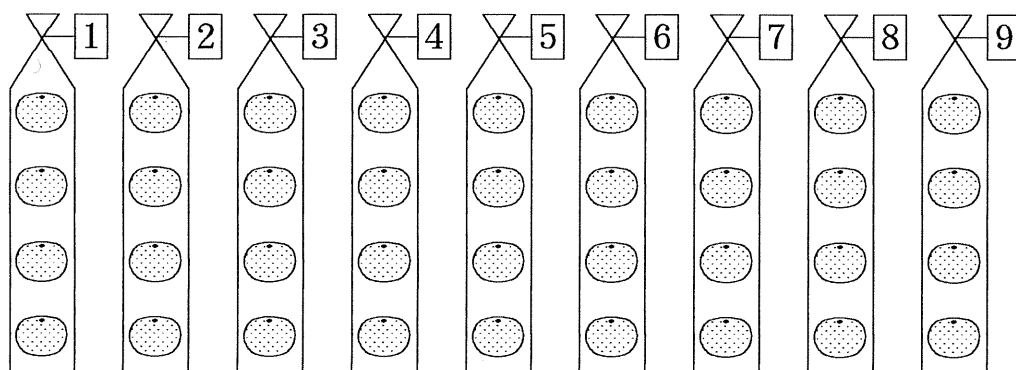
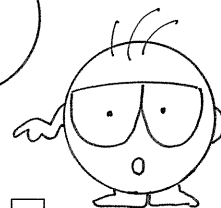
$$4 \times 8 = 32$$

4 8 3 2  
し は

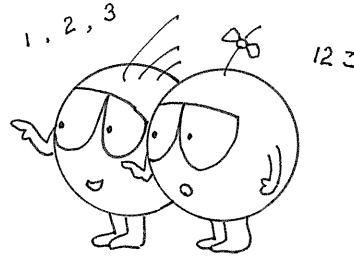
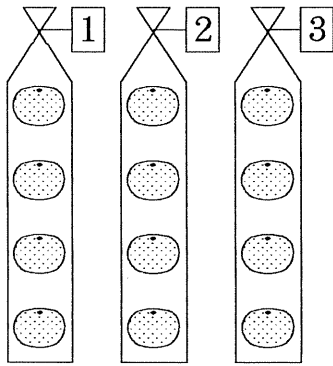
$$4 \times 9 = 36$$

4 9 3 6  
し く

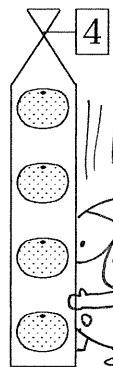
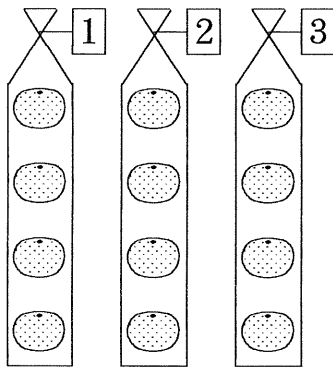
これで「4のだんの九九」をおぼえる  
れんしゅうをしましょう。



3 ふくろ あります。



1 ふくろ ふえると、みかんは なんこ ふえますか。

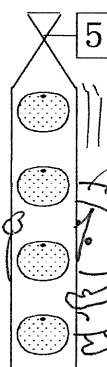
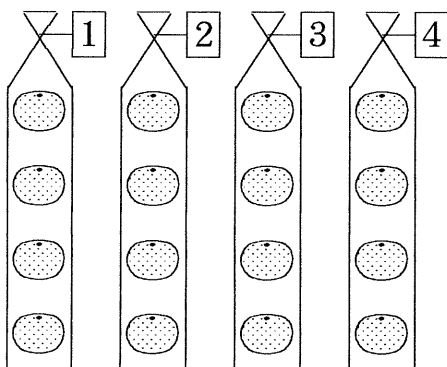


1 ふくろ ふえると

3 → 4

12 → 16

みかんは  こ ふえます。



また 1 ふくろ ふえると

4 → 5

16 → 20

みかんは また  こ ふえます。

1 ふくろ ふえると、みかんは  こ ふえます。

## 指導ポイント&ヒント

### 第6課 「1 おおきくなると」

【指導内容】① 六の段と七の段の九九の構成と唱え方を知る。

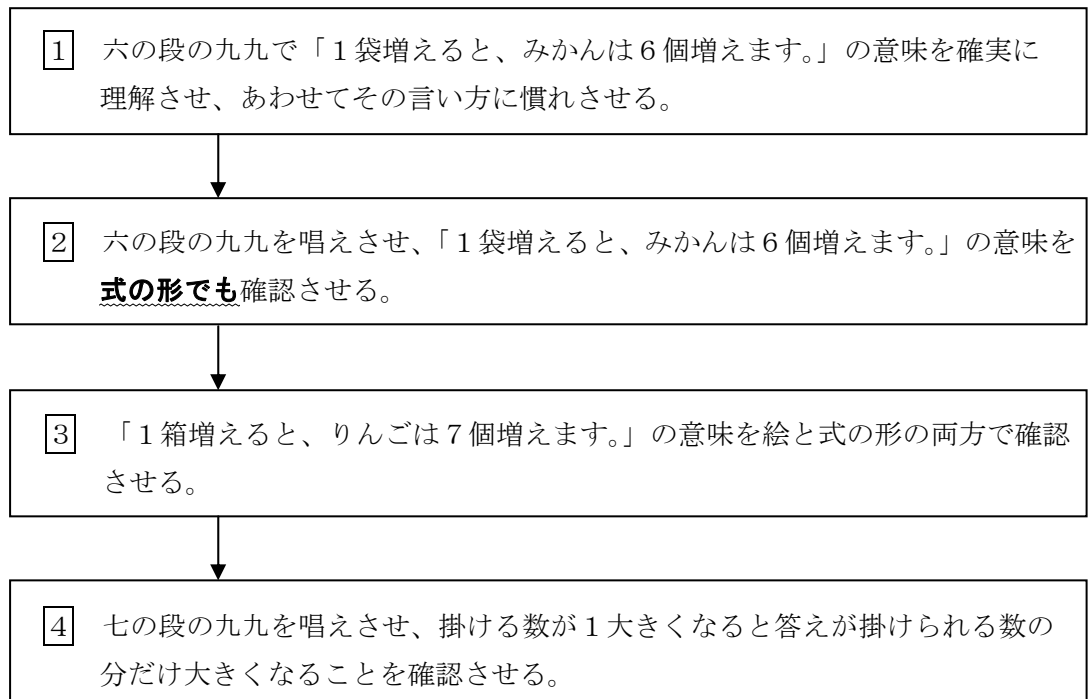
【日本語】① 六の段と七の段の九九の言い方

② 「増える」と「大きくなる」の2つの言い方があることに気づく。

＊具体的な物の数に着目した場合「増える」と言い、具体物ではなく「数」そのものや「数字」に着目した場合は「大きくなる」と言う。

例：「みかんが5個増えた。」とは言えるが、「みかんが5個大きくなった。」や「みかんが5大きくなった。」とは言わない。

【概念図】



【指導例】① 六の段の九九で「1袋増えると、みかんは6個増えます。」の意味を確実に理解させ、あわせてその言い方に慣れさせる。

(1) 指導方法は5課を参照のこと。

② 六の段の九九を唱えさせ、「1袋増えると、みかんは6個増えます。」の意味を式の形でも確認させる。

(1) テキストを見ながら六の段の九九を唱えさせる。(3～4回唱える)

(2) ②の下を図を使って、掛ける数が1増えると答えが6 (つまり1袋分) 増えることを式でも確認させる。

|           |                                                   |                           |
|-----------|---------------------------------------------------|---------------------------|
|           | $6 \times \boxed{4} = \boxed{24}$                 |                           |
| 「1袋増えると、」 | $\downarrow$<br>$6 \times \boxed{5} = \boxed{30}$ | $\downarrow$<br>「6個増えます。」 |

③ 「1箱増えると、りんごは7個増えます。」の意味を絵と式の形の両方で確認させる。

- (1) 「今度はりんごですね。1箱にいくつずつ入っていますか。数えましょう。」と言って、7個ずつ入っていることを確かめさせる。
- (2) 「1箱、2箱、3箱、4、5、6、7、8、9箱。」と言って、1箱ずつ増えていく様子を図でも確認させる。
- (3) 図の下にりんごが全部で何個になるかが示してあるので、その数を式の答えの欄に書き写させる。(7×1=□の空欄に書き写させる。)

4 七の段の九九を唱えさせ、掛ける数が1大きくなると答えが掛けられる数の分だけ大きくなることを確認させる。

- (1) 七の段の九九を唱えさせる。
- (2) 図を指しながら掛ける数が1大きくなると答えが掛けられる数の分だけ大きくなることを確認させる。具体的には、数字を指して「この数が2から3。1大きくなると、この数は14から21。(14から21まで指を折って数えてもよい)。7大きくなります。」と言う。
- (3) 「3→4」のときも「4→5」のときも「7」ずつ大きくなっていることに気づかせるため、九九表の答えで確かめさせる。

＊具体物が「増えた」と数が「大きくなった」との違いを説明しても分からないので説明はせず、「りんごが増えた」「数が大きくなった」を繰り返すにとどめる。



## 6課/Lesson 6/Leksyon 6

ようごとぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご    | Words    | Mga salita     |
|--------|----------|----------------|
| おおきくなる | increase | lalaki; dadami |

| ぶん        | Phrases        | Grupo ng mga salita                     |
|-----------|----------------|-----------------------------------------|
| 1 おおきくなると | increased by 1 | Kung ang (bagay) ay dadami ng 1 (supot) |



6

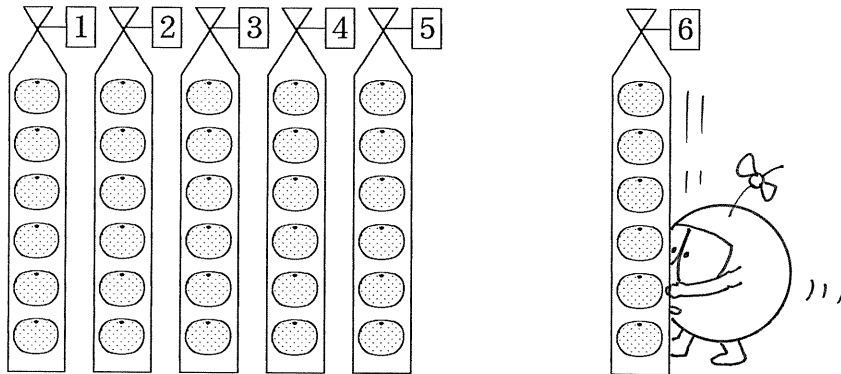
1 おおきくなると

1

「六の段の九九」の構成

1 ふくろ ふえると、みかんは なんこ ふえますか。

5 → 6  
1 ふくろ  
ふえる。



みかん 30こ → 36こ

こ ふえます。

6 こずつ  5 ふくろで  30 こ。

↓ 1 ふくろ  
ふえると、

↓ なんこ  
ふえますか。

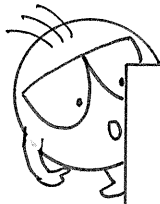
30 → 36



6 こずつ  6 ふくろで  36 こ。

1 ふくろ ふえると、みかんは  こ ふえます。

「6のだんの九九」をおぼえましょう。



$$6 \times 1 = 6$$

$$6 \times 2 = 12$$

$$6 \times 3 = 18$$

$$6 \times 4 = 24$$

$$6 \times 5 = 30$$

$$6 \times 6 = 36$$

$$6 \times 7 = 42$$

$$6 \times 8 = 48$$

$$6 \times 9 = 54$$

6 1 が 6  
ろく いち

6 2 1 2  
ろく に

6 3 1 8  
ろく さん

6 4 2 4  
ろく し

6 5 3 0  
ろく ご

6 6 3 6  
ろく ろく

6 7 4 2  
ろく しち

6 8 4 8  
ろく は

6 9 5 4  
ろっ く

1ふくろ  
ふえると、

$$6 \times 4 = 24$$

$$\downarrow +1$$

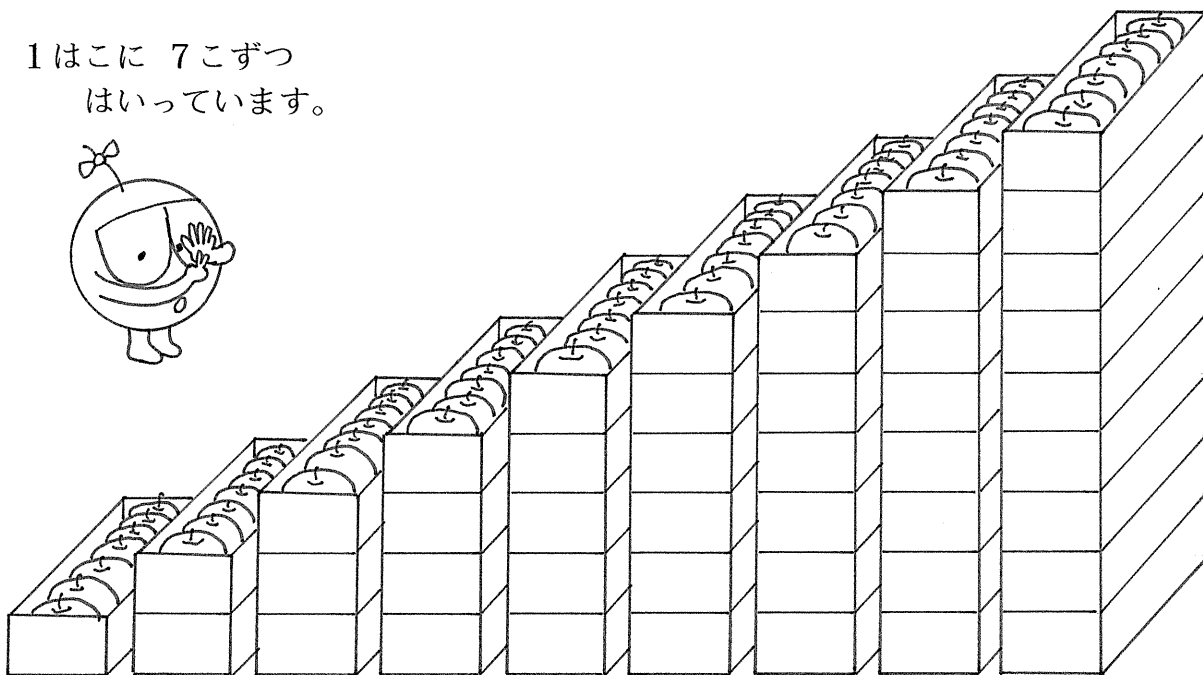
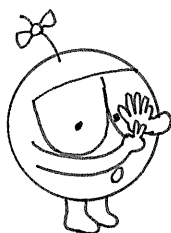
$$6 \times 5 = 30$$

$$\downarrow +1$$

$$6 \times 6 = \boxed{\phantom{00}}$$

6こ  
ふえます。

1はこに 7こずつ  
はいています。



|   |     |     |     |     |     |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 7 | 1 4 | 2 1 | 2 8 | 3 5 | 4 2 | 4 9 | 5 6 | 6 3 |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

うえの えを みて、かけざんの こたえを かきましょう。

$$7 \times 1 = \square$$

$$7 \times 2 = \square$$

$$7 \times 3 = \square$$

$$7 \times 4 = \square$$

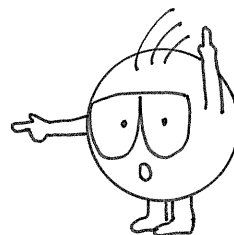
$$7 \times 5 = \square$$

$$7 \times 6 = \square$$

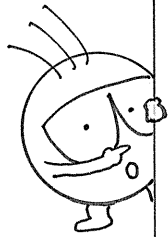
$$7 \times 7 = \square$$

$$7 \times 8 = \square$$

$$7 \times 9 = \square$$



「7のだんの九九」のこたえをかきましょう。



$$7 \times 1 = 7$$

$$7 \times 2 =$$

$$7 \times 3 =$$

$$7 \times 4 =$$

$$7 \times 5 =$$

$$7 \times 6 =$$

$$7 \times 7 =$$

$$7 \times 8 =$$

$$7 \times 9 =$$

7 1 が 7  
しち いち

7 2  
しち に

7 3  
しち さん

7 4  
しち し

7 5  
しち ご

7 6  
しち ろく

7 7  
しち しち

7 8  
しち は

7 9  
しち く

ここが  
1 おおきく  
なると、

はこ りんご

$7 \times 2 = 14$

↓ ↓

$7 \times 3 = 21$

↓ ↓

$7 \times 4 = \square$

こたえは  
いくつ おおきく  
なりますか。

## 指導ポイント&ヒント

### 第7課 「なんこ たべることに なりますか。」

【指導内容】① 八の段と九の段および一の段の九九の構成と唱え方を知る。

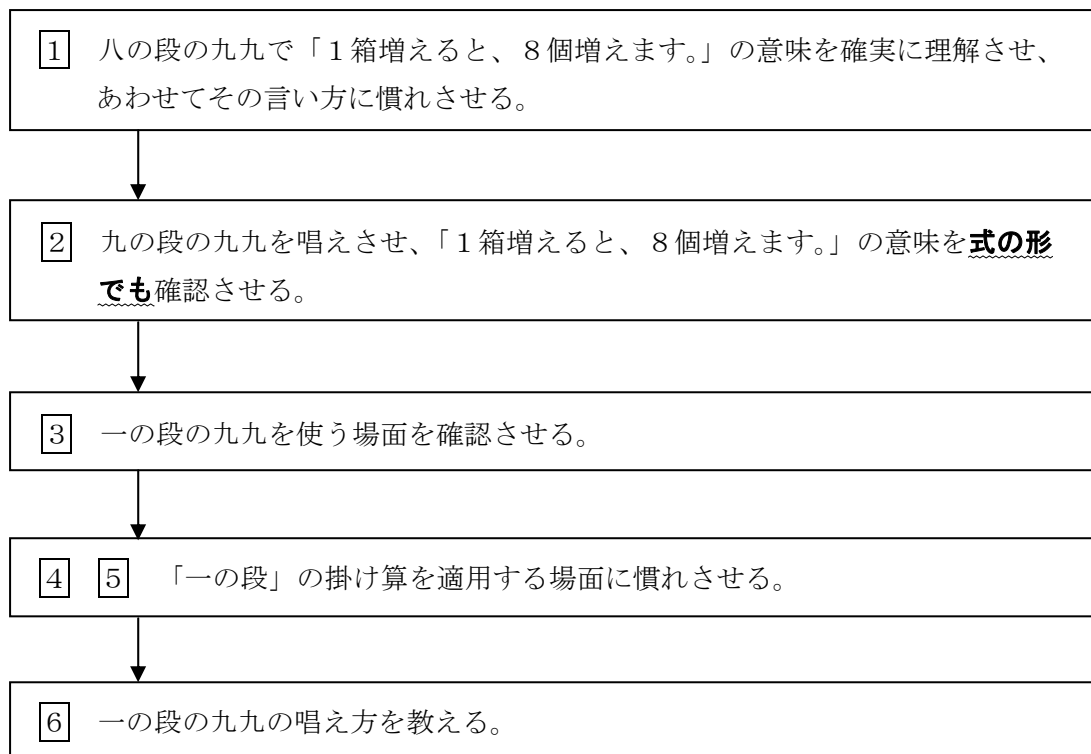
【日本語】① 八の段と九の段および一の段の九九の言い方

② 期間などを単位とした言い方「で」（1週間で、2日で）

③ 動作をした結果を表す言い方「V ことになる」（3個食べることになる）

\* Vは動詞

【概念図】



【指導例】① 八の段の九九で「1箱増えると、8個増えます。」の意味を確実に理解させ、あわせてその言い方に慣れさせる。

(1) 指導方法は前の課を参照のこと。

② 九の段の九九を唱えさせ、「1箱増えると、8個増えます。」の意味を式の形でも確認させる。

(1) 指導方法は前の課を参照のこと。

③ 一の段の九九を使う場面を確認させる。

(1) 「1日1個ずつりんごを食べます。月曜日も火曜日も食べます。」と言って、テキストの図を見させる。

(2) 「1個ずつ<sup>なのか</sup>7日食べます。全部で何個食べますか。」と言って、数えさせる。

(3) 「そう。7個ですね。簡単ですね。では、これを式にしてみましょう。」と言って、 $\square \times \square = \square$ の空欄に数字を入れさせる。

(4) テキストの「1日に1個ずつりんごを食べます。<sup>なのか</sup>7日では何個食べることになりましたか。」という文を読み、「7個食べることになりますね。」と確認する。

\* 「～ことになる。」の言い方を教えなくてもよい。この言い方を何度も使うことで理解させる。

- ④ 1日1冊ずつ本を読む場面で「一の段」の掛け算を適用する場面に慣れさせる。  
(1) 教え方は③と同じ。
- ⑤ 1時間に1本ずつジュースを飲む場面で「一の段」の掛け算を適用する場面に慣れさせる。  
(1) 教え方は③と同じ。
- ⑥ 一の段の九九の唱え方を教える。



## 7課/Lesson 7/Leksyon 7

ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご   | Words                             | Mga salita                                        |
|-------|-----------------------------------|---------------------------------------------------|
| ことになる | will become                       | magiging                                          |
| たべる   | eat                               | kakain                                            |
| さつ    | (counter for the number of books) | piraso(ng mga babasahin katulad ng aklat,magasin) |
| ほん    | book                              | aklat                                             |

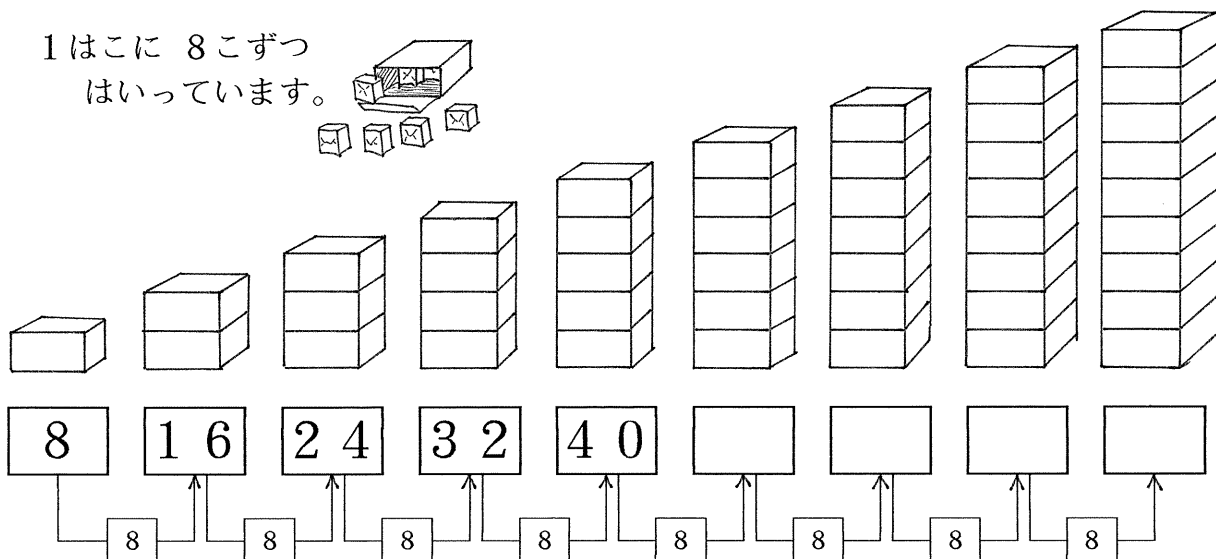
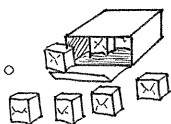
| ぶん               | Phrases                                             | Grupo ng mga salita            |
|------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------|
| なんこ たべることになりますか。 | How many (pieces of something) are we going to eat? | llang (mansanas) ang makakain? |
| 1 さつずつ ほんをよみます。  | Read a books one by one.                            | Nakakabasa ako ng 1 aklat .    |

# 7 なんこ たべることに なりますか。

1

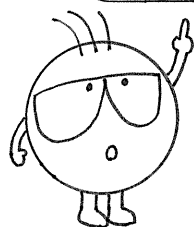
「八の段の九九」の構成・用語・唱え方

1はこに 8こずつ  
はいています。



1はこ ふえると、8こ ふえます。

「8のだんの九九」をつくりましょう。



$$8 \times 1 =$$

$$8 \times 2 =$$

$$8 \times 3 =$$

$$8 \times 4 =$$

$$8 \times 5 =$$

$$8 \times 6 =$$

$$8 \times 7 =$$

$$8 \times 8 =$$

$$8 \times 9 =$$

8 1 が 8

はち いち

8 2

はち に

8 3

はち さん

8 4

はち し

8 5

はち ご

8 6

はち ろく

8 7

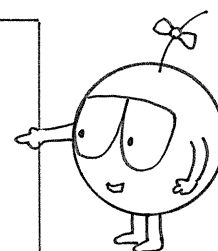
はち しち

8 8

はっ ぱ

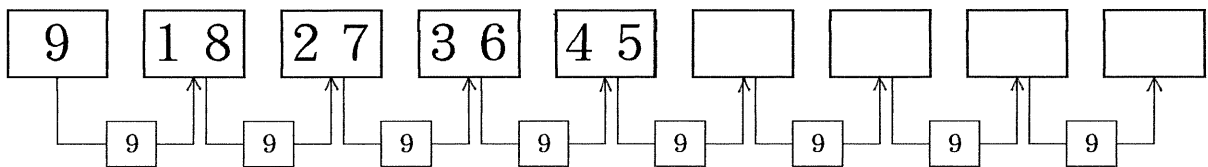
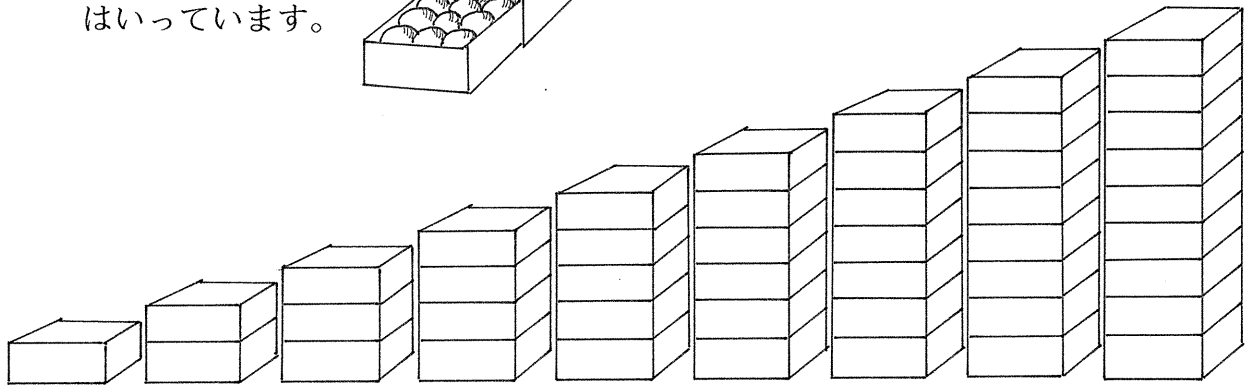
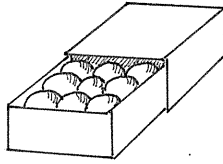
8 9

はっ く





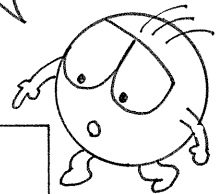
1はこに 9こずつ  
はいています。



1はこ ふえると、9こ ふえます。



「9のだんの九九」をつくりましょう。



$$9 \times 1 =$$

$$9 \times 2 =$$

$$9 \times 3 =$$

$$9 \times 4 =$$

$$9 \times 5 =$$

$$9 \times 6 =$$

$$9 \times 7 =$$

$$9 \times 8 =$$

$$9 \times 9 =$$

9 1 が 9

く いち

9 2

く に

9 3

く さん

9 4

く し

9 5

く ご

9 6

く ろく

9 7

く しち

9 8

く は

9 9

く く

3

1 にちに 1 こずつ りんごを たべます。

なのかでは なんこ たべることに なりますか。

|                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| にち                                                                                | げつ                                                                                | か                                                                                 | すい                                                                                | もく                                                                                | きん                                                                                  | ど                                                                                   |
|  |  |  |  |  |  |  |

しき  $\boxed{1} \times \boxed{7} = \boxed{7}$

こたえ 7 こ

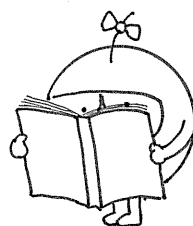
1 こずつ なのかで 7 こ  
(7 にちで)

4

1 にちに 1 さつずつ ほんを よみます。

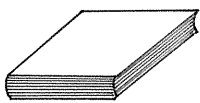
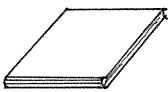
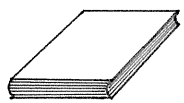
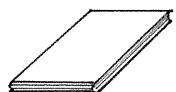
よつかでは なんさつ よむことに なりますか。

(4 にち)



| SUN   | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|       |     |     |     |     | 1   | 2   |
| 3     | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   |
| 10    | 11  | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  |
| 17    | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  |
| 24/31 | 25  | 26  | 27  | 28  | 29  | 30  |



|                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      |                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| きょう                                                                                 | あした                                                                                 | あさって                                                                                 | しあさって                                                                                 |
|  |  |  |  |

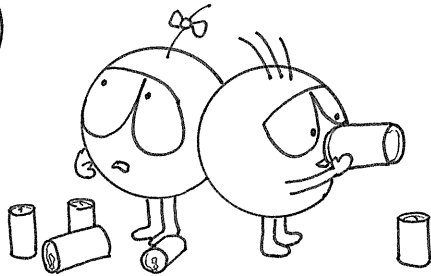
しき

こたえ

5

1 じかに 1 ぽんずつ ジュースを のみます。

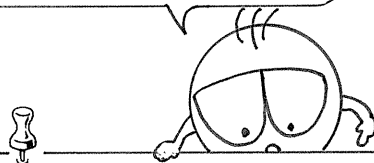
6 じかんでは なんぽん のむこと になりますか。



「一の段の九九」の用語と唱え方

6

「1のだんの九九」もあります。



$$1 \times 1 =$$

1 1 が 1  
いん いち

$$1 \times 2 =$$

1 2 が  
いん に

$$1 \times 3 =$$

1 3 が  
いん さん

$$1 \times 4 =$$

1 4 が  
いん し

$$1 \times 5 =$$

1 5 が  
いん ご

$$1 \times 6 =$$

1 6 が  
いん ろく

$$1 \times 7 =$$

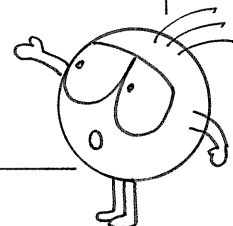
1 7 が  
いん しち

$$1 \times 8 =$$

1 8 が  
いん はち

$$1 \times 9 =$$

1 9 が  
いん く



## 指導ポイント&ヒント

### 第8課 「3はこぶんで いくつに なりますか。」

【指導内容】① 掛け算を適用する場面に慣れる。

【日本語】① 「A個分で」「何個になるか」などの言い方の復習。

【概念図】

① 単位となる量を表す図を見て、それがA個あると全体でいくつになるかを式で表し、九九を用いて答えを出させる。

② 掛け算を適用する「場面」と「言葉」と「式」の結びつきを強固なものにさせる。

【指導例】① 単位となる量を表す図を見て、それがA個あると全体でいくつになるかを式で表し、九九を用いて答えを出させる。

(1) 1箱にりんごが何個入っているかを尋ねる。

(2) 問題文を読ませる。

(3) 「これが3箱ですよ。頭の中に絵を描いて。」と言う。

(4) 「1箱に5個で3箱分だから、どんな式になりますか？」と言って答えを待つ。

\*口で答えるのは難しいので、書かせてもよい。

(5) 式が答えられなかったら、 $\square \times \square = \square$  という式をテキストの余白に書いてやる。

(6) それでも答えられない場合は、 $\square \times \square = \square$  の下に、「なんこずつ?」「なんはこ?」と書いてやる。

$$\square \times \square = \square$$

↑                    ↑

なんこずつ?    なんはこ?

(7)  $\square \times \square = \square$  の空欄に数を入れさせる。答えの欄に数を入れられない子には、五の段の九九のページを開けさせ、 $5 \times 3$  のところを見つけさせる。

(8) ②以降の問題も同様の方法で指導する。

② 掛け算を適用する「場面」と「言葉」と「式」の結びつきを強固なものにさせる。

(1) 問題文「えを みて もんだいと しきと こたえを かきましょう。」を読ませる。

(2) ①を指して、「2個ずつ5皿分ありますね。」と答えを言ってしまう。

(3) 「あっ!先生、答えを言っちゃった。でも、聞いていなかったね。」と言って、「A個ずつB皿分でC個」の言い方を思い出させる。

(4) ①の問題の空欄に「ずつ」と「で」を書き入れさせる。

2こ ずつ 5さらぶん で りんごはいくつになりますか。

(5) 式と答えを書くように言う。書けなかったら、①の(5)～(7)の方法でサポートする。

(6) ②～⑥の問題も同様の方法で進める。



## 8課/Lesson 8/Leksyon 8

### ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご      | Words                               | Mga salita                               |
|----------|-------------------------------------|------------------------------------------|
| ほん、ぼん、ぼん | (counter for the number of sticks)  | piraso (ng mahahabang bagay)             |
| こども      | child/children                      | bata                                     |
| にん       | (counter for the number of persons) | (Ginagamit na pambilang kung ilang tao.) |
| テープ      | tape; ribbon                        | teyp                                     |
| ながさ      | length                              | haba                                     |
| たかさ      | height                              | taas                                     |
| おりがみ     | origami paper                       | origami                                  |
| くばる      | give out; distribute                | ipamimigay; ibabahagi                    |
| いる       | need                                | kailangan                                |

| ぶん                                        | Phrases                                                       | Grupo ng mga salita                                   |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| えんぴつは なんぼんに<br>なりますか。                     | How many pencils will be<br>there?                            | magiging ilang lapis?                                 |
| こどもは なんにんに<br>なりますか。                      | How many children will be<br>there?                           | Magiging ilan lahat ang mga bata?                     |
| 4 cmの テープが<br>3つぶん で ながさは<br>なんcmに なりますか。 | 3 measures of 4-cm tape will<br>be how long?                  | 3 beses ang haba ng 4cm na teyp ay Gaano<br>kahaba ?  |
| ながさは なんcmに<br>なりますか。                      | How long will it be?                                          | Magiging gaano kahaba ito?                            |
| たかさは なんcmに<br>なりますか。                      | How tall/high will it be?                                     | Magiging gaano kataas ito?                            |
| おりがみを ひとりに<br>8まいずつ 6にんに<br>くばりました。       | We gave out 8 pieces of<br>origami paper each to 6<br>people. | Tig-8 piraso ng origami ang ipinamigay sa 6<br>katao. |
| みかんは なんこ<br>いますか。                         | How many oranges do we<br>need?                               | Ilang dalandan ang kailangan natin?                   |

(注) 塗り潰しの部分は「ものの数え方」に関する日本語です。

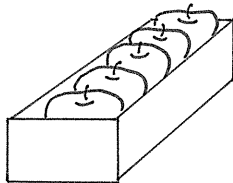
8

3 はこぶんで いくつに なりますか。

乗法の文章題に慣れる

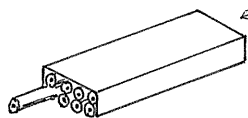
1

①



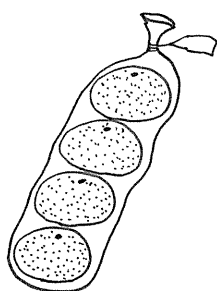
これが 3 はこぶんで  
りんごは いくつに なりますか。

②



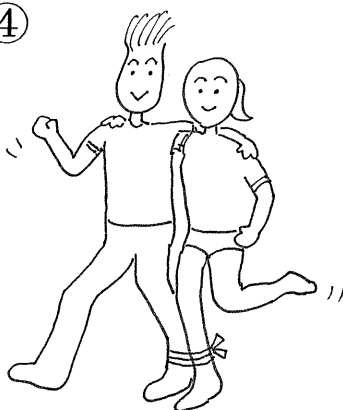
これが 4 はこぶんで  
えんぴつは なんぼんに なりますか。

③



これが 5 ふくろぶんで  
みかんは いくつに なりますか。

④



ふたりずつ 6 くみで  
こどもは なんにんに なりますか。

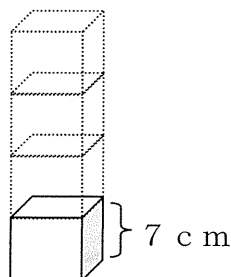
⑤

4 c m の テープ 3 つぶんで  
ながさは なん c m になりますか。

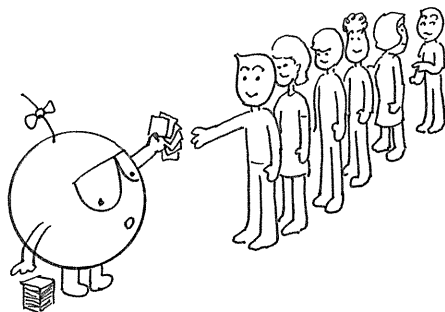


⑥

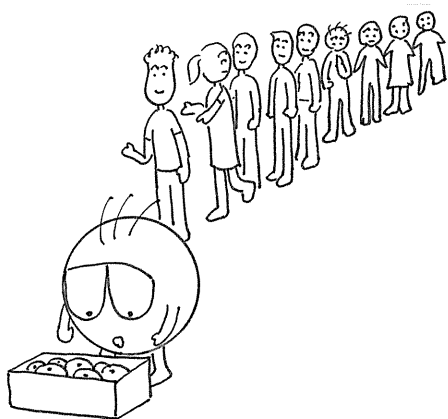
7 c m の つみき 4 こぶんで  
たかさは なん c m になりますか。



⑦ おりがみをひとりに 8 まいずつ 6 にんに くばり  
ました。ぜんぶで なんまい くばりましたか。



⑧ みかんをひとりに 1 っずつ 9 にんに くばります。  
みかんは いくつ いりますか。



えをみて もんだいとしきと こたえをかきましょう。

① 2 つ   5 さら

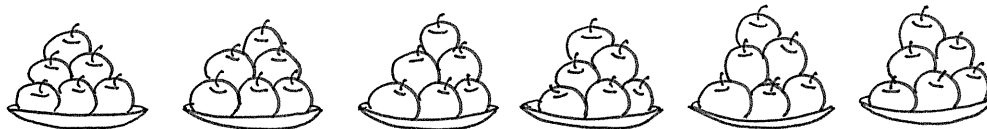
りんごはいくつになりますか。



しき

こたえ

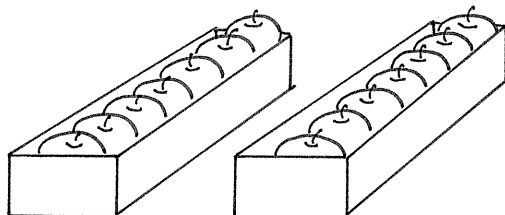
②



しき

こたえ

③



しき

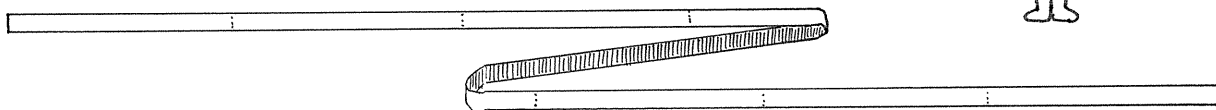
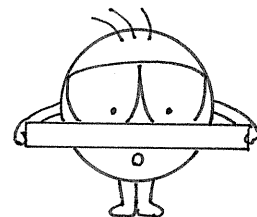
こたえ



④ 3 c m のテープ 8 つ 

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

ながさは なん c m になりますか。

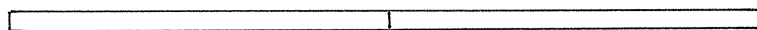
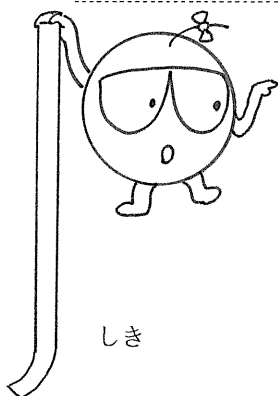


しき

こたえ

⑤ 5 c m の

ながさは



しき

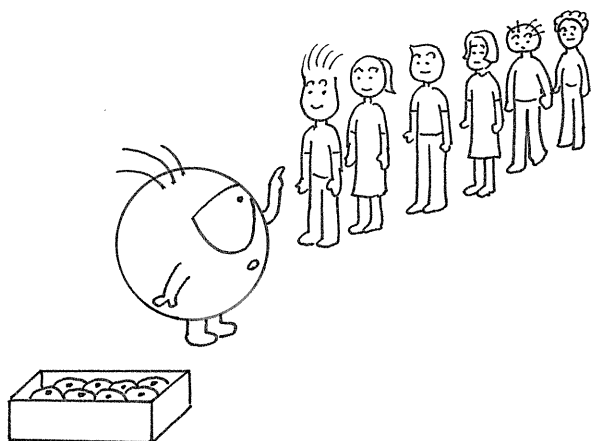
こたえ

⑥ みかんをひとりに 

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1 | つ |  |  |
|---|---|--|--|

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
|  | に | ん | に |
|--|---|---|---|

  
くばります。みかんは いくつ いますか。



しき

こたえ

## 指導ポイント&ヒント

### 第9課 「いれかえても おなじ」

【指導内容】① 掛け算では掛ける数と掛けられる数とを入れ替えても答えは同じであること（乗法の交換法則）を理解する。

【日本語】① 「入れ替えても（答えは）同じ」

【概念図】 ① 掛け算では掛ける数と掛けられる数とを入れ替えても答えが同じになることに気づかせる。

②～⑦ ほかに問題で「交換法則」の理解を深めさせる。

【指導例】① 掛け算では掛ける数と掛けられる数とを入れ替えても答えが同じになることに気づかせる。

(1) ①の図を指し、問題文を読ませる。

(2)  $\square \times \square = \square$  に数を入れさせ、 $3 \times 5 = 15$  の式を完成させる。

(3) ②の図を指し、問題文を読ませる。

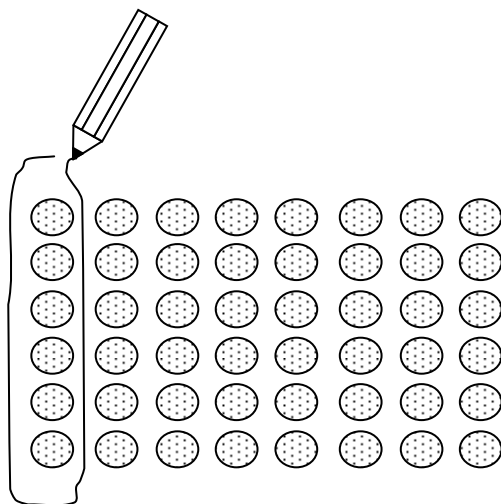
(4)  $\square \times \square = \square$  に数を入れさせ、 $5 \times 3 = 15$  の式を完成させる。

(5) ②の下の方の図を使って、 $3 \times 5$  と  $5 \times 3$  の答えが同じ15であることを確認させる。

②～⑦ ほかに問題で「交換法則」の理解を深めさせる。

(1) ①と同じ方法で教える。

(2) ②～⑦の6問でも理解が深まっていないようなら、下記のような図を与え、自分で囲ませて理解を深めさせるとよい。



(3) 二の段の九九を使って、入れ替えても答えが同じかどうか確かめさせる。

「 $2 \times 3$  の答えは？」と尋ね、表を見て答えさせる。

「では、 $2 \times 3$  の反対は？」と尋ね、「 $3 \times 2$ 」と答えさせる。

「 $3 \times 2$  の答えを調べてみましょう。」と言って、三の段の九九の表で答えを確か

めさせる。

同じ要領で、 $2 \times 4$ 、 $2 \times 5$  などを確かめる。



## 9課/Lesson 9/Leksyon 9

ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご   | Words  | Mga salita      |
|-------|--------|-----------------|
| ここ    | here   | dito            |
| いれかえる | change | palitan; ibahin |
| おなじ   | same   | pareho          |

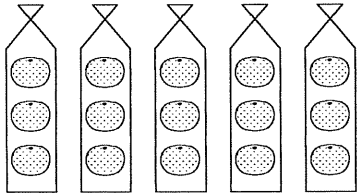
| ぶん                                | Phrases                                                           | Grupo ng mga salita                                                                  |
|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ここを いれかえても、<br>こたえは おなじに<br>なります。 | If we change the numbers<br>here, the answer remains<br>the same. | Kahit magpalit ang pagkakasunud-sunod ng<br>mga bilang, ang sagot ay hindi mag-iiba. |

# 9 いれかえても おなじ

乗法の交換法則の発見

1

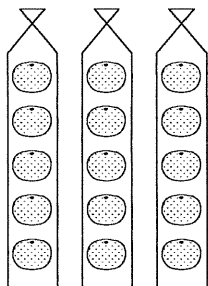
①



3 こずつ 5 ふくろぶんで  
みかんは なんこになりますか。

$$\square \times \square = \square$$

②

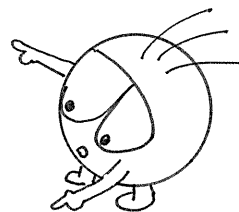


5 こずつ 3 ふくろぶんで  
みかんは なんこになりますか。

$$\square \times \square = \square$$

かけざんでは ここを いれかえても、

$$\begin{array}{c} \begin{array}{ccc} \boxed{3} & \times & \boxed{5} \\ \swarrow & & \searrow \\ \boxed{5} & \times & \boxed{3} \end{array} \\ \begin{array}{ccc} \boxed{3} & \times & \boxed{5} = 15 \\ \boxed{5} & \times & \boxed{3} = 15 \end{array} \end{array}$$

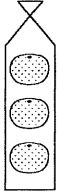


おなじ

こたえは おなじです。

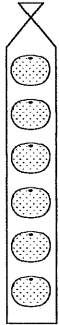
2

①



3 こずつ 6 ふくろぶんで  
みかんは なんこになりますか。

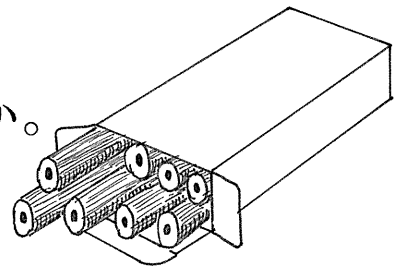
②



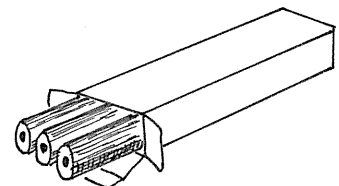
6 こずつ 3 ふくろぶんで  
みかんは なんこになりますか。

3

① 8 ぼんずつ 3 はこぶんで  
えんぴつは なんぼんになりますか。

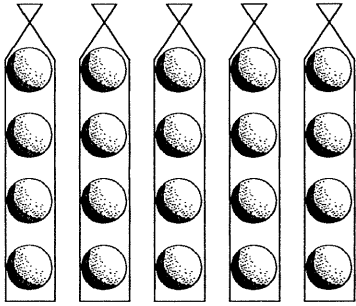


② 3 ぼんずつ 8 はこぶんで  
えんぴつは なんぼんになりますか。



4

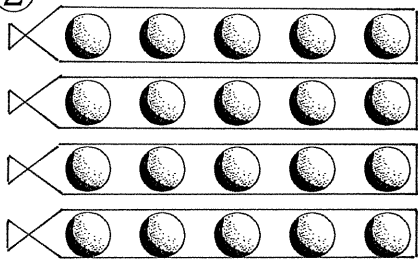
①



なんこずつ なんふくろぶんで  
なんこ ありますか。

$$\square \times \square = \square$$

②

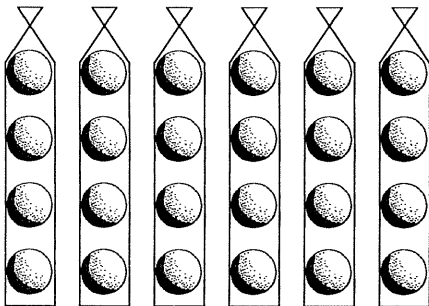


なんこずつ なんふくろぶんで  
なんこ ありますか。

$$\square \times \square = \square$$

5

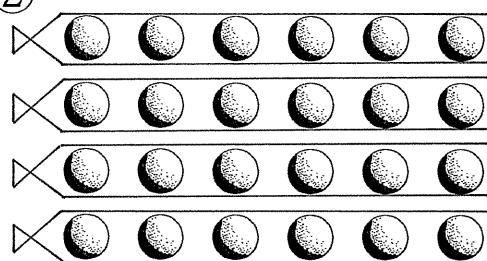
①



なんこずつ なんふくろぶんで  
なんこ ありますか。

$$\square \times \square = \square$$

②

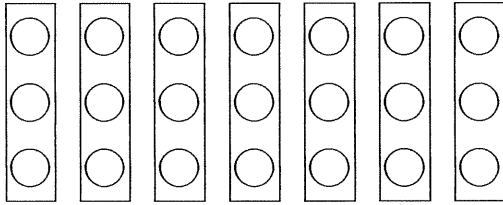


なんこずつ なんふくろぶんで  
なんこ ありますか。

$$\square \times \square = \square$$

6

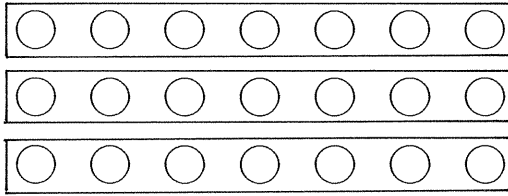
①



なんこずつ なんはこぶんで  
なんこ ありますか。

$$\square \times \square = \square$$

②

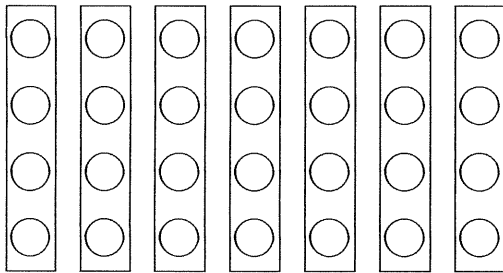


なんこずつ なんはこぶんで  
なんこ ありますか。

$$\square \times \square = \square$$

7

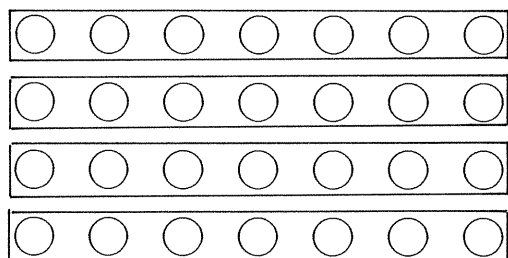
①



なんこずつ なんはこぶんで  
なんこ ありますか。

$$\square \times \square = \square$$

②



なんこずつ なんはこぶんで  
なんこ ありますか。

$$\square \times \square = \square$$



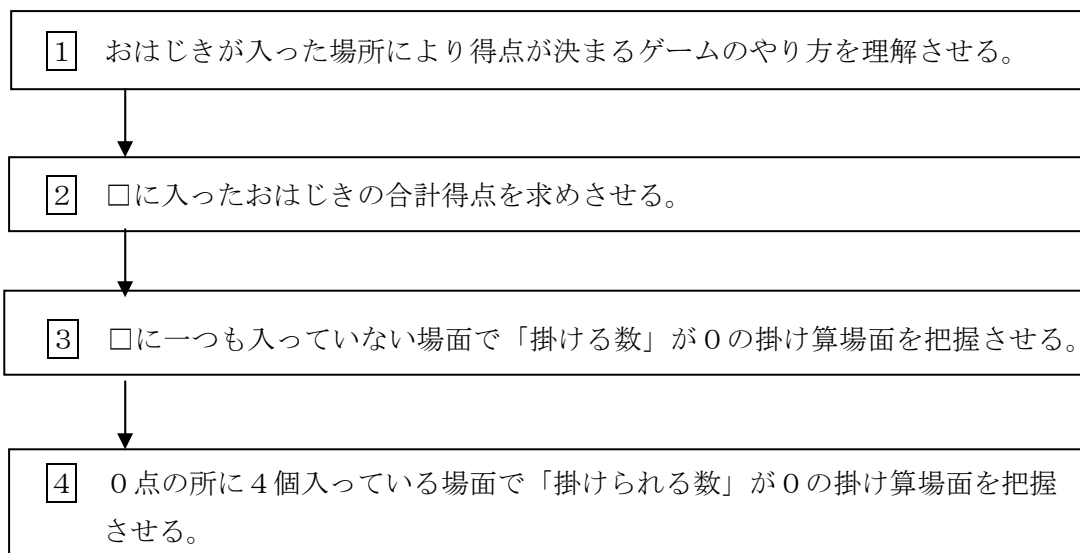
## 指導ポイント&ヒント

### 第10課 「0のかけざん」

- 【指導内容】 ① 0を掛けると答えは0になる場面を理解し、 $\square \times 0 = 0$ の式で表すことを理解する。  
 ② 0にどんな数を掛けても答えは0になる場面を理解し、 $0 \times \square = 0$ の式で表すことを理解する。

- 【日本語】 ① 「おはじき」「はじく」「とくてん」  
 ②  $N_1$ の $N_2$ の $N_3$  「0点のところの得点」 \*Nは名詞の意味

【概念図】



【配慮事項】 前の課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、この課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、教科書は既知のものとして省略してある物事があるため、この課では次のような点に配慮して教科書の書き換えをしました。

- ① 得点ゲームの内容とゲーム方法について知るところから授業を始めた。
- ② 「ちひろさん」「ひろしくん」「たけしくん」といった個人名を略すことで、内容の読み取りだけに集中できるようにした。
- ③ 「合計得点が多い方が勝ち」というゲーム結果は、「0の掛け算」の理解と直接関係ないので略した。
- ④ 「授業の流れ」における配慮

- 1で「おはじきが、どこにいくつ入ったか」を確認する場面を設けた。
- 2では、得点の計算の仕方を下図のような示し方「言葉の式」と合わせて「□の式」を示し、数字を書き入れやすいようにした）で子どもが間違えないようにした。

|                                                                                                  |   |                                                                                                 |   |                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">はいったところのてん</div>      | × | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">はいったかず</div>         | = | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">とくてん</div>           |
| 3てんのところ                                                                                          |   |                                                                                                 |   |                                                                                                 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; width: 100px;">3</div> | × | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; width: 100px;"></div> | = | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; width: 100px;"></div> |
| 1てんのところ                                                                                          |   |                                                                                                 |   |                                                                                                 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; width: 100px;">1</div> | × | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; width: 100px;"></div> | = | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; width: 100px;"></div> |

③で「0を掛ける」計算場面、④で「0に掛ける」計算場面というように「0の掛け算」を一気に扱わず、きっちり2つにわけた。また、下の図のように「0を掛けたら0になる」「0にいくつかけても0になる」という理屈と式を併記して、場面と算数概念と式とを視覚的に結び付けた。

|          |   |        |   |        |
|----------|---|--------|---|--------|
| 2てんのところは | × | 0こですから | = | 0てんです。 |
| 2        | × | 0      | = |        |

|          |   |       |   |        |
|----------|---|-------|---|--------|
| 0てんのところは | × | 4んですが | = | 0てんです。 |
| 0        | × |       | = |        |

\*言葉の式のところに薄い色で「×」と「＝」書き入れて、計算式と外見上も似せておいた。



## 10課/Lesson 10/Leksyon 10

### ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご  | Words                                | Mga salita |
|------|--------------------------------------|------------|
| おはじき | marble; flat marbles; taw            | holen      |
| せん   | line                                 | linya      |
| ゆび   | finger                               | daliri     |
| はじく  | shoot                                | pitikin    |
| とくてん | point; score                         | puntos     |
| けっか  | results                              | resulta    |
| ひょう  | table; graph                         | table      |
| まとめる | show; collect; organize              | ipapakita  |
| しかた  | the way of doing (something)         | paraan     |
| ばあい  | in the case of...; in the case where | sa kaso ng |

| ぶん                                  | Phrases                                                            | Grupo ng mga salita                                               |
|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| おはじきを せんの<br>ところに おいて、<br>ゆびで はじます。 | Place a marble behind the line and shoot/flick it with the finger. | Ilagay ang holen sa linya at pitikin ito upang pumasok sa target. |
| とくてんの けいさん                          | calculating points                                                 | ang pagkalkula ng mga puntos                                      |
| けっかを ひょうに<br>まとめました。                | We show the results in a table/graph.                              | Ang resulta ay ipinapakita dito sa table.                         |
| けいさんの しかた                           | how to calculate the points                                        | paraan ng pagkalkula                                              |
| 0 この ばあいの<br>とくてん                   | Points scored in the case of 0 (piece/marble)                      | Pagkalkula ng puntos sa kaso ng 0 holen.                          |

# 10 0 のかけざん

1

導入でよく取り上げられる「陣取りゲーム」の理解

## とくてんゲーム

|   |  |
|---|--|
| 2 |  |
| 0 |  |
| 3 |  |
| 0 |  |
| 1 |  |
| 0 |  |
|   |  |

### ゲームのやりかた

- ①おはじきを せんの ところにおいて、  
ゆびで はじきます。
- ③ 1 の しかくにはいったら、1 てん。  
2 の しかくにはいったら、2 てん。  
3 の しかくにはいったら、3 てん。
- ④どこにも はいらなかったら、0 てん。

ゲームをしたら つぎの ように なりました。

|   |       |  |
|---|-------|--|
| 2 |       |  |
| 0 |       |  |
| 3 | ○ ○   |  |
| 0 |       |  |
| 1 | ○ ○ ○ |  |
| 0 |       |  |
|   |       |  |

- ① 3 てんの ところにおはじきは  
なんこ ありますか。
- ② 2 てんの ところにおはじきは  
なんこ ありますか。
- ③ 1 てんの ところにおはじきは  
なんこ ありますか。
- ④ 0 てんの ところにおはじきは  
なんこ ありますか。

2

とくてんの けいさん

けっかを ひょうに まとめました。

| はいった ところ | はいった かず (こ) | とくてん (てん) |
|----------|-------------|-----------|
| 3 てん     | 2           |           |
| 2 てん     | 0           |           |
| 1 てん     | 3           |           |
| 0 てん     | 4           |           |

とくてんを けいさんしましょう。

けいさんの しかた

はいったところのてん

×

はいった かず

=

とくてん

① 3 てんの ところ

3

×

=

② 1 てんの ところ

×

=

3

## 0の かけざん (1)

2てんの ところの とくてんは なんてんに なりますか。

はいったところのてん

×

はいった かず

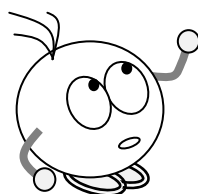
=

とくてん

2

×

=



はいったかずは  
0こ ですから

## 0この ばあいの とくてん

2てんの ところは

×

0こ ですから

=

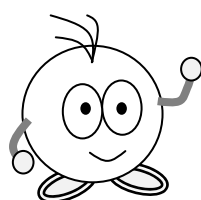
0てんです。

2

×

0

=



2

×

0

=

0

これは、

「0の ある かけざん」なのですね。

4

## 0の かけざん (2)

0てんの ところの とくてんは なんてんに なりますか。

はいったところのてん

×

はいった かず

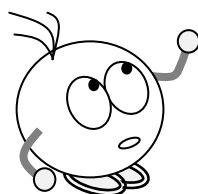
=

とくてん

0

×

=



はいったかずは  
4こ ですが

## 0てんの ところの とくてん

0てんの ところの とくてんは なんてんに なりますか。

0てんの ところは

×

4こですが

=

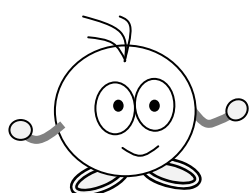
0てんです。

0

×

4

=



0てんの ところに なんこ はいっても、  
とくてんは 0てん。あたりまえですね。  
これも、「0の ある かけざん」です。

## 指導ポイント&ヒント

### 第11課 「わけて あわせて」

【指導内容】① 乗法の交換法則を理解する。

「かけられる数」を2つに分けて計算し、あとでそれぞれの答えを足して、元の掛け算と比べてみる。

(例)  $8 \times 6 = 48$  を  $5 \times 6$  と  $3 \times 6$  とに分けて計算し、それぞれの答えを足す。

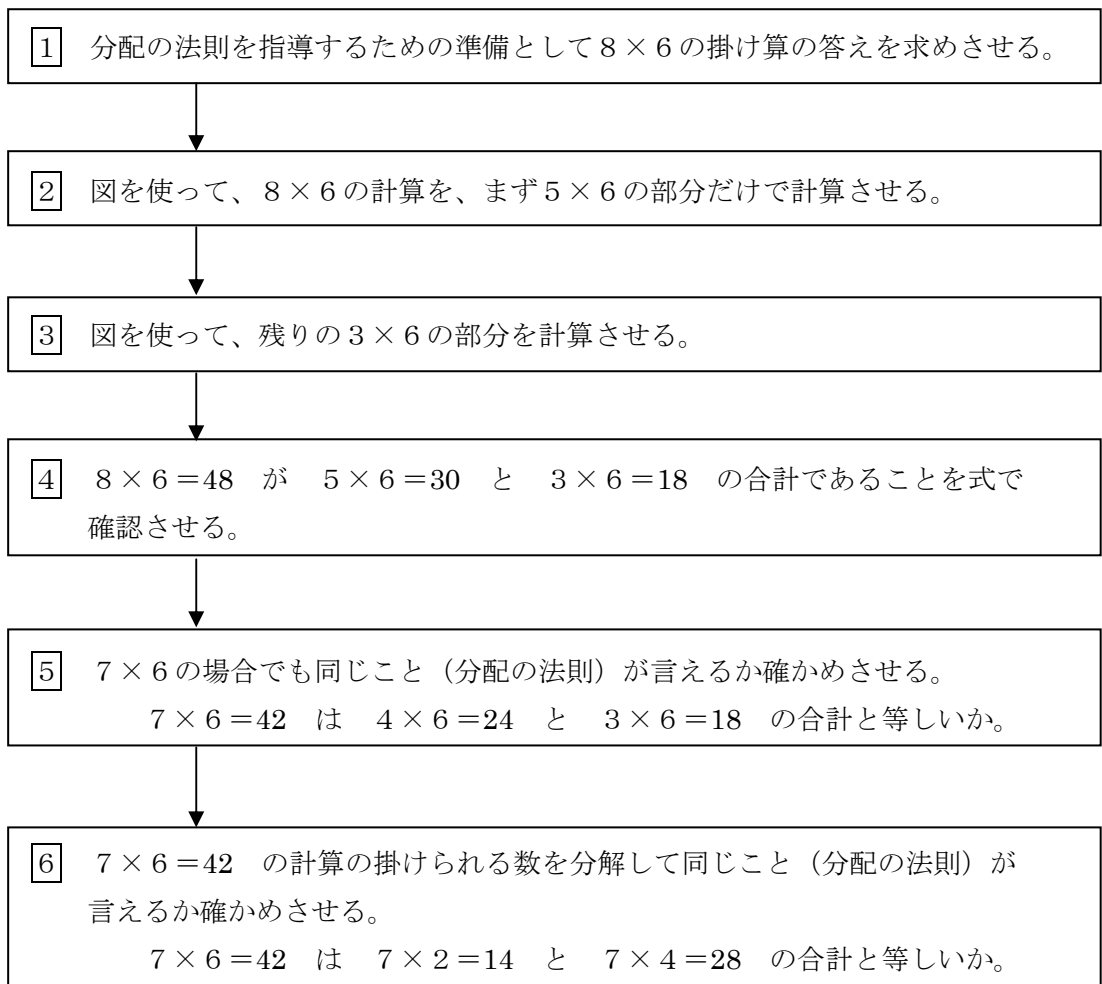
「かける数」を2つに分けて計算し、あとでそれぞれの答えを足して、元の掛け算と比べてみる。

(例)  $7 \times 6 = 42$  を  $7 \times 4$  と  $7 \times 2$  とに分けて計算し、それぞれの答えを足す。

【日本語】① 「もとめる」「ほうほう」「答えをだす。」

②  $N_1$  は  $N_2$  と  $N_3$  を  $V$  た  $N_4$  「8は5と3を合わせた数」\* $N$  は名詞、 $V$  は動詞の意味

【概念図】



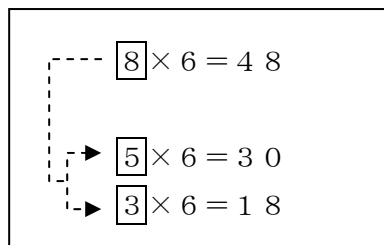
【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、11課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、教科書は既知のものとして省略してある物事があるため、この課では次のような点に配慮して教科書の書き換えをしました。

①いきなり「 $8 \times 6$ 」を「 $5 \times 6$ 」と「 $3 \times 6$ 」に分けるのではなく、「 $8 \times 6$ 」の復習から始めた。

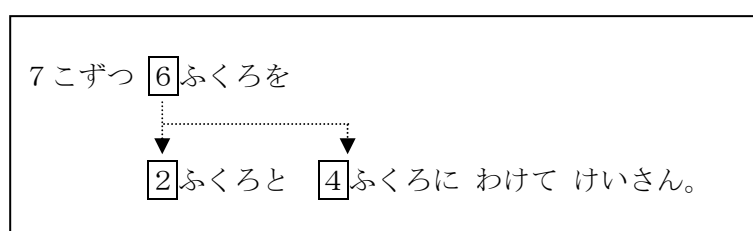
②なぜ「分けて」計算することを学ぶのか、その利便性を伝えるため、「 $8 \times 6$ の答えが



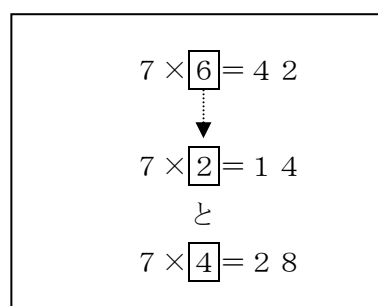
- 分からなくても、2つに分けられる方法を知っていれば解ける」という理由を提示した。
- ③分けて計算することを明確にするため、計算しない方のかたまりを□で隠した。
- ④「かけられる数」を2つにわけると、「かける数」を2つに分ける場合とをしっかりと分けて扱い、混乱しないように配慮した。
- ⑤「かけられる数」を2つに分けるときは、下図のように矢印で示し、



- ⑥「かける数」を2つに分けるときは、下図のように矢印で示した。



これでも分からない子どもには、  
さらに右図のような補足をするとい。





## 11 課/Lesson 11/Leksyon 11

### ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご    | Words                         | Mga salita          |
|--------|-------------------------------|---------------------|
| わける    | divide·regroup                | hatiin              |
| あわせる   | put together                  | pagsamahin          |
| もとめる   | find                          | hanapin             |
| ほうほう   | method; way/s of doing things | paraan              |
| くらべる   | compare                       | ikumpara            |
| ちがう    | different                     | magkaiba            |
| まず     | first                         | una                 |
| つぎに    | next                          | pagkatapos; kasunod |
| さいごに   | finally; lastly               | sa panghuli         |
| こたえをだす | show the answer               | ipakita ang sagot   |

| ぶん                                 | Phrases                                                          | Grupo ng mga salita                                                               |
|------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| わけて あわせて                           | divide and put together                                          | paghati-hatiin at pagsamahin                                                      |
| みかんの かずを<br>かけざんで<br>もとめましょう。      | Let's find the number of oranges by using multiplication.        | Alamin natin kung ilan ang bilang ng mga dalandan sa pamamagitan ng pag-multiply. |
| こんな ほうほうが<br>あります。                 | There is this kind of method/way of doing things.                | mayroon pang ganitong paraan.                                                     |
| たした かずと<br>8×6の こたえを<br>くらべましょう。   | Compare the sum of the numbers we added with the product of 8×6. | Ikumpara natin ang nakuhang sagot dito sa product ng 8×6.                         |
| ちがいますか。                            | Are they different?                                              | Magkaiba ba?                                                                      |
| まず、7×6の<br>こたえを だします。              | First, find the answer of 7×6.                                   | Una, ipakita natin ang sagot ng 7×6.                                              |
| つぎに、4×6と<br>3×6の こたえを<br>だしてみましょう。 | Secondly, let's try to find the answers of 4×6 and 3×6.          | Pangalawa, ipakita natin ang mga sagot ng 4×6 at 3×6.                             |
| さいごに、こたえを<br>だしてみましょう。             | Finally, let's show/find the answer.                             | Sa panghuli, pagsamahin natin ito para makuha ang tamang sagot.                   |

# 11 わけて あわせて

2 - 2

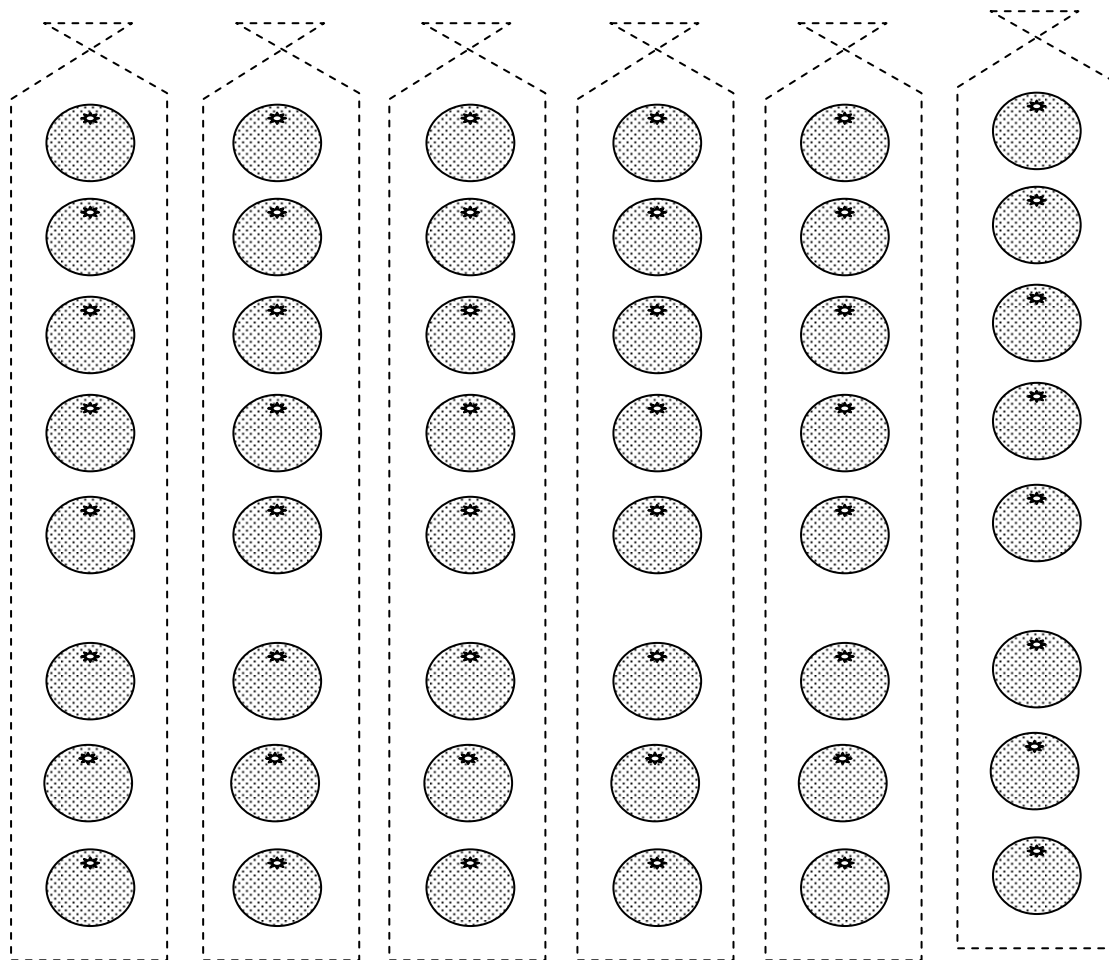
1

数がたくさんある場合の掛け算

みかんが たくさん

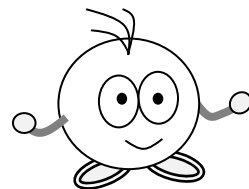
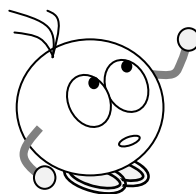
みかんは いくつ あるでしょうか。

みかんの かずを かけざんで もとめましょう。



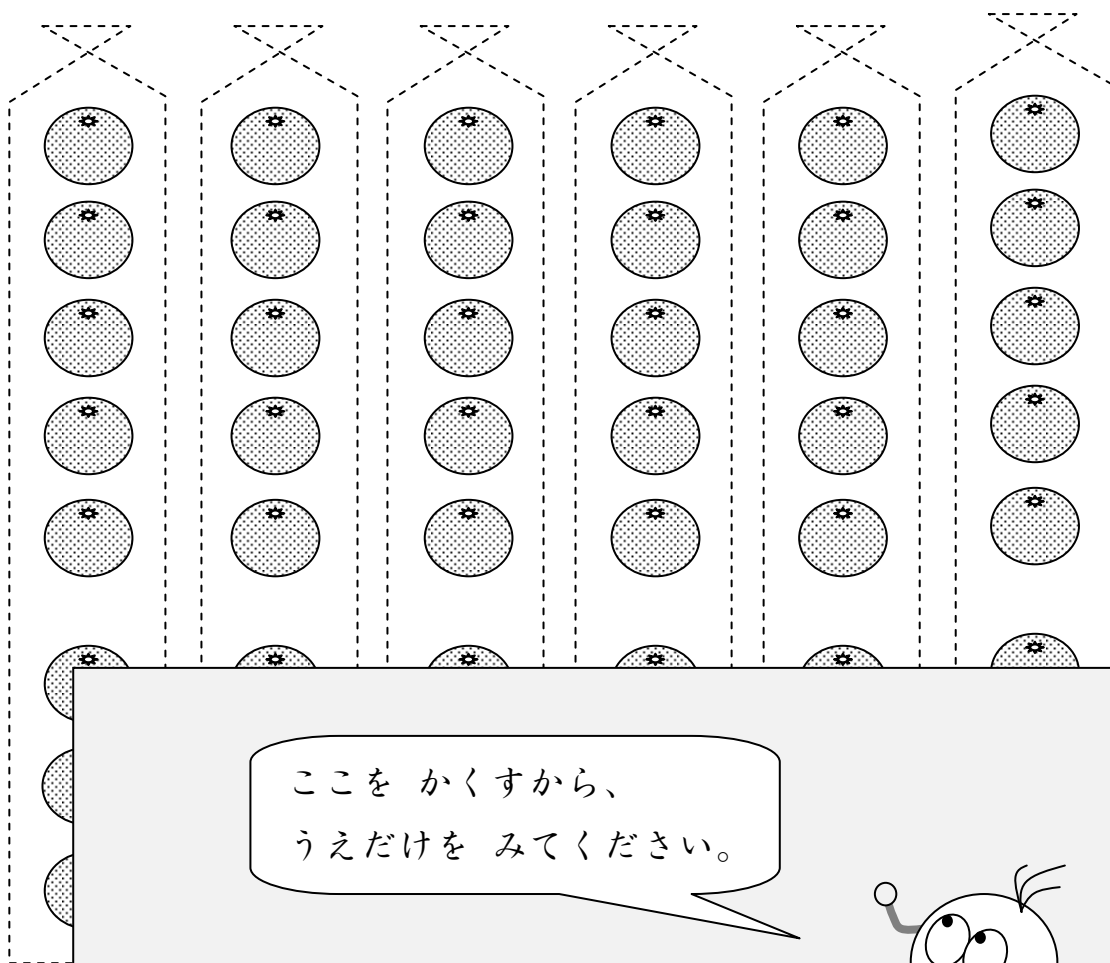
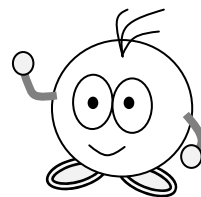
8こずつ 6ふくろぶん だから

$$\square \times \square = \square$$

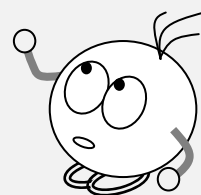


## わけて けいさん

8 × 6 の こたえが わからなくても  
こんな ほうほうが あります。

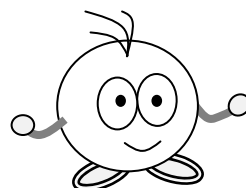


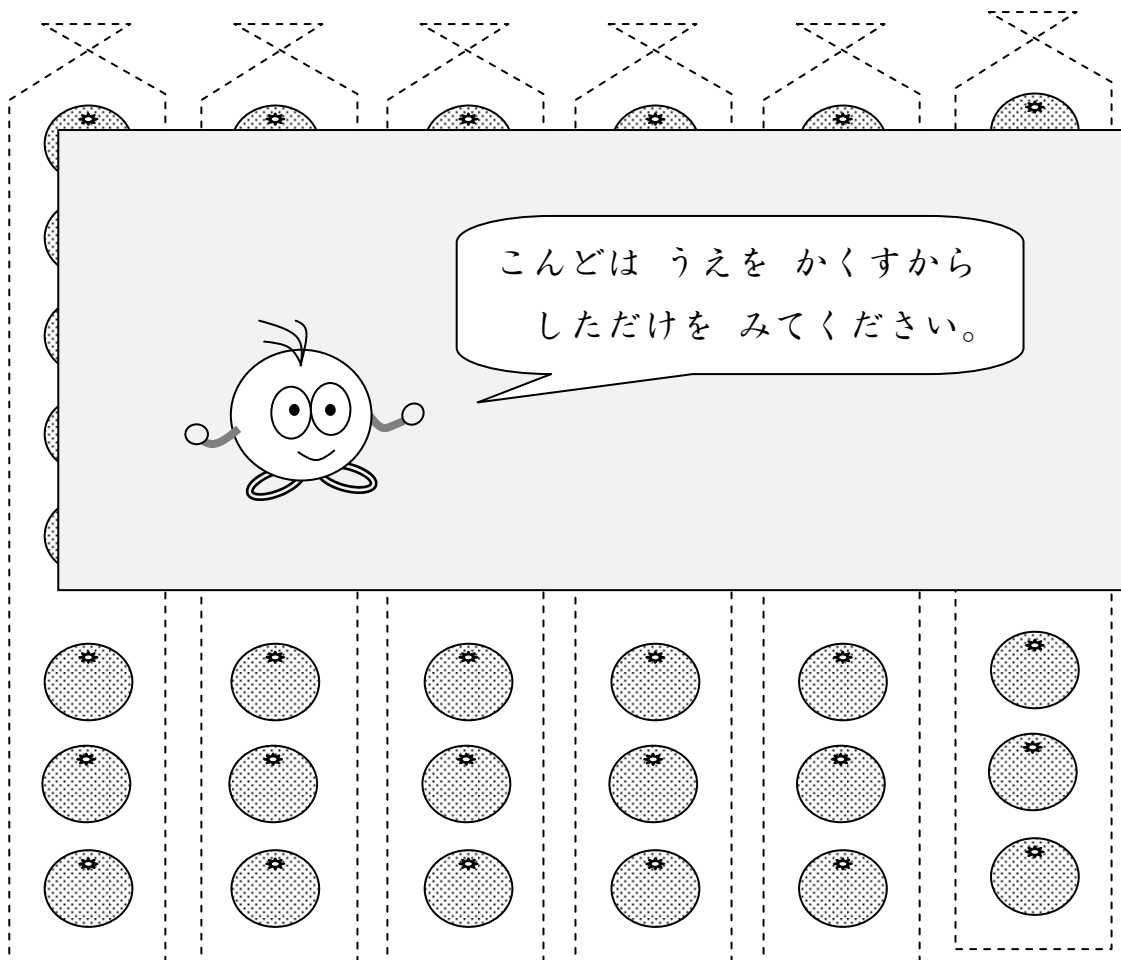
ここを かくすから、  
うえだけを みてください。



5こずつ 6ふくろぶん だから

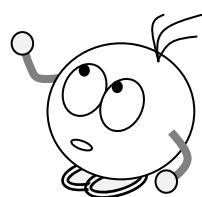
$$\square \times \square = \square$$





3こずつ 6ふくろぶん だから

$$\square \times \square = \square$$



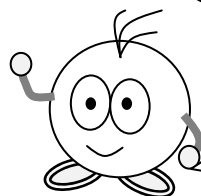
うえと したを たしましょう。

うえの かず  $\Rightarrow$  30

したの かず  $\Rightarrow$  +18

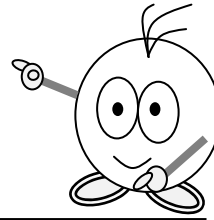
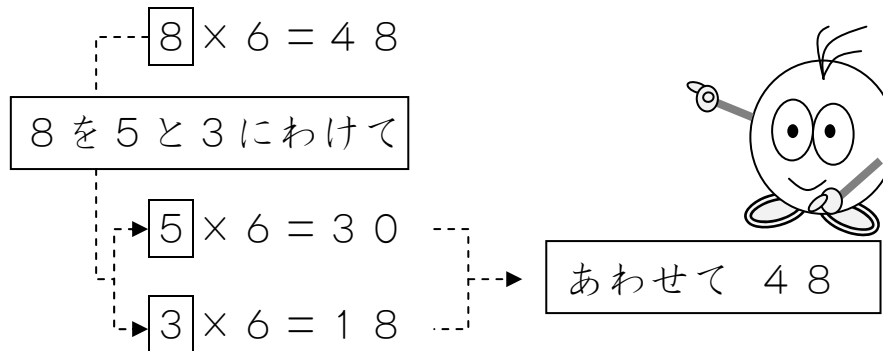
---

たしたかずと  
8×6のこたえを  
くらべてみましょう。



おなじですか。  
ちがいますか。

このことを しきで あらわすと



このことを ぶん に しましょう。

8 × 6 の こたえは、

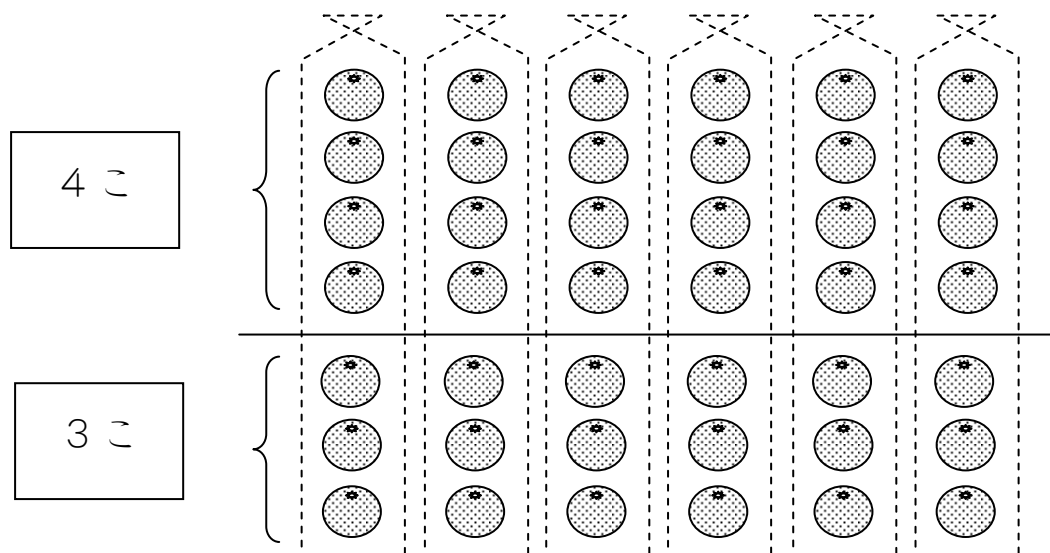
5 × 6 の こたえと

3 × 6 の こたえを あわせた かずです。

ほかの ばあいも おなじでしょうか？

7 こずつ 6 ふくろの ばあい は どうでしょうか。

7 こを 4 こ と 3 こ に わけて たしかめてみましょう。

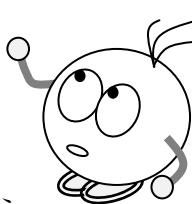


## 7こずつ 6ふくろの ばあい

①まず、 $7 \times 6$ の こたえを だします。

$$7 \times 6 = \boxed{42}$$

②つぎに、 $4 \times 6$ と  $3 \times 6$ の こたえを だしてみましょう。

$$\begin{array}{l} 4 \times 6 = \boxed{\phantom{00}} \\ 3 \times 6 = \boxed{\phantom{00}} \end{array} \quad \begin{array}{c} \boxed{\phantom{00}} \\ \boxed{\phantom{00}} \end{array} \rightarrow \boxed{\phantom{00}}$$


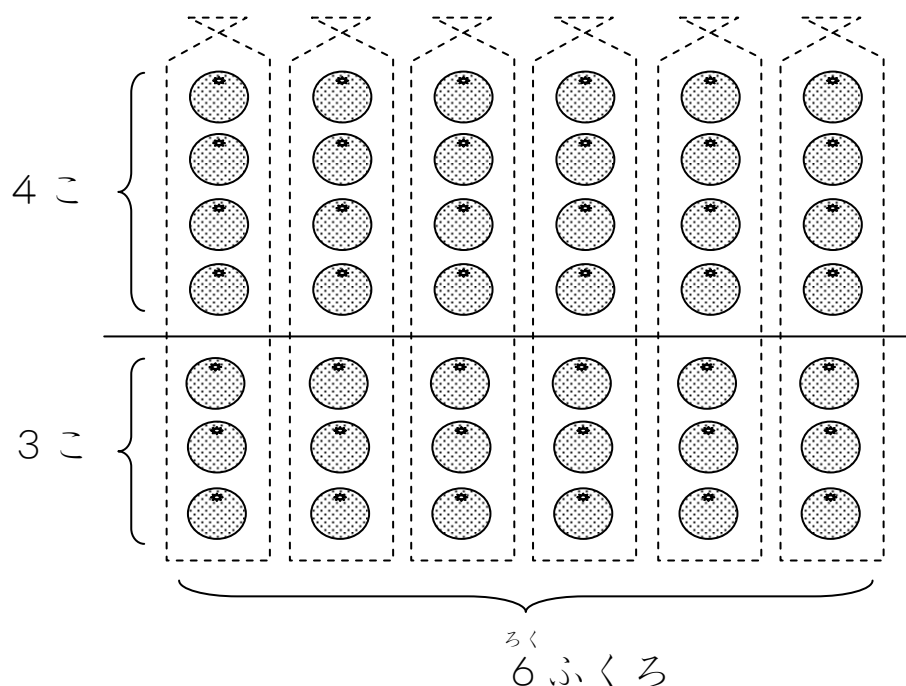
③さいごに、こたえを たしてみましょう。

このことを ぶん に しましょう。

$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}}$  の こたえは、

$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}}$  の こたえと

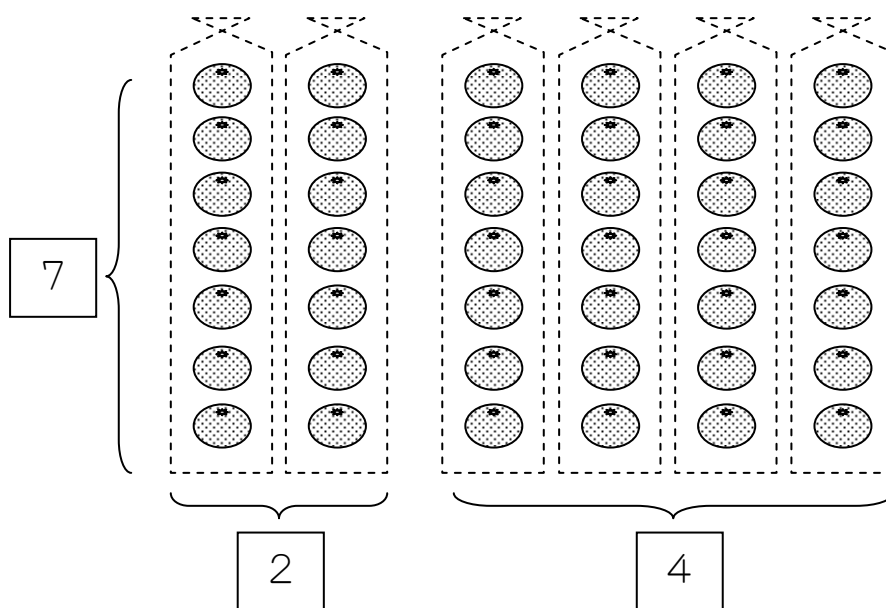
$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}}$  の こたえを あわせた かずです。



こんなふうに わけたら どうなるでしょうか？

7 こずつ 6 ふくろを

2 ふくろと 4 ふくろに わけて けいさん。



たしかめて みましょう。

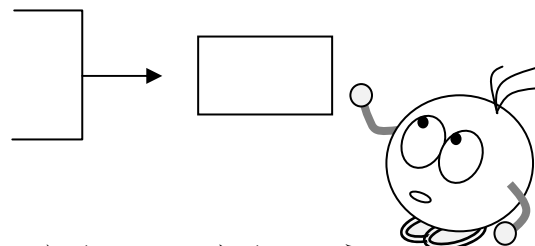
①まず、 $7 \times 6$ の こたえを だします。

$$7 \times 6 = \boxed{\phantom{00}}$$

②つぎに、 $7 \times 2$ と  $7 \times 4$ の こたえを だしてみましょう。

$$7 \times 2 = \boxed{\phantom{00}}$$

$$7 \times 4 = \boxed{\phantom{00}}$$



③さいごに、こたえを たしてみましょう。



## 指導ポイント&ヒント

### 第12課 「10 こずつ 3ふくろで」

【指導内容】①「 $10 \times$  (1位数)」の掛け算の答えの求め方を理解する。

②「(1位数)  $\times 10$ 」の掛け算の答えの求め方を理解する。

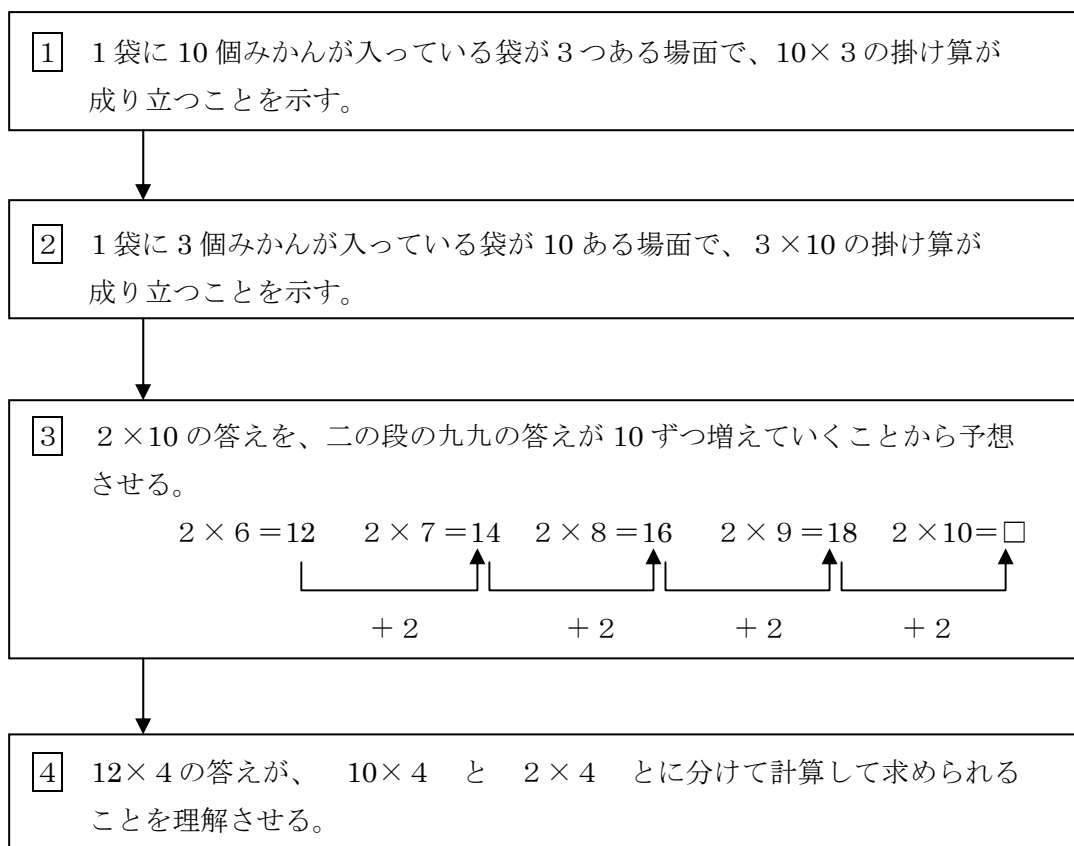
③ 既習内容を用いて「(2位数)  $\times$  (1位数)」の掛け算ができることに気づく。

【日本語】① 1 (単位) にNはいくつあるかを表す言い方。「1袋にみかんはいくつあるか。」

② 同じ数だけ繰り返し行われる表現 「□個ずつV」(例)「2個ずつ増える。」

\*Nは名詞、Vは動詞の意味

【概念図】



【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、この課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、教科書は既知のものとして省略してある物事があるため、この課では次のような点に配慮して教科書の書き換えをしました。

①前の課までと同様に「1袋に入ったみかんの数と袋の数」を用いて説明した。

②10個ずつ3袋の総数を、まず $10 + 10 + 10 = 30$ で確認させたあと、 $10 \times 3$ を導入した。

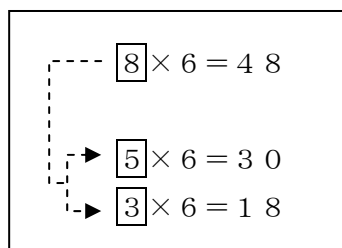
③同じ「みかんの場面」で「3個ずつ10袋」⇒ $3 \times 10$ の場面へと展開させていった。

④「かける数」「かけられる数」という言葉を使わずに「ここ」という代名詞を使うことで言葉の負担を軽減させた。

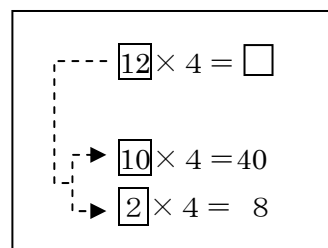
⑤「 $\square \times 10$ 」の答えが「九九」の延長線上で求められることを、二の段、四の段、五の段、六の段と、4つの段の九九を使って入念に確認させた。

⑥ここまでの知識で「 $12 \times 4$ 」の掛け算も解けることを教える際、前の課の学習と十分に関連づけさせて指導した。

前の課で使った説明図



「 $12 \times 4$ 」で使った説明図





## 12 課/Lesson 12/Leksyon 12

### ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご   | Words                  | Mga salita     |
|-------|------------------------|----------------|
| あらわす  | show                   | ipakita        |
| こんどは  | now; this time         | ngayon         |
| かんがえる | think; figure out      | isipin         |
| しらべる  | look over; investigate | suriin; alamin |
| かぞえる  | count                  | bilangin       |
| たしかめる | check                  | check; suriin  |

| ぶん                     | Phrases                                                 | Grupo ng mga salita                                                  |
|------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| かけざんの しきに<br>あらわすと     | If we show this by using a<br>multiplication formula... | Kung ipapakita natin ito pamamagitan ng<br>multiplication formula... |
| こんどは こんな<br>10の かけざん   | Now, we can multiply by<br>10's in this way             | Ngayon, maaari ring mag-multiply ng 10's sa<br>ganitong paraan       |
| こたえを かんがえて<br>みましょう。   | Now, we can multiply by<br>10's in this way             | Isipin natin ang sagot.                                              |
| しらべてみましょう。             | Let's try and look over the<br>...                      | Suriin natin.                                                        |
| さいごに、こたえを<br>だしてみましょう。 | Count and check your<br>answer.                         | Bilangin at suriing mabuti ang sagot.                                |

1

10 の掛け算「 $10 \times 3$ 」の意味理解

## 10 の かけざん

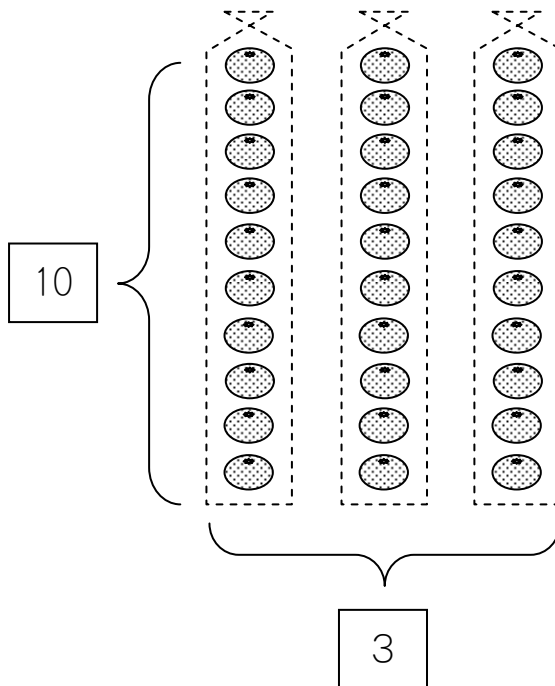
1 ふくろに みかんは いくつ ありますか。

 こ

ふくろは いくつ ありますか。

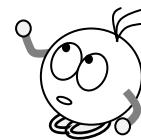
 ふくろ

みかんは ぜんぶで いくつ ありますか。

 こ


たしざんだと、  
 $10 + 10 + 10 = 30$

かけざんでも  
できそうですね。

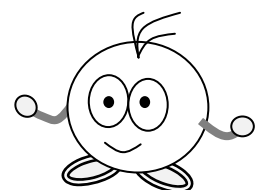


## かけざんの しきに あらわすと

かけざんの しきでも あらわせます。

$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

10 こずつ      3 ふくろで      30 こ



2

## こんどは こんな 10の かけざん

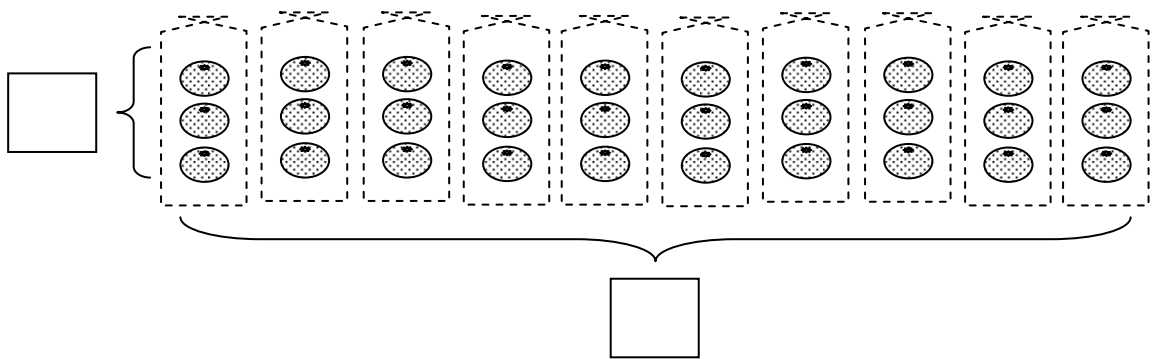
1ふくろに みかんは いくつ ありますか。

 こ

ふくろは いくつ ありますか。

 ふくろ

みかんは ぜんぶで いくつ ありますか。

 こ


## しきに あらわすと

このことを かけざんの しきで あらわしましょう。

$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

3 こずつ      10ふくろで      30 こ

$$10 \times 3 =$$

$$3 \times 10 =$$

かけざんは、ここが 10 に  
なっても できます。

× 10 の かけざんの こたえを かんがてみましょう。

かけざん「九九」をつかって、かんがえてみましょう。

$2 \times 1 = 2$

2

$2 \times 2 = 4$

2

$2 \times 3 = 6$

2

$2 \times 4 = 8$

2

$2 \times 5 = 10$

2

$2 \times 6 = 12$

2

$2 \times 7 = 14$

2

$2 \times 8 = 16$

2

$2 \times 9 = 18$

2

$2 \times 10 = \square$

2



2のだんの「九九」は、  
こたえが 2 ずつ ふえる  
のでしたね。



2 ずつ ふえるのですから、  
□は いくつに なりますか。

ほかの「九九」でも しらべてみましょう。

$4 \times 5 = 20$

4

$4 \times 6 = 24$

4

$4 \times 7 = 28$

4

$4 \times 8 = 32$

4

$4 \times 9 = 36$

4

$4 \times 10 = \square$

4

$5 \times 5 = 25$

5

$5 \times 6 = 30$

5

$5 \times 7 = 35$

5

$5 \times 8 = 40$

5

$5 \times 9 = 45$

5

$5 \times 10 = \square$

5

$6 \times 5 = 30$

□

$6 \times 6 = 36$

□

$6 \times 7 = 42$

□

$6 \times 8 = 48$

□

$6 \times 9 = 54$

□

$6 \times 10 = \square$

□

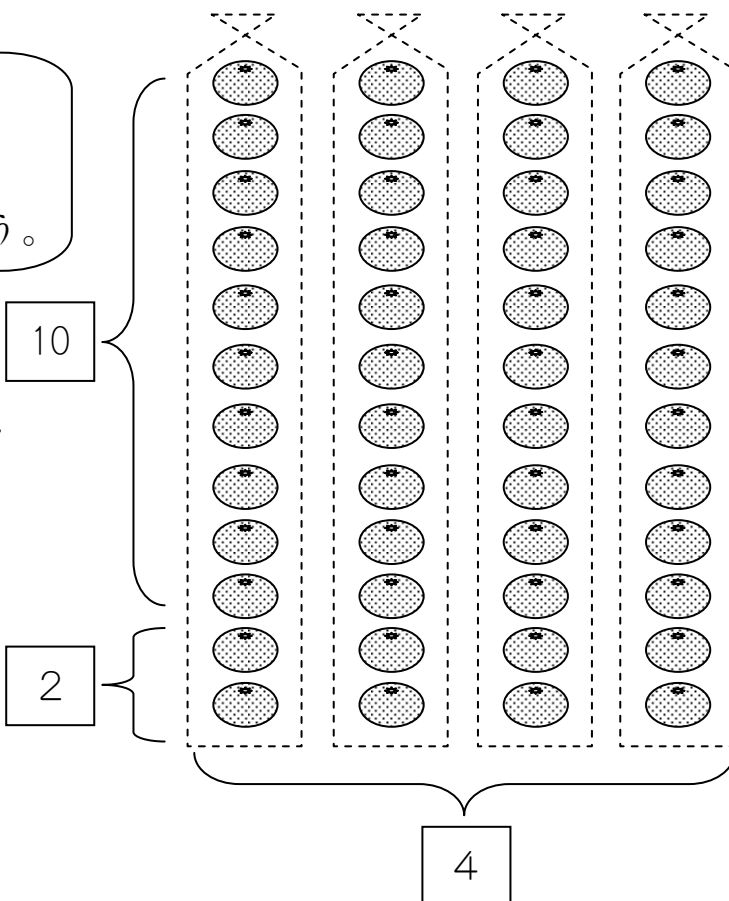
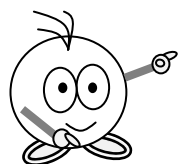
12×4 の かけざんも できます。

12×4 のかけざんも こうすれば こたえが わかります。

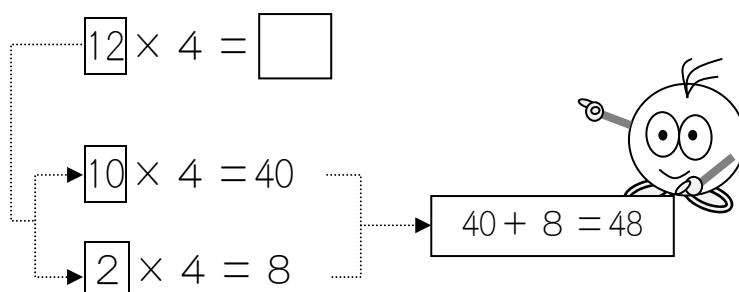
12を

10 と 2 に

わけてみましょう。



12を 10と2 に わけて



わけて けいさんしたら 48に なりましたが、  
ほんとうに 48 でしょうか。  
かぞえて たしかめてみましょう。



## 指導ポイント&ヒント

### 第13課 「 $20 \times 3$ や $200 \times 3$ のかけざん」

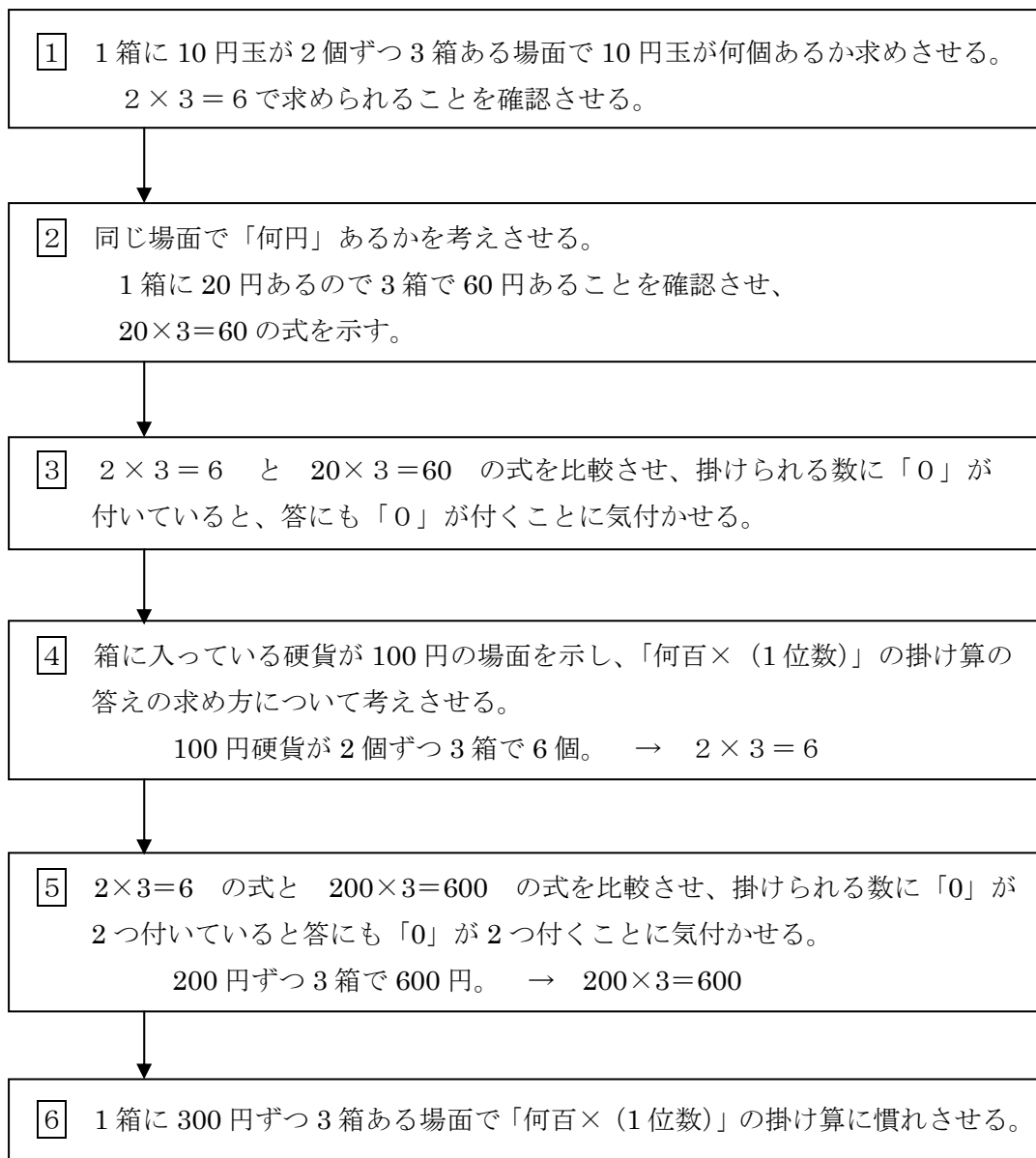
【指導内容】①「何十 $\times$ (1位数)」の掛け算の答えの求め方を理解する。

②「何百 $\times$ (1位数)」の掛け算の答えの求め方を理解する。

【日本語】①いくつかある中で、ある部分を限定する言い方。

「900円で答えが合っているか」「4箱の場合で確かめてみましょう。」

【概念図】



【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、教科書は既知のものとして省略してある物事があるため、この課では次のような点に配慮して教科書の書き換えをしました。

①教科書では「1本40円の鉛筆が3本でいくら」「1束20枚入りの色紙が3束でいくら」「1枚20円の画用紙が3枚でいくら」という物の代金で導入しているが、「物⇒10円硬貨⇒金額(数)」と、数で考えるまでに2回置き換えなくてはならない。そこで、「10円硬貨がいくつで何円になるか」という形にすることで、置き換えを1回にし



た。

②いろいろな物で考えさせると混乱するおそれがあるので、10 円硬貨と 100 円硬貨だけで「何十の掛け算」「何百の掛け算」の説明と練習を続けた。この教材で「何十の掛け算」「何百の掛け算」の方法が理解できたら、教科書を使って練習するようにしてもよい。ただし、それが難しそうなら 14 課の学習を済ませてから教科書の問題に入る。

③1 位数の掛け算が「何十の掛け算」「何百の掛け算」に応用できることに気づかせるため、式を並べて提示するとともに、「0」の数字を薄くして気づきやすいようにした。

|                                    |                                      |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| $\boxed{2} \times 3 = \boxed{6}$   | $\boxed{2} \times 3 = \boxed{6}$     |
| $\boxed{20} \times 3 = \boxed{60}$ | $\boxed{200} \times 3 = \boxed{600}$ |



### 13課/Lesson 13/Leksyon 13

ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご  | Words               | Mga salita |
|------|---------------------|------------|
| いくら  | how much?           | magkano    |
| たいへん | difficult; not easy | mahirap    |

| ぶん                  | Phrases                                     | Grupo ng mga salita                        |
|---------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------|
| ぜんぶで いくら<br>ありますか。  | How much is it all?                         | Magkano lahat?                             |
| かぞえるのは たいへん<br>ですね。 | Counting things in this<br>way is not easy. | Mahirap talaga ang magbilang ng paisa-isa. |

1

「何十の掛け算」への導入

ぜんぶで いくつ

1 はこに 10 えんだまは いくつ ありますか。

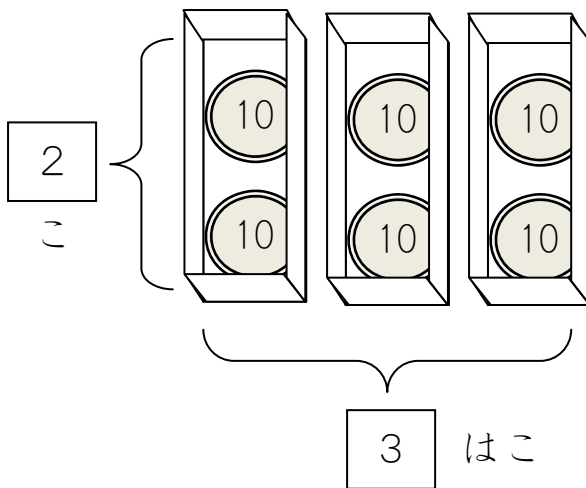
こ

はこは いくつ ありますか。

はこ

10 えんだまは ぜんぶで いくつ ありますか。

こ



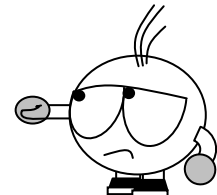
これも かけざんが  
つかえそうですね。



かけざんの しきに あらわすと

これを かけざんの しきで あらわしましょう。

$$\begin{array}{c} \boxed{\phantom{00}} \\ 2 \text{ こずつ} \end{array} \times \begin{array}{c} \boxed{\phantom{00}} \\ 3 \text{ はこで} \end{array} = \begin{array}{c} \boxed{\phantom{00}} \\ 6 \text{ こ} \end{array}$$



$$\begin{array}{c} \text{10} \\ \text{10} \end{array} \times \begin{array}{c} \boxed{\phantom{00}} \\ \boxed{\phantom{00}} \\ \boxed{\phantom{00}} \end{array} = \begin{array}{ccc} \text{10} & \text{10} & \text{10} \\ \text{10} & \text{10} & \text{10} \end{array}$$

2

## ぜんぶで いくら

1 はこに いくら ありますか。

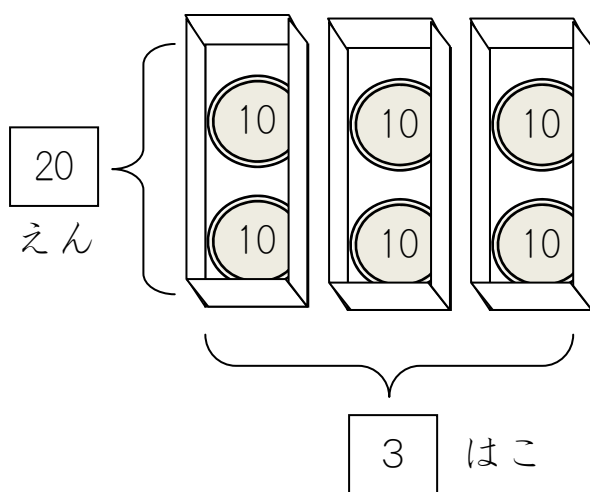
えん

はこは いくつ ありますか。

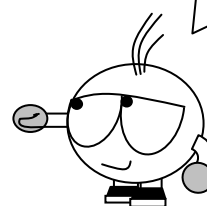
はこ

ぜんぶで いくら ありますか。

えん



これも かけざんが  
つかえそうですね。

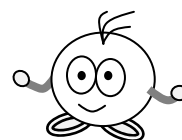


## しきに あらわすと

これを かけざんの しきで あらわしましょう。

$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

1 はこに 20 えん      3 はこで      60 えん



$$\begin{array}{c} \textcircled{10} \\ \textcircled{10} \end{array} \times \begin{array}{|c|c|c|} \hline \phantom{00} \\ \hline \phantom{00} \\ \hline \phantom{00} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{ccc} \textcircled{10} & \textcircled{10} & \textcircled{10} \\ \textcircled{10} & \textcircled{10} & \textcircled{10} \end{array}$$

どこが にていますか。

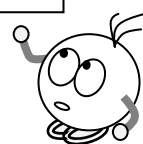
アとイの しきを くらべてみましょう。

ア  $\boxed{2} \times \boxed{3} = \boxed{6}$

イ  $\boxed{20} \times \boxed{3} = \boxed{60}$



こっちに 0 が ついてると、



こっちにも 0 が つきます。

これは べんりかもしれません。

これで けいさんできるなら、べんりですね。

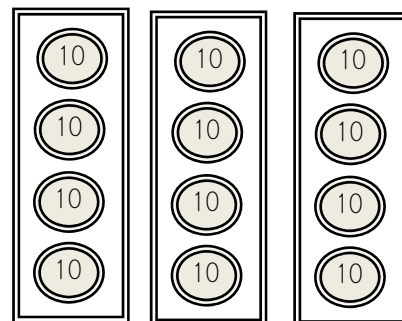


こんな もんだいで たしかめてみましょう。

1 はこに 40 えん はいっています。

3 はこで いくらに なりますか。

ア  $\boxed{4} \times \boxed{3} = \boxed{12}$



イ  $\boxed{40} \times \boxed{3} = \boxed{120}$



120 えんで こたえが あっているか たしかめましょう。

4

## ぜんぶで いくつ

1 はこに 100 えんだまは いくつ ありますか。

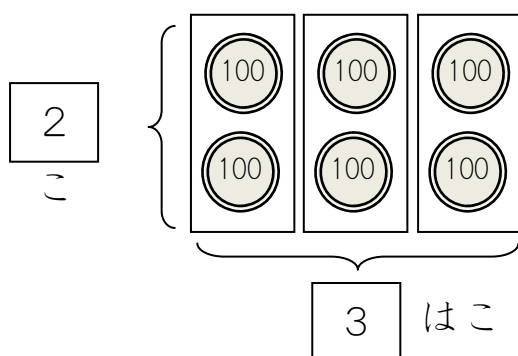
こ

はこは いくつ ありますか。

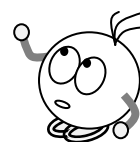
はこ

100 えんだまは ぜんぶで いくつ ありますか。

こ



こんどは 100 えんだまです。  
いくつ ありますか。

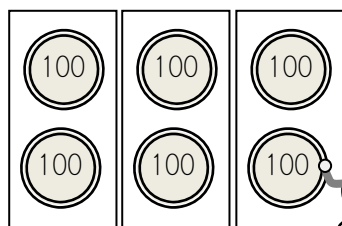


## かけざんの しきに あらわすと

①これを かけざんの しきに あらわしましょう。

$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

2 こずつ      3 はこで      6 こ

②いくら あるでしょうか。かぞえてみましょう。

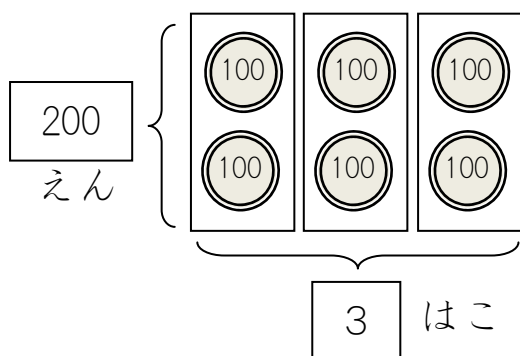
100 えん、200 えん、300 えん・・・。

かぞえるのは たいへんですね。  
かけざんが つかえませんか。



5

ぜんぶでいくら



これを かけざんの  
しきに してみましょう。



$$\boxed{\phantom{200}} \times \boxed{\phantom{3}} = \boxed{\phantom{600}}$$

1 はこに 200 円      3 はこで      600 円

どこが にていますか。

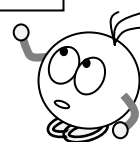
アとイの しきを くらべてみましょう。

ア  $\boxed{2} \times \boxed{3} = \boxed{6}$

イ  $\boxed{200} \times \boxed{3} = \boxed{600}$



こっちに00がついていると、



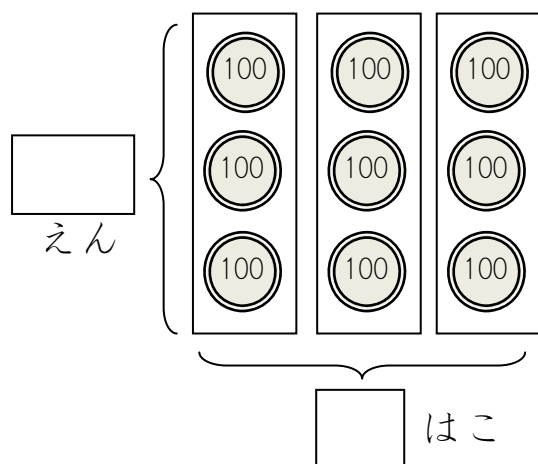
こっちにも00がつきます。

これで けいさんできるなら、べんりですね。

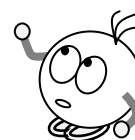
つぎの もんだいで たしかめてみましょう。

6

かけざんで できるでしょうか。



これを かけざんの しきに  
してみましょう。



$$\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}} = \boxed{\phantom{000}}$$

1 はこに いくら

なんはこ

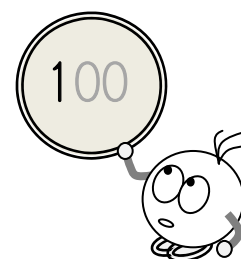
ぜんぶで いくら

これも べんりかもしれません。

① アとイの しきを くらべてみましょう。

ア  $\boxed{3} \times \boxed{3} = \boxed{9}$

イ  $\boxed{300} \times \boxed{3} = \boxed{900}$

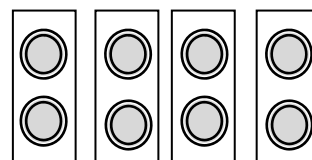


② 900 えんで こたえが あっているか たしかめましょう。

③ 1 はこに 200 えん ある ばあい、4 はこで いくらですか。

ア  $\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}} = \boxed{\phantom{000}}$

イ  $\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}} = \boxed{\phantom{000}}$





## 指導ポイント&ヒント

### 第14課 「23×3のかけざん」

【指導内容】① (2位数) × (1位数) の掛け算の筆算の方法を理解する。

② (2位数) × (1位数) で答えが3位数になる場合の計算方法を理解する。

\* 十の位で繰り上がりのある計算は15課に回した。

【日本語】① 算数でよく使われる語句「代金」。算数特有の言葉「筆算」。

\* 理解が難しい課だと思われるので、新しい文型は使わなかった。

\* すべての課で行った配慮だが、この課でも「同じ場面」で説明を繰り返すことによって、「同じ言い方」を何度も目や耳に入れるようにした。

【概念図】

① 「1枚20円の画用紙3枚でいくらか」という場面で(2位数) × (1位数) の掛け算について考えさせる。

- ・ 13課では10円玉を使い、いったん10円玉の個数に置き換えて計算させたが、14課では置き換えさせることなく考えさせる。
- ・  $20 \times 3$  の掛け算は  $2 \times 3$  の掛け算を利用できたことを想起させる。

② 「1枚23円の画用紙3枚でいくらか」という「掛けられる数が20や30などの区切りのよい数」ではない場面で計算方法を考えさせる。

- ・ 23を20と3に分けて計算させる。
- $$23 \times 3 = \quad \rightarrow \quad 20 \times 3 = 60 \quad 3 \times 3 = 9$$

③  $23 \times 3$  を「筆算」で計算する方法を教える。

④ (2位数) × (1位数) の筆算の練習

⑤ (2位数) × (1位数) の計算で答えが(3位数)になる場合の筆算について理解させる。

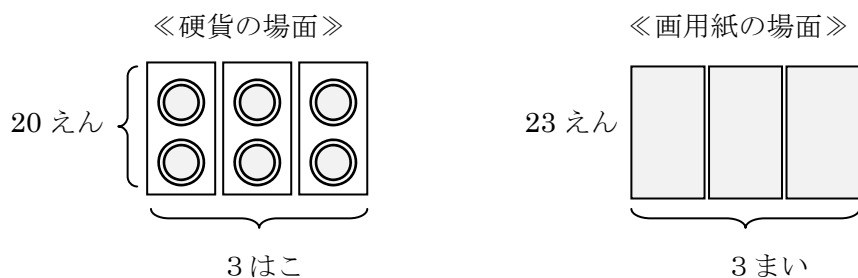
⑥ (2位数) × (1位数) の計算で答えが(3位数)になる場合の筆算について慣れさせる。

【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、教科書は既知のものとして省略してある物事があるため、この課では次のような点に配慮して教科書の書き換えをしました。

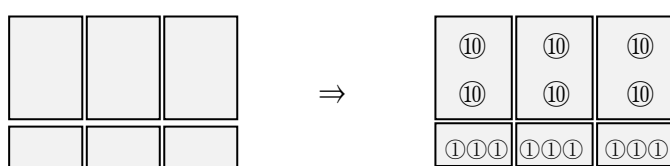
① 今まで10円硬貨や100円硬貨で計算をさせてきたが、この課から「物の代金」という

場面で(2位数)×(1位数)の掛け算を扱い始めた。

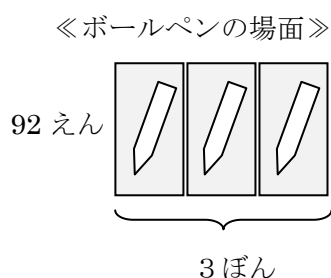
②しかし、場面が変わることによる混乱を避けるため、図は硬貨の時と似せて描いた。



③画用紙の場面を下図-1のように分けたが、この分け方で分からない子どもには下図-2のように硬貨を書き入れるとよい。



④買う物が、画用紙からボールペンに変った場面でも、今までのイメージで考えられるように図を似せて描いた。



【注】問題文で「～を～本買いました。代金はいくらになりますか。」と書いてあるのには指導者は違和感を感じないと思うが、問題文の下(ひっさんで やってみよう)のところでも、「代金はいくらになりますか。」と書いてあることには違和感を感じる方もおられることと思う。

筆算が完了したところで、つまり答えが出たところにもかかわらず「いくらになりますか。」と問うのは確かに不自然だが、問題文では「なりますか」を使い、筆算場面で「なりましたか」を使うと子どもが混乱するのではないかと心配する声もあり、「なりますか」で統一してみた。



## 14課/Lesson 14/Leksyon 14

### ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご   | Words                        | Mga salita                      |
|-------|------------------------------|---------------------------------|
| がようし  | (white/blank) paper          | papel                           |
| かう    | buy                          | bumili                          |
| だいきん  | cost; price                  | presyo; halaga                  |
| ひっさん  | vertical form of calculation | pagkalkula; written calculation |
| どんな   | how                          | Ano'ng klase                    |
| かたち   | form/shape                   | paraan; hugis                   |
| かきかえる | rearrange/rewrite            | isulat (sa ibang paraan)        |

| ぶん                           | Phrases                                                                                        | Grupo ng mga salita                                                |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| がようしを 3まい<br>かいました。          | I bought 3 pieces of (white)<br>paper.                                                         | Bumili ako ng 3 pirasong papel.                                    |
| だいきんは いくらに<br>なりますか。         | How much will it cost?                                                                         | Magkano lahat (ang halaga) ito?                                    |
| この ほうほうを<br>「ひっさん」と<br>いいます。 | This way of doing<br>calculation is called<br>'hissan' or the vertical form<br>of calculation. | Ang tawag dito ay 'hissan' o ang patayong<br>paraan ng pagkalkula. |
| どんな かけざんに<br>なりますか。          | how will we<br>calculate/multiply?                                                             | Anong kalkulasyon ang gagamitin natin dito?                        |
| ひっさんの かたち<br>にかきかえましょう。      | Let's rewrite this into<br>'hissan' (the vertical form).                                       | Isulat natin ito sa patayong paraan ng<br>pagkalkula.              |

## ぜんぶで いくら

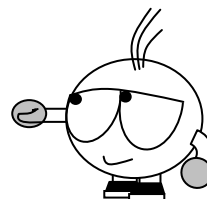
1 まい 20 えんの がようしを 3 まい かいしました。

だいきんは いくらになりますか。

20  
えん



3 まい



20 えんずつ 3 まいで いくらに なりますか。

これも かけざんが つかえます。

1 まいの ねだん

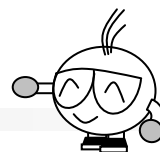
×

かった かず

=

だいきん

## 20 × 3 の かけざんは



20 × 3 の かけざんは 2 × 3 の かけざんが つかえましたね。

2

×

3

=

6

20

×

3

=

1 まいの ねだん

かった かず

だいきん

2

## ぜんぶで いくら

1 まい 23 えんのがようしを 3 まい かいました。

だいきんは いくらに なりますか。

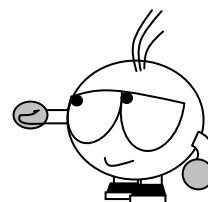
23

えん



3

まい

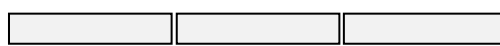


## わけて あわせて

★23 えんを 20 えんと 3 えんに わけて かんがえましょう。

20 えん

3 えん



3 まい

|                                                                                     |  |    |   |   |   |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--|----|---|---|---|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">23</div> |  | 20 | × | 3 | = |  |
|                                                                                     |  | 3  | × | 3 | = |  |

の かずを たすと、 $23 \times 3$  の こたえに なります。

たして こたえを もとめましょう。

|  |   |  |   |  |
|--|---|--|---|--|
|  | + |  | = |  |
|--|---|--|---|--|

## 23×3の ひっさん

23×3は、つぎのように けいさんすることが できます。

1

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$$

23×3を たてに かきます。

2

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 3 \\ \hline 9 \end{array}$$

3×3のこたえ 9 を かきます。

3

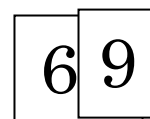
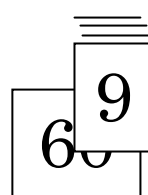
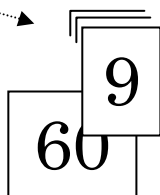
$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 3 \\ \hline 69 \end{array}$$

3×2のこたえ 6 を かきます。

この ほうほうを 「ひっさん」と いいます。

$$3 \times 3 = 9$$

$$20 \times 3 = 60$$



## ぜんぶで いくら

1 まい 34 えんの がようしを 2 まい かいました。

だいきんは いくらに なりますか。

34

えん



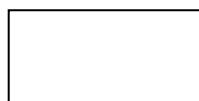
2

まい

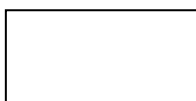


## ひっさんで やってみましょう。

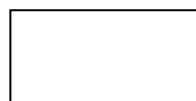
① どんな かけざんになりますか。



×



=

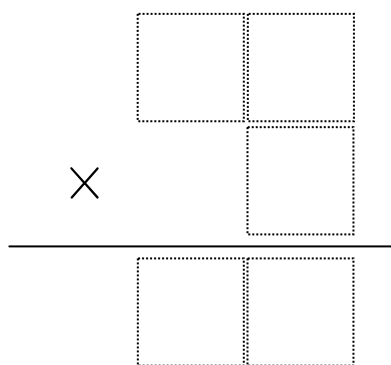


1 まいの ねだん

かった かず

だいきん

② ひっさんの かたちにかきかえましょう。



③  $2 \times 4$  の こたえをかきましょう。

④  $2 \times 3$  の こたえをかきましょう。

⑤ だいきんは いくらになりますか。

## ぜんぶでいくら

1 まい 42 えんの がようしを 3 まい かいしました。

だいきんは いくらに なりますか。

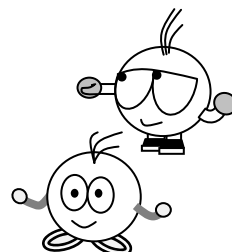
42

えん



3

まい



## ひっさんで やってみましょう。

① どんな かけざんになりますか。

×

=

1 まいの ねだん

かった かず

だいきん

② ひっさんの かたちにかきかえましょう。

|       |   |  |
|-------|---|--|
|       |   |  |
|       |   |  |
| ×     |   |  |
| <hr/> |   |  |
| 1     | 2 |  |

③  $3 \times 3$  の こたえをかきましょう。

④  $3 \times 4$  の こたえをかきました。

⑤ だいきんは いくらに なりますか。



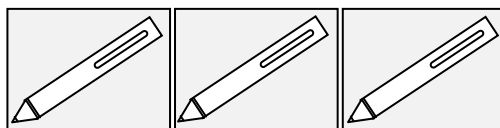
## ぜんぶでいくら

1 ぽん 92 えんの ボールペンを 3 ぽん かいしました。

だいきんは いくらに なりますか。

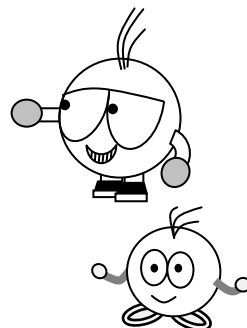
92

えん



3

ぽん



## ひっさんで やってみましょう。

① どんな かけざんになりますか。

×

=

1 ぽんの ねだん

かった かず

だいきん

② ひっさんの かたちにかきかえましょう。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |

×

---

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

③  $3 \times 2$  の こたえをかきましょう。

④  $3 \times 9$  の こたえをかきましょう。

⑤ だいきんは いくらに なりますか。

## 指導ポイント&ヒント

### 第15課 「くりあがりのある かけざん」

【指導内容】① (2位数) × (1位数) の掛け算で十の位で繰り上がりのある計算の方法を理解する。

【日本語】① 「Vずに〜」(例)「忘れずに〜。」 \* Vは動詞

② 「正方形」「長方形」「辺」

【概念図】

① (2位数) × (1位数) で十の位で繰り上がりのある場合の筆算方法を教える。

② (2位数) × (1位数) で十の位で繰り上がりがあり、かつ、答が(3位数)になる場合の筆算方法を教える。

③ (2位数) × (1位数) で十の位で繰り上がりのある掛け算に慣れさせる。

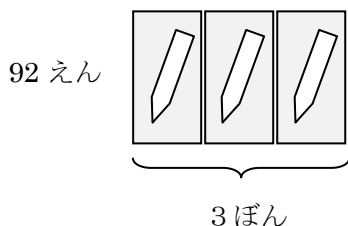
④ 買い物以外の場面で掛け算が用いられることを教える。

【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、教科書は既知のものとして省略してある物事があるため、この課では次のような点に配慮して教科書の書き換えをしました。

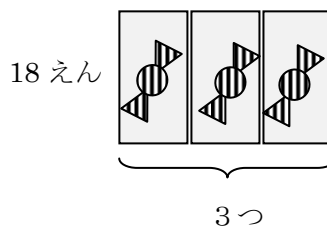
① 繰り上がりのある筆算だけをまとめて扱うために課を変えた。

② 場面が変わることによる混乱を避けるため、14課の図と似せて描いた。

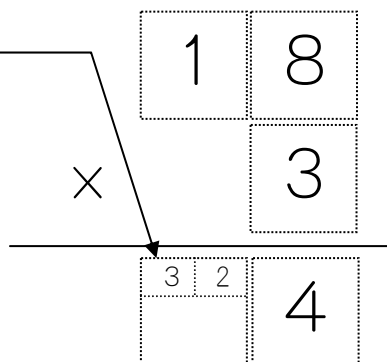
《14課のボールペンの場面》



《15課のキャンディーの場面》



③ ふつう繰り上げた数だけを小さく書くが、  
繰り上がらない数も小さく書かせ、  
小さく書いた数どうし(3+2)を  
足し算させるようにして、足し算を  
忘れないようにした。





## 15課/Lesson 15/Leksyon 15

### ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご     | Words                             | Mga salita        |
|---------|-----------------------------------|-------------------|
| くりあがる   | carry (over)                      | carrying          |
| ちいさく    | smaller                           | sa maliit         |
| きょうかしょ  | school textbook                   | (school) textbook |
| もんだい    | math problem                      | math problem      |
| ちょうせんする | take a challenge                  | subukan           |
| へん      | side                              | gilid             |
| ながさ     | length                            | haba              |
| せいほうけい  | square (right;<br>perfect square) | square/parisukat  |
| まわり     | circumference                     | kabilugan         |

| ぶん                                         | Phrases                                                                | Grupo ng mga salita                                                         |
|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| くりあがりのある かけざん                              | multiplication with carrying                                           | Multiplication na may carrying                                              |
| ちいさく かきます。                                 | Write in smaller (size).                                               | isulat na maliit lamang.                                                    |
| きょうかしょの<br>もんだいに<br>ちょうせんして<br>みましょう。      | Let's challenges to solve<br>math problems in your<br>school textbook. | Subukan mong sagutin ang ilang math<br>problem galing<br>sa iyong textbook. |
| 1つの へんの<br>ながさが 15 cmの<br>せいほうけいが<br>あります。 | There is a square with a<br>side 15 cm long.                           | Ang isang parisukat ay may habang 15 cm sa<br>isang gilid.                  |
| まわりの ながさは<br>なんcmですか。                      | How long will the<br>circumference be?                                 | Gaano kahaba ang kabilugan nito?                                            |

15

# くりあがりのある かけざん

1

(2 位数) × (1 位数) の掛け算で十の位で繰り上がりのある計算①

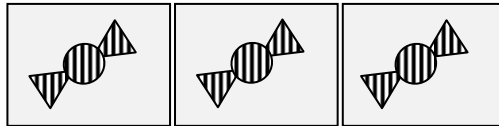
## ぜんぶで いくら

1 つ 18 えんの キャンディーを 3 つ かいました。

だいきんは いくらに なりますか。

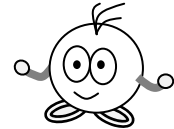
18

えん



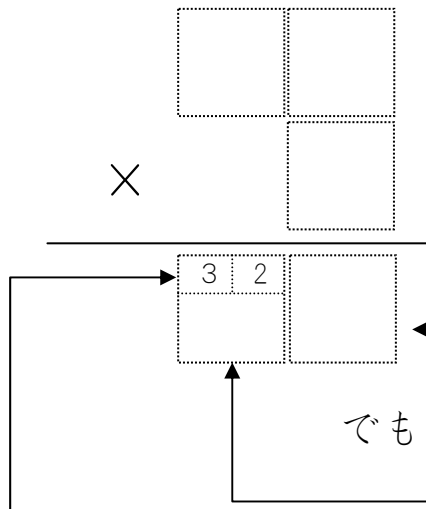
3

つ



## ひっさんで やってみましょう。

① ひっさんの かたちで かきましょう。



②  $3 \times 8$  の こたえ 24 を

かきましょう。

でも、24 の 2 は ちいさく かきます。

③  $3 \times 1$  の こたえを

ここに ちいさく かきます。

④ 3 と 2 を たします。その こたえを ここに かきます。

⑤ だいきんは いくらに なりますか。

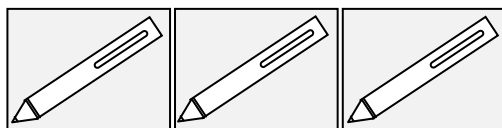
## ぜんぶで いくら

1つ 97 さんの ボールペンを 3 ぶん かいしました。

だいきんは いくらに なりますか。

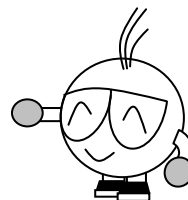
97

さん



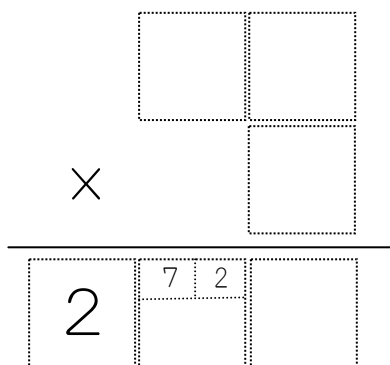
3

ぶん



## ひっさんで やってみましょう。

① ひっさんの かたちで かきましょう。



②  $3 \times 7$  の こたえ 21 を かきましょう。

でも、21 の 2 は ちいさく かきます。

③  $3 \times 9$  の こたえ 27 を かきましょう。

でも、27 の 7 は ちいさく かきます。

④ ちいさく かいた 7 と 2 を たしましょう。

その こたえを こここに かきましょう。

⑤ だいきんは いくらに なりますか。

3

## ひっさんで けいさんしてみましょう

①  $14 \times 7$

②  $13 \times 5$

③  $24 \times 4$

④  $35 \times 3$

⑤  $25 \times 4$

⑥  $64 \times 3$

①

|       |   |
|-------|---|
| 1     | 4 |
| ×     | 7 |
| <hr/> |   |
| 7     | 2 |
|       |   |

②

|       |   |
|-------|---|
| 1     | 3 |
| ×     | 5 |
| <hr/> |   |
| 5     | 1 |
|       |   |

③

|       |   |
|-------|---|
| 2     | 4 |
| ×     | 4 |
| <hr/> |   |
|       | 1 |
|       |   |

④

|       |  |
|-------|--|
|       |  |
| ×     |  |
| <hr/> |  |
|       |  |
|       |  |

⑤

|       |  |
|-------|--|
|       |  |
| ×     |  |
| <hr/> |  |
|       |  |
|       |  |

⑥

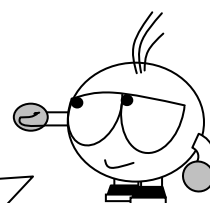
|       |  |
|-------|--|
|       |  |
| ×     |  |
| <hr/> |  |
|       |  |
|       |  |

9 + 1 は 10 なので、

1 はここに、0 はここにかきます。

この もんだいが できたら、

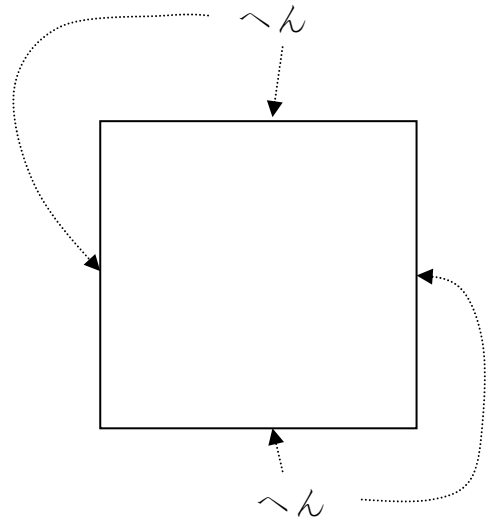
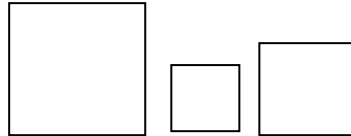
きょうかしょのもんだいに ちょうせんしてみましょう。



4

1つのへんのながさが15cmのせいほうけいがあります。  
このせいほうけいのまわりのながさはなんcmでしょうか。

せいほうけい



① 1つのへんはなんcmですか。

cm

② へんはいくつありますか。

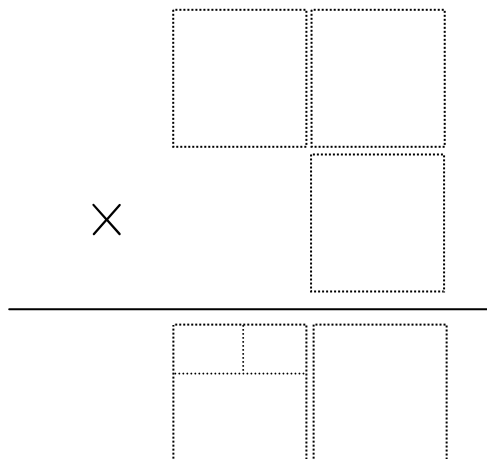
③ かけざんでまわりのながさをもとめましょう。

$$\begin{array}{c} \text{1つのへんのながさ} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{へんのかず} \end{array} = \begin{array}{c} \text{まわりのながさ} \end{array}$$

④ まわりのながさはなんcmですか。

ひっさんで けいさんしましょう。

cm



## 指導ポイント&ヒント

### 第 16 課 「213×3 のかけざん」

【指導内容】 ① (3 位数) × (1 位数) の掛け算の筆算の方法を理解する。

② (3 位数) × (1 位数) で答えが 4 位数になる場合の計算方法を理解する。

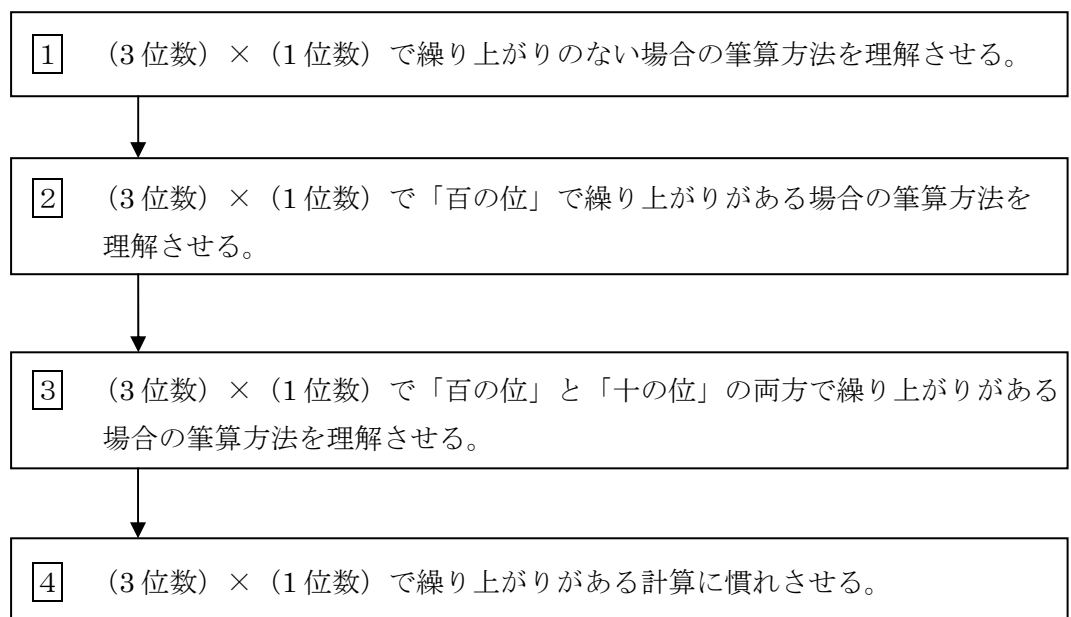
\* 十の位・百の位で繰り上がりのある計算を含む。

【日本語】 ① 「1 単位[数]円の N」 + 「～を[数]単位 V」      \* V は動詞

(例) 1 m213 円のリボンを 3 m 買いました。

\* 「1 m213 円のリボンがあります。それを 3 m 買いました。」と 2 文に分けて場面を説明することが多かったが、ここからはなるべく例文のような複文に慣れさせていく。

【概念図】



【配慮事項】 9 課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10 課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、繰り上がりのある筆算は、足し算の場合も含め、多くの子どもが苦手とする単元です。そこで、本教材では次のような点に配慮して教科書を書き換えました。

① 「筆算のやり方」のみを教え、「筆算の意味」はあえて教えないことにしました。

多くの教科書では次ページの図のように筆算の構造的な説明をしています。限られた補習時間と言葉と基礎知識の下でこの意味を理解するのはかなり難しいと思われます。また、2 位数を掛ける指導に入ったとき、似たような方法で計算するので混乱するおそれもあります。そこで、本教材ではあえて機械的に方法を理解するにとどめました。



《東京書籍の平成 17 年版》

$$312 \times 3$$

$$300 \times 3 = 900$$

$$10 \times 3 = 30$$

$$2 \times 3 = 6$$

↓

$$\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 6 \\ 30 \\ \hline 900 \\ \hline 936 \end{array}$$

《教育出版の平成 14 年版》

筆算の考え方

$$\begin{array}{r} 253 \\ \times 3 \\ \hline 9 \end{array}$$

.....     $\times 3$

$$\begin{array}{r} 150 \\ + 600 \\ \hline \end{array}$$

.....     $\times 3$

.....     $\times 3$

もちろん、補習時間もあり、言葉もある程度は通じ、基礎学習もしっかりとできている子どもには「教科書通り」に「筆算の意味」も指導してください。

②教科書では上記のように「筆算の意味」を丁寧に説明してありますが、「筆算の繰り上がり」の計算方法は、説明していないか、説明があっても教科書によって異なっています。繰り上がりの書き方は指導が難しく、本教材で示した方法も一長一短があり、他の説明より良いというわけではありません。長所は、足し算のときに説明した「繰り上げた数の書き方」と同じであるという点です。足し算の繰り上げのとき、多くの教科書が採用している「繰り上げた数を上に書く」という方法をとらなかった理由は、掛け算のときにも同じ書き方にしておいた方が混乱しないと大蔵が経験的にとらえていたからです。

《足し算のときの繰り上げ表記》

↙ 上に小さく書く

$$\begin{array}{r} 1 \\ 345 \\ + 9 \\ \hline 4 \end{array}$$

《掛け算のときの繰り上げ表記》

↘ 下に小さく書く

$$\begin{array}{r} 345 \\ \times 9 \\ \hline 45 \end{array}$$

これだと、同じ「繰り上げ」という作業なのに、2つの方法を学ばないといけない。

本教材で採用している説明の仕方の短所は「教科書と違う」という点、つまり、在籍学級の先生の指導法と違ってしまうという点です。学級担任の指導法と違うということは、子どもが1つの学習内容を2つの方法で学ぶということです。それは子どもを混乱させることになります。もし、この教材を在籍学級とほぼ同じ進度で使う場合は、この課を利用せず、学級担任の指導方法に合わせてください。そうではなく、4年生、5年生など上の学年の子どもで「掛け算の繰り上げ」が習得できていない場合は、この課を

指導してください。

また、子どもが海外で別の方法を学んできた場合は、その方法を尊重してあげてください。「計算方法」や「繰り上げの書き方」などは、あくまでも「手段」です。これは「どの方法が正しい」、「どこの国の方法が正しい」という問題ではありません。

③ ④の問題では繰り上がらない場合でも小さく数字を書かせるようにしました。

そうすると、「小さく書いた数どうし足す」という作業が忘れにくくなります。

$$\begin{array}{r} \begin{array}{|c|c|c|} \hline 1 & 6 & 3 \\ \hline \end{array} \\ \times \qquad \qquad \begin{array}{|c|} \hline 6 \\ \hline \end{array} \\ \hline \begin{array}{|c|c|c|c|c|} \hline 6 & 3 & 6 & 1 & 8 \\ \hline \end{array} \end{array}$$

一般的にはこの6は小さく書かず、暗算で $6 + 1$ をして7をこの欄に書き込みますが、それで混乱する子供には、このようにいったん「6と1」を書いてから「7」を書き込ませるとよいでしょう。百の位の6と3も同じ理由で小さく書かせるようにしました。

16

# 213 × 3 の かけざん

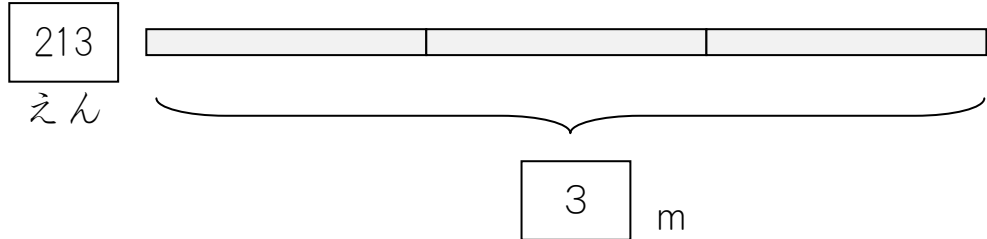
(3 位数) × (1 位数) で繰り上がりのない計算

1

1 m 213 えんの リボンを 3 m かいました。

3 m で だいきんは いくらになりますか。

メートル  
m

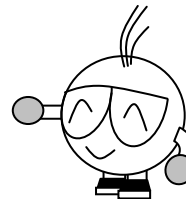
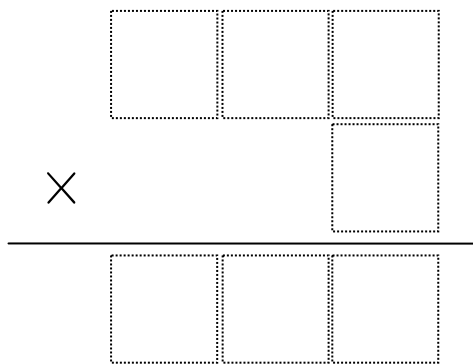


① しきをかきましょう。

$$\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}} = \boxed{\phantom{000}}$$

1 m の ねだん      なん m かったか      だいきん

② ひっさんの しきに しましょう。



③ 3 × 3 の こたえをかきましょう。

④ 1 × 3 の こたえをかきましょう。

⑤ 2 × 3 の こたえをかきましょう。

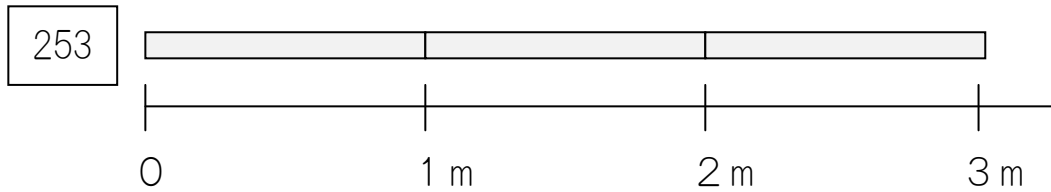
⑥ 3 m で いくらになりますか。

えん

2

1 m 253 えんの リボンを 3 m かいました。

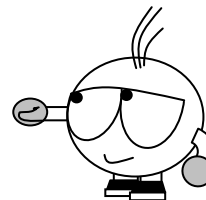
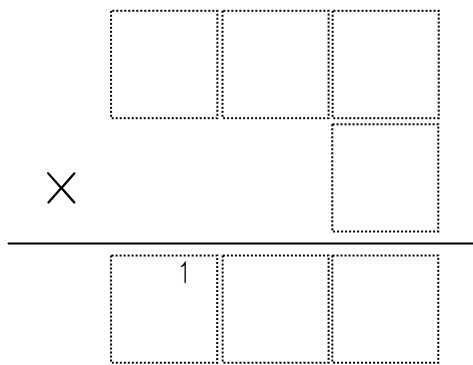
3 m で だいきんは いくらになりますか。



① しきをかきましょう。

|           |   |           |   |      |
|-----------|---|-----------|---|------|
|           | × |           | = |      |
| 1 m の ねだん |   | なん m かったか |   | だいきん |

② ひっさんの しきにしましょう。



③  $3 \times 3$  の こたえをかきましょう。

④  $5 \times 3$  の こたえ 15 を かきましょう。

1 は ちいさく かきます。

⑤  $2 \times 3$  の こたえ 6 と ちいさくかいた 1 を

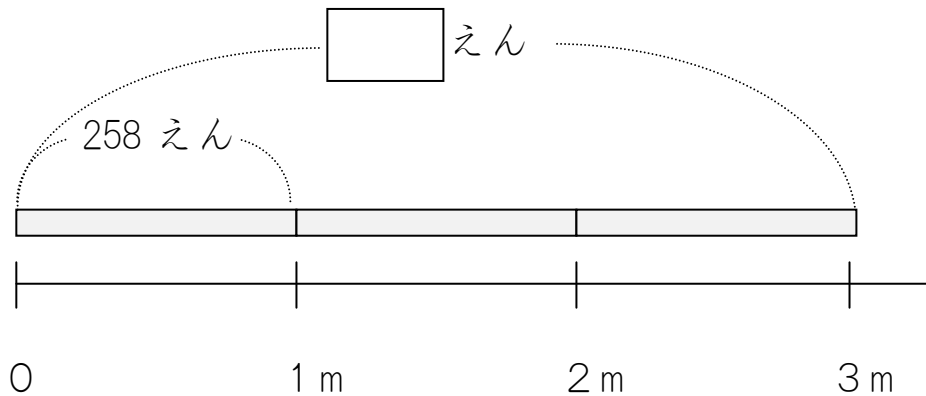
たしたこたえ 7 を かきましょう。

⑥ 3 m で いくらになりますか。

 えん

3

1 m 258 へののリボンが 3 m でいくらになりますか。



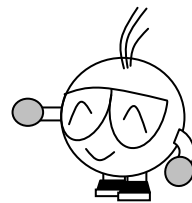
① しきをかきましょう。

$$\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}} = \boxed{\phantom{000}}$$

1 m の ねだん      なん m かったか      だいきん

② ひっさんのしきにしましょう。

$$\begin{array}{r} \boxed{\phantom{00}} \boxed{\phantom{00}} \boxed{\phantom{00}} \\ \times \phantom{00} \boxed{\phantom{00}} \boxed{\phantom{00}} \boxed{\phantom{00}} \\ \hline \boxed{7} \boxed{1} \boxed{5+2} \boxed{4} \end{array}$$

③  $8 \times 3$  のこたえ 24 をかきます。

2 はちいさくかきます。

④  $5 \times 3$  のこたえ 15 をかきましよう。

5 はちいさくかきます。

1 もちいさくかきます。

⑤  $5 + 2$  のこたえ 7 をかきます。⑥  $2 \times 3$  のこたえ 6 とちいさくかいた

1 をたしたこたえ 7 をかきましよう。

⑦ 3 m でいくらになりますか。

へ

4

つぎの かけざんを ひっさんで しましょう。

(1)  $163 \times 6$

(2)  $302 \times 8$

(1)

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 1     | 6 | 3 |
|       |   | 6 |
| <hr/> |   |   |
| 6     | 3 | 6 |
| 1     | 8 |   |

$6 \times 3 = 18$  の 8 を かきます。  
 1 は ここに ちいさく かきます。

$6 \times 6 = 36$  の 36 を ちいさく かきます。  
 $6 + 1$  のこたえをかきます。

$6 \times 1 = 6$  の 6 を ちいさく かきます。  
 $6 + 3$  のこたえをかきます。

(2)

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 3     | 0 | 2 |
|       |   | 8 |
| <hr/> |   |   |
| 2     | 4 | 0 |
| 1     |   |   |

$8 \times 2 = 16$  の 6 を かきます。  
 1 は ここに ちいさく かきます。

$8 \times 0 = 0$  の 0 を ちいさく かきます。  
 $0 + 1$  のこたえをかきます。

$8 \times 3 = 24$  を かきます。

## 指導ポイント&ヒント

### 第17課 「どこから かけても おなじ」

【指導内容】① 3つの掛け算が用いられる場面を理解する。

② 3つの掛け算は、どれを先にかけても答えは同じになることを知る。

③ ( ) を使って3つの掛け算を計算する方法を理解する。

【日本語】① 「[物]が[場所]に[数量]入っている。」という表現の複雑な言い方に慣れる。

(例) 「1個 85 円のケーキが 1 箱に 4 個ずつ入っています。」

【概念図】

① 3つの掛け算はどこからかけても答えが同じであること（結合の法則）を理解させる。

・ 1 個 60 円のお菓子が 1 箱に 4 個ずつ入っており、それが 2 箱ある場面。

・ 1 箱が何円かを先に求め、2 箱分でいくらかを求める方法。

↓

・ 全部で何個あるかを先に求め、それに 1 個の値段をかけて代金を求める方法。

② 3つの掛け算を工夫して計算することに気付かせる。

・  $90 \times 3 \times 2$  の計算で、 $90 \times 3$  を先に計算した場合と

$3 \times 2$  を先に計算した場合とを比べさせ、

どちらがその後の計算がしやすくなるかを考えさせる。

③ 3つの掛け算の文章題に慣れさせる。

【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、省略や説明にアンバランスな個所（下記参照）も見受けられるため、本教材では次のような点に配慮して教科書を書き換えました。

- ① 2つの解き方を説明するとき、片方だけ（ ）を使って説明するのではなく、両方とも（ ）を使って説明する。⇒片方の解き方にだけ（ ）を使うと、全く別の計算をしているような誤解をした子どもが少なくなかったことに対する配慮。細かいニュアンスが伝わらない状態での学習は、時として指導者の予測を超えた誤解を発生させかねない。
- ② 2つの計算方法について最後の問題まで下記のような「手引」をした。ただ、親切すぎる「手引」は自立の障碍になることもあるので、手引が必要のない子どもには、早めに教科書の問題に戻るようにする。

《 41 × 5 × 2 の計算を2つの方法でさせる例 》

①  $(41 \times 5) \times 2$

$$41 \times 5 = \square$$
$$\square \times 2 = \square$$

↑ 41 × 5 のこたえ

②  $41 \times (5 \times 2)$

$$5 \times 2 = \square$$
$$41 \times \square = \square$$

↑ 5 × 2 のこたえ

いちいち計算の  
手順を示した。





## 17課/Lesson 17/Leksyon 17

### ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご    | Words                   | Mga salita                       |
|--------|-------------------------|----------------------------------|
| どこから   | from where; which first | saan magsisimula/alín ang unahin |
| 1 つにする | combine                 | pagsamahin                       |
| どっち    | which one               | alín                             |
| ほう     | (which) way/one         | paraan                           |
| さきに    | first; ahead            | una; mas nauna                   |

| ぶん                                       | Phrases                                                          | Grupo ng mga salita                                        |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| どこから かけても<br>おなじ                         | The answer will be same regardless of withch you multiply first. | Pareho lang ang sagot kahit alín ang unahin imultiply.     |
| この 2 つの しきを<br>1 つにすると<br>こうなります。        | If we combine these 2 equations, it will look like this.         | Kung pagsamahin natin ang 2 equations, ganito ang resulta. |
| どっちの ほうが<br>かんたんでしょうか。                   | Which is easier?                                                 | Alín sa dalawa ang mas madaling gawin?                     |
| ( ) は、ここを<br>「さきに<br>けいさんした」という<br>いみです。 | ( ) means, this number was calculated first.                     | Ibig sabihin ng ( ) ay ito ang naunang kinalkula.          |

17

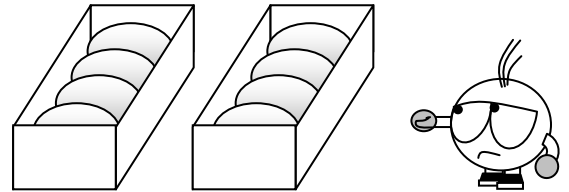
# どこから かけても おなじ

1

3つの掛け算はどこから掛けても結果が同じになること（結合の法則）の理解

1はこに 60 円のおかしが 4 こずつはいっています。

2はこでだいきんはいくらになりますか。



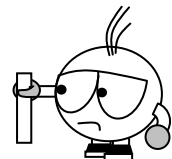
## 1はこが いくらかを さきに けいさん

① 60 円のおかしが 4 つでいくらになりますか。

しきを かきましょう。

$$\boxed{\phantom{60}} \times \boxed{\phantom{4}} = \boxed{\phantom{240}}$$

60 円                      4 つ                      いくら



② 1はこ 240 円です。2はこでいくらになりますか。

$$\boxed{\phantom{240}} \times \boxed{\phantom{2}} = \boxed{\phantom{480}}$$

240 円                      2はこ                      いくら

この 2 つの しきを 1 つにすると こうなります。

$$\left( \boxed{60} \times \boxed{4} \right) \times \boxed{2} = \boxed{480}$$

60 円                      4 つ                      2はこ                      いくら



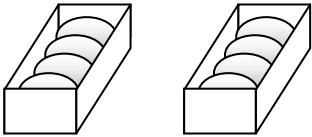
( ) は、ここを「さきに けいさんした」という いみです。

## ぜんぶで なんこ あるかを さきに けいさん

① 1 はこに 4 こ はいっています。2 はこで なんこ になりますか。

$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

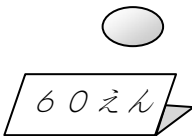
4 こ                      2 はこ                      いくつ



② 1 こ 60 えんです。8 こでいくらになりますか。

$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

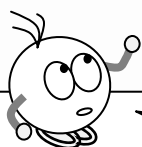
60 えん                      8 こ                      いくら



この 2 つの しきを 1 つにすると こうなります。

$$\boxed{60} \times \left( \boxed{4} \times \boxed{2} \right) = \boxed{480}$$

60 えん                      4 つ                      2 はこ                      いくら



こんどは、ここを さきに  
けいさんしたのですね。

3 つの かけざんでは、どっちを さきに けいさんしても、  
こたえは おなじです。

$$(60 \times 4) \times 2 = 480$$

$$60 \times (4 \times 2) = 480$$

2

2つの ほうほうで けいさんしてみましょう。

どっちの ほうが かんたんでしょうか。

$$(1) 90 \times 3 \times 2$$

$$(2) 41 \times 5 \times 2$$



$$(1) 90 \times 3 \times 2$$

$$\textcircled{1} (90 \times 3) \times 2$$

|                                   |                      |
|-----------------------------------|----------------------|
| $90 \times 3 =$                   | <input type="text"/> |
| <input type="text"/> $\times 2 =$ | <input type="text"/> |
| <small>90 × 3 のこたえ</small>        |                      |

$$\textcircled{2} 90 \times (3 \times 2)$$

|                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| $3 \times 2 =$                   | <input type="text"/>     |
| $90 \times$ <input type="text"/> | $=$ <input type="text"/> |
| <small>3 × 2 のこたえ</small>        |                          |

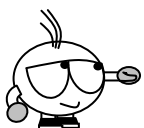
$$(2) 41 \times 5 \times 2$$

$$\textcircled{1} (41 \times 5) \times 2$$

|                                   |                      |
|-----------------------------------|----------------------|
| $41 \times 5 =$                   | <input type="text"/> |
| <input type="text"/> $\times 2 =$ | <input type="text"/> |
| <small>41 × 5 のこたえ</small>        |                      |

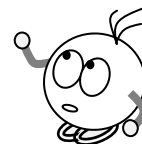
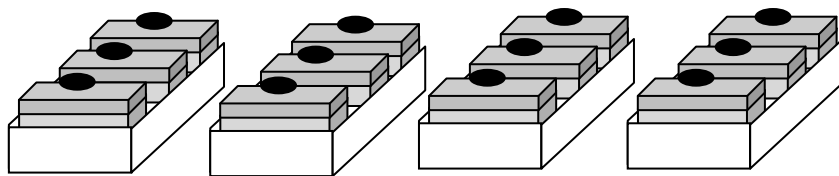
$$\textcircled{2} 41 \times (5 \times 2)$$

|                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| $5 \times 2 =$                   | <input type="text"/>     |
| $41 \times$ <input type="text"/> | $=$ <input type="text"/> |
| <small>5 × 2 のこたえ</small>        |                          |



1こ85えんのケーキが1はこに3こずつはいっています。

4はこかうと、だいきんはいくらになりますか。



① 3つの かけざんに しましょう。

|                                                                                                 |   |                                                                                                 |   |                                                                                                 |   |                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | × | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | × | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | = | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> |
| ケーキ1このねだん                                                                                       |   | 1はこにいくつ                                                                                         |   | なんはこあるか                                                                                         |   | ぜんぶでいくら                                                                                         |

( ) の ところが さきでしたね。



② (85 × 3) × 4 の けいさんを しましょう。

はじめの けいさん

|                                                                                                 |   |                                                                                                 |   |                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | × | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | = | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|

つぎの けいさん

|                                                                                                 |   |                                                                                                 |   |                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | × | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | = | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|

③ 85 × (3 × 4) の けいさんを しましょう。

はじめの けいさん

|                                                                                                 |   |                                                                                                 |   |                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | × | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | = | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|

つぎの けいさん

|                                                                                                 |   |                                                                                                 |   |                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | × | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> | = | <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; display: inline-block;"></div> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 指導ポイント&ヒント

### 第18課 「4×30の かけざん」

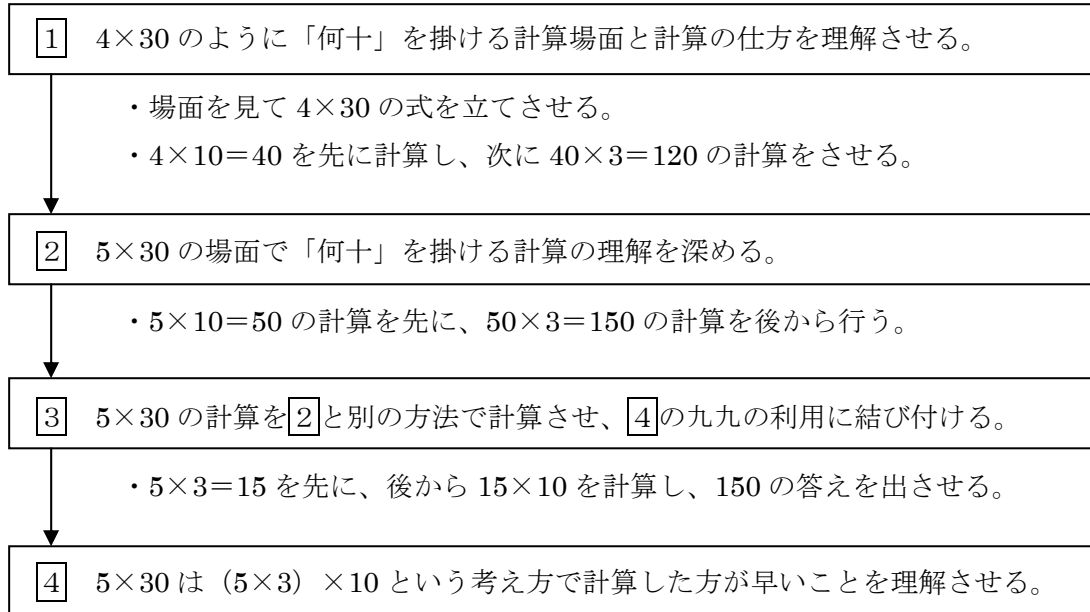
- 【指導内容】 ① (1位数) × (何十) の掛け算場面と計算の方法を理解する。
- ②  $4 \times 30$  のような掛け算は、 $4 \times 3 \times 10$  で計算でき、その答えは  $4 \times 3$  の積に「0」を加えた形になることに気づく。

(例)  $4 \times 3 \times 10 =$

$4 \times 3 = 12$       12に0を付けて、答えは120。

- 【日本語】 ① [数量]+[動詞の連用形]の言い方    (例) 5人掛け 3枚入り 6人乗り 10階建て

#### 【概念図】



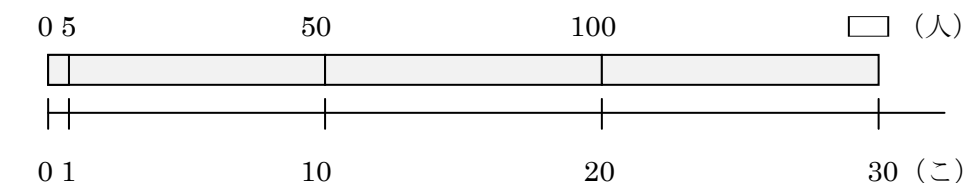
- 【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、教科書では一度に2つのことを考える場面があり、日本語という第二言語と格闘しながら、同時に2つの教科概念を駆使するのが困難な子どももいます。そこで、本教材では次のような点に配慮して教科書を書き換えました。

- ①元にする量の何倍かを考えさせるとき、テープ図を使わず、場面図だけで考えさせた。

(例) 5人がけの椅子30脚で何人座れるかを求める場面

《教科書の取り扱い例》

いったんテープ図に置き換えて式を考えさせる。



式

$$\boxed{1 \text{ このいすにすわれる人数}} \times \boxed{\text{いすの数}} = \boxed{\text{ぜんぶの人数}}$$

＊椅子は「脚で数えますが、数詞は難しいので、この段階では「こ」で数えるようにしました。

＊限られた日本語力と基礎知識で学習する子どもにとって、具体的な場面から、いったんテープ図のような抽象化された場面に移して考えるのは容易ではありません。学習が困難な場合は、本教材のように具体的な場面だけで指導するとよいでしょう。

② 2つの計算方法について、一度に扱うのではなく、間を置いて別々に扱うことで混乱を回避した。

（例） $5 \times 30$ の計算を2つの方法でさせる場合

《教科書の例》

$(5 \times 10) \times 3 =$  と  $(5 \times 3) \times 10 =$  を 併記して掲載。

③教科書の文をイラスト化して、言葉による理解をしなくてもよいようにした。

数学的な概念を言葉で説明しようとするすると複雑な文になってしまうことがあります。

この課で扱った部分でも、限られた日本語力と基礎知識で学習する子どもには、すぐに分からないような説明がされている場合があります。

（例）「 $5 \times 30$ の答えは、 $5 \times 3$ の答えの10倍だから、15の右に0を1こつけた数になります。」

「 $5 \times 3$ の答えの10倍」ということが、なぜ、「15の右に0を1こつける」ことになるのか、日本語では理解できない子どももいます。本教材では無理に言葉で説明せず、「右に0がつく」ことだけをイラストで表し、日本語が上達するまでは直感で「何となく」分かればよいことにしました。



## 18課/Lesson 18/Leksyon 18

### ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご  | Words                | Mga salita               |
|------|----------------------|--------------------------|
| れつ   | row                  | hanay                    |
| シール  | stickers             | istiker                  |
| 5まいり | contents of 5 pieces | pang-limahan (ang laman) |
| やっぱり | as expected          | gaya ng inaasahan        |

| ぶん                                       | Phrases                                                   | Grupo ng mga salita                                             |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| この れつの<br>にんずうを<br>けいさんします。              | We calculate the number of people on this row.            | Kalkulahin muna ang isang hanay ng mga tao.                     |
| 1つの ふくろに<br>シールが 5まいずつ<br>はいています。        | There are 5 stickers in each envelope/bag.                | Mayroong tig-5 istiker sa bawat supot.                          |
| 5まいりの ふくろ                                | a envelope/bag with 5 pieces of something                 | pang-limahang supot/sobre                                       |
| やっぱり $5 \times 30$ の<br>けいさんは<br>たいへんだから | As expected, since calculating $5 \times 30$ is not easy. | Gaya nang inaasahan, dahil mahirap kalkulahin ang $5 \times 30$ |

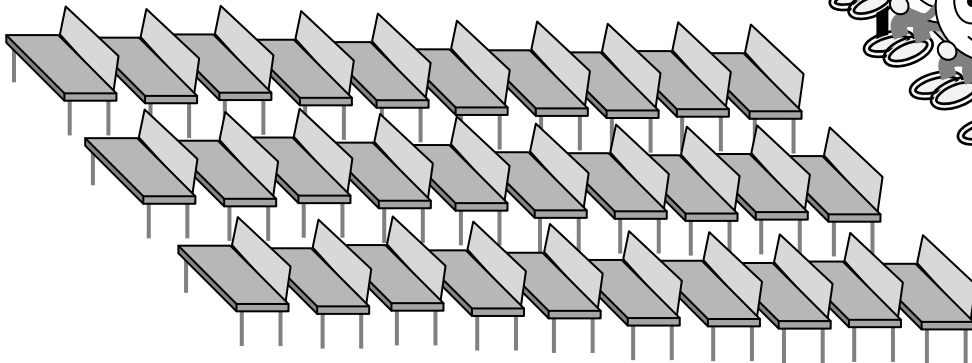


1

何十を掛ける計算の方法

4 にんがけの いすが 30 こ あります。

ぜんぶで なんにん すわれますか。



① 4 にんずつ 30 こ だから、かけざんが つかえますね。

4

×

30

=

1 この いすに  
すわる にんずう

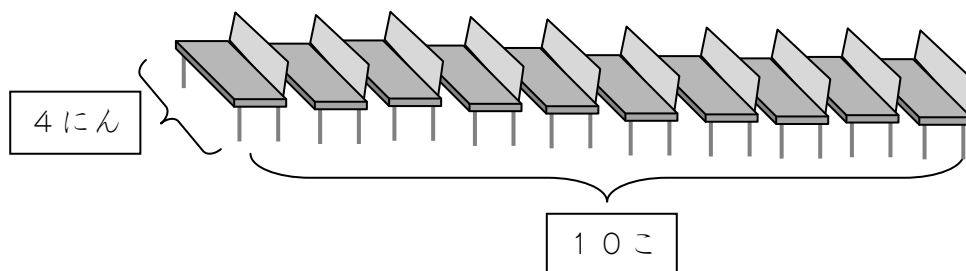
いすの かず

ぜんぶの にんずう



② でも、4 × 30 の けいさんは たいへんだから、

はじめに この れつの にんずうを けいさんします。



×

=

③ これが 3 つぶんだから、

×

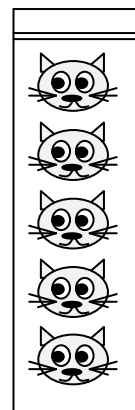
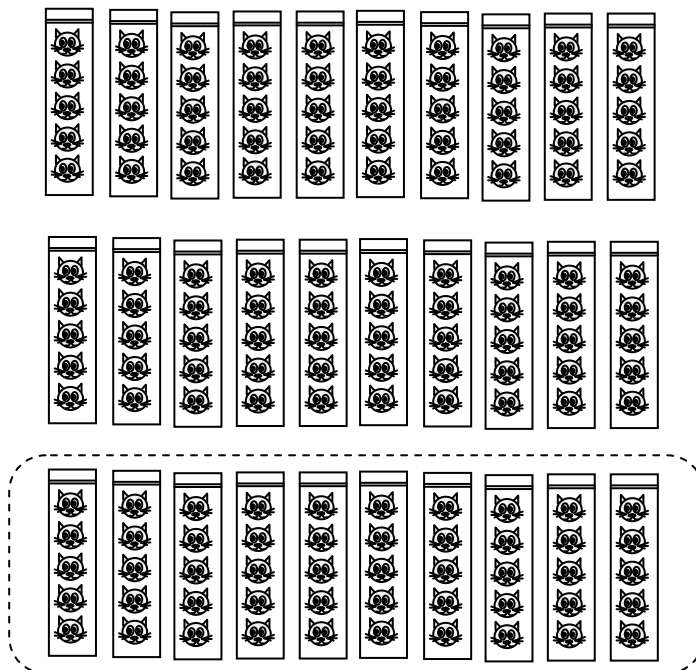
3

=

1つの ふくろに シールが 5まいずつ はいっています。

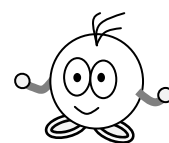
ふくろは 30あります。

ぜんぶで シールは なんまい あるでしょうか。



① 5まいりの ふくろが 30だから、かけざんが つかえますね。

$$\square \times \square = \square$$



② でも、 $5 \times 30$ の けいさんは たいへんだから、

はじめに、  の ところだけを けいさんしましょう。

$$\square \times \square = \square$$

③ これが3つぶんだから、

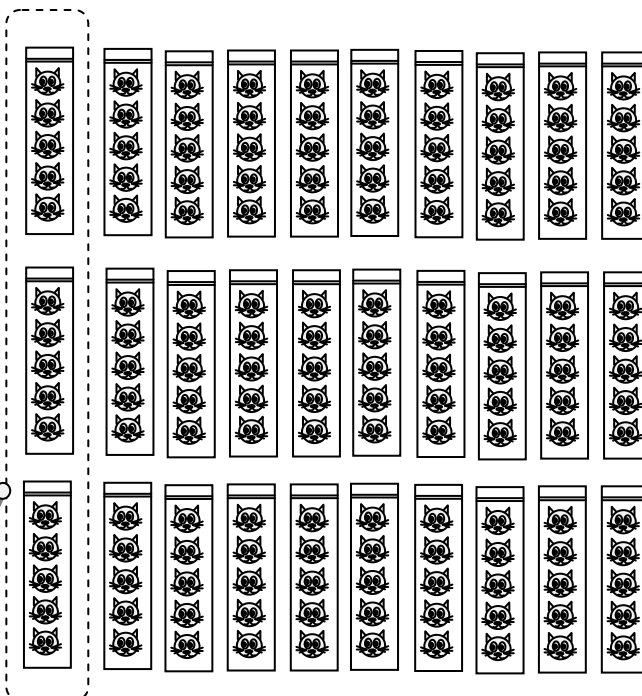
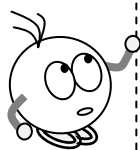
$$\square \times \square = \square$$

これが こたえ。



2 の もんだいをほかのほうほうでやってみましょう。

こんどは ここを  
さきに けいさん  
してみましょう。



① やっぱり  $5 \times 30$  の けいさんは たいへんだから、

はじめに、 の ところだけを けいさんします。

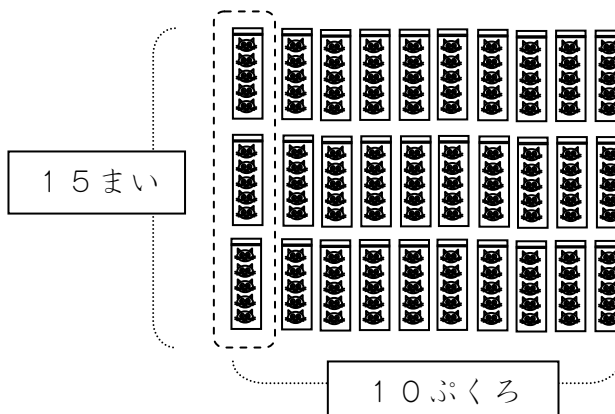
5 まいいりの ふくろが 3 つ だから、しきは どうなりますか。

$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

② これが 10 ふくろぶん だから、

$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

これが こたえ。



$$(5 \times 3) \times 10 = 150$$

15

の 10 ばいは、

15

0

☆ ☆  
15 0

150 です。

ということは、もしかしたら こうかもしれません。

$$(4 \times 4) \times 10 =$$

16

の 10 ばいは、

16

0

☆ ☆  
16 0

160

★つぎの かけざんを この ほうほうで けいさんして みましょ。う。

こたえを せんせいに きいて、たしかめましょ。う。

①  $(3 \times 4) \times 10 =$

12

②  $(9 \times 2) \times 10 =$

## 指導ポイント&ヒント

### 第19課 「21×14の けいさん」

【指導内容】① (2位数) × (2位数) の掛け算の筆算を理解する。

【日本語】① 順番を表す言い方に慣れる。

(例) まず そして つぎに さいごに

【概念図】

① (2位数) × (2位数) の考え方と筆算の方法を理解させる。

- ・  $21 \times 14$  の計算場面を把握させる。
- ・ 14 を 10 と 4 に分けて計算する。  $21 \times 10 = 210$      $21 \times 4 = 84$
- ・ 上記の考え方を基に  $21 \times 14$  の筆算の方法を教える。

② (2位数) × (2位数) で繰り上がりのない筆算に慣れさせる。

③ (2位数) × (2位数) で繰り上がりがある筆算の仕方を理解させる。～1

- ・  $23 \times 26$  の筆算で、先に計算をする  $23 \times 6$  のところで繰り上がりがある場合。

④ (2位数) × (2位数) で繰り上がりがある筆算の仕方を理解させる。～2

- ・  $39 \times 75$  の筆算で、 $39 \times 5$  でも  $39 \times 7$  でも繰り上がりがある場合。

⑤ (2位数) × (2位数) で繰り上がりがある筆算に慣れさせる。

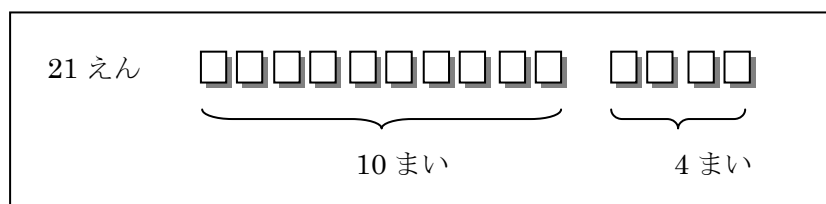
【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、本課では、多くの子ども達が苦手とする「繰り上がり」のある計算を扱っているため、繰り上がりする個所を中心に下記のような配慮をしました。

①問題を今まで一番慣れている場面で導入した。

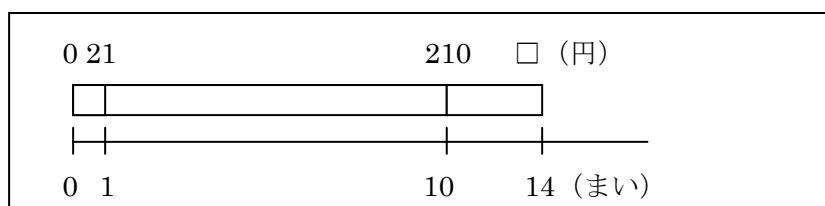
1枚□円の画用紙を□枚買った場合の代金を求める場面にする。

\*教科書によっては、代金ではなく「配るための枚数」を求める場面で導入しているものがある。

図の描き方も慣れた下図を使う。



次のようなテープ図で導入すると、掛ける数の14を10と4に分ける際、もう一度上図のような形にしなくてはならず、混乱しやすい。



- ② 1が  $21 \times 14$  2が  $32 \times 12$  3が  $23 \times 26$  というように、掛ける数も掛けられる数も、 $1 \cdot 2 \cdot 3$ を中心に使い、九九の苦手な子どもや九九をまだ覚えていない子どもに配慮した。

＊掛け算も3年生の内容に入ると、2年生で学んだ九九は習得済みと見なして説明を進めたり、いろいろな段の九九を使った計算をさせたりすることが多い。しかし、九九を十分に習得していないことも珍しくないので注意が必要。

- ③繰り上がりに不慣れな子どものために、繰り上がる位の□に繰り上がった数を書く小さな欄を設けただけでなく、繰り上がりのない場合もいったん小さな欄に数を書くようにした。

$6 \times 3 = 18$ の十の位の1と  
 $6 \times 2 = 12$ の一の位の2の  
 両方を小さな□に書かせ、  
 そのあと、 $2 + 1$ の計算をさせる。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   | 2 |   | 3 |   |
| × | 2 |   | 6 |   |
|   |   |   |   |   |
|   | 1 | 2 | 1 | 8 |



## 19課/Lesson 19/Leksyon 19

ようご と ぶん / Words and phrases / Mga Salita

| ようご | Words  | Mga salita |
|-----|--------|------------|
| うえ  | top    | sa itaas   |
| した  | bottom | sa ibaba   |

| ぶん                    | Phrases                                              | Grupo ng mga salita                                               |
|-----------------------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| さいごに うえと<br>したを たします。 | Lastly, add the numbers on<br>top and at the bottom. | Sa panghuli, pagsamahin ang mga bilang na<br>nasa itaas at ibaba. |

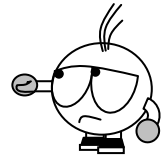
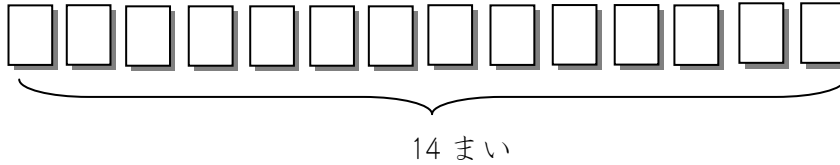
1

(2桁) × (2桁) の考え方と筆算方法の理解

21 えんのがようしを 14 まいかいます。

だいきんはいくらになりますか。

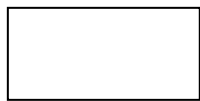
21 えん



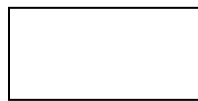
## (2けた) × (2けた) の かけざん

① しきを かきましょう。

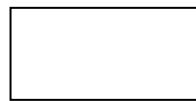
これも かけざんですね。



×



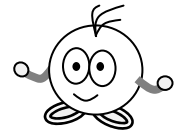
=



1 まい いくら

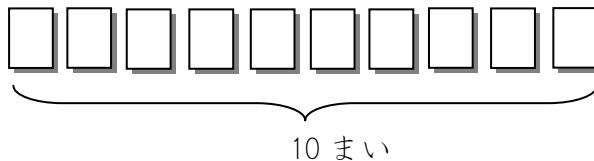
なんまい

ぜんぶで いくら

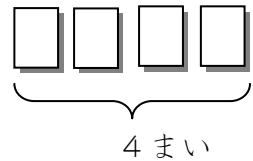


② 14 まいを 10 まいと 4 まいにわけて かんがえましょう。

21 えん



21 えん

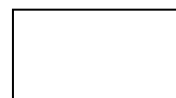


21 × 14

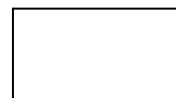
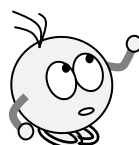
21 × 10 =



21 × 4 =

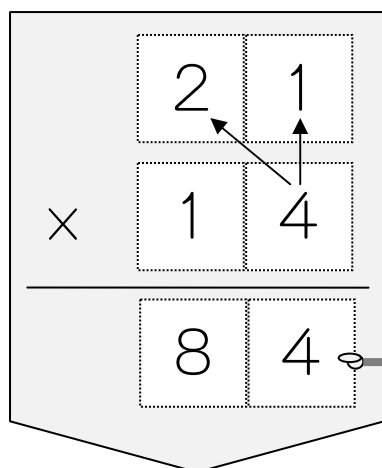

□に すうじを  
かきましょう。


あわせていくつですか。





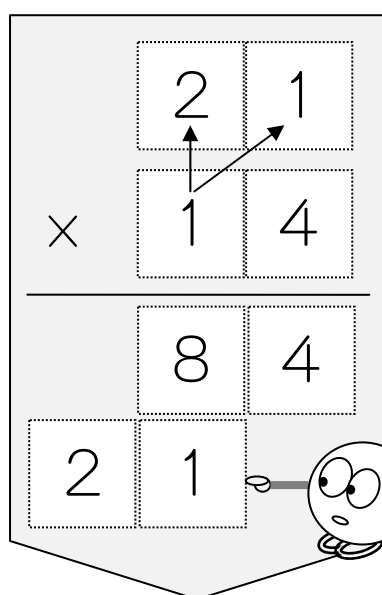
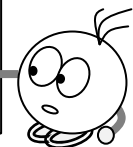
③ ひっさんのかたちにししょう。



まず、 $21 \times 4$ のけいさんをします。

そのこたえの84を

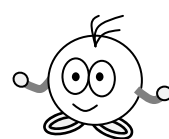
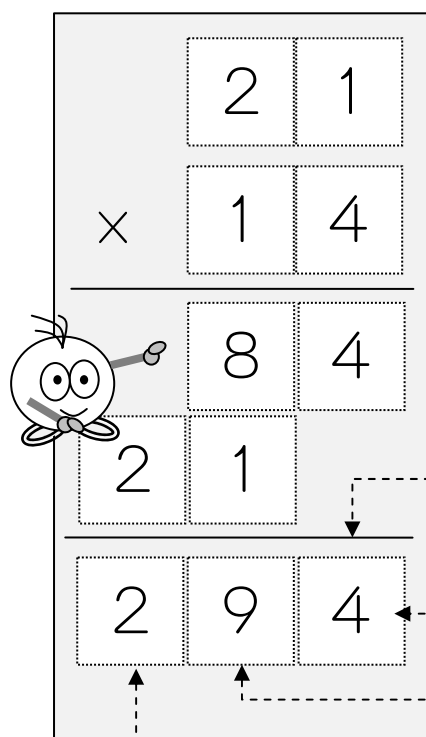
ここにかけます。



つぎに、 $21 \times 1$ のけいさんをします。

そのこたえの21を

ここにかけます。



さいごに、うえとしたをたします。

● まず、せんをひいて、

● 4はしたになにもないからそのまま4。

● 8と1で9。

● 2はうえになにもないからそのまま2。

2

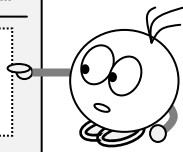
32 × 12 のかけざんを ひっさんで してみましょう。

|       |   |   |
|-------|---|---|
|       | 3 | 2 |
| ×     | 1 | 2 |
| <hr/> |   |   |
|       |   |   |
|       |   |   |

まず、32 × 2 の けいさん を します。

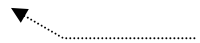
その ことえを

ここに かきます。



つぎに、32 × 1 の けいさん を します。

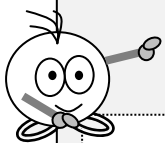
その ことえをここに かきます。



さいごに、うえと したを たします。



|       |   |   |
|-------|---|---|
|       | 3 | 2 |
| ×     | 1 | 2 |
| <hr/> |   |   |
|       |   |   |
|       |   |   |



● まず、せんを ひいて、

● 4 は したになにもないから そのまま□。

● 6 と 2 で□。

● 3 は うえになにもないから そのまま□。

3

23 × 26 のかけざんを ひっさんで してみましょう。

|       |   |   |   |
|-------|---|---|---|
|       | 2 | 3 |   |
| ×     | 2 | 6 |   |
| <hr/> |   |   |   |
| 1     | 2 | 1 | 8 |
|       |   |   |   |

まず、23 × 6 の けいさん を します。

$$6 \times 3 = 18$$

$$6 \times 2 = 12$$

でも、18 の 1 は ちいさく かきます。

12 の 2 も ちいさく かきます。

そして、ちいさく かいた 2 と 1 を たします。

その ことえをここに かきます。

|       |   |   |   |
|-------|---|---|---|
|       | 2 | 3 |   |
| ×     | 2 | 6 |   |
| <hr/> |   |   |   |
| 1     | 2 | 1 | 8 |
|       | 3 |   |   |
| <hr/> |   |   |   |
|       |   |   |   |

つぎに、23 × 2 の けいさん を します。

$$2 \times 3 = 6$$

$$2 \times 2 = 4$$

6 と 4 を ここに かきます。

さいごに うえと したを たします。

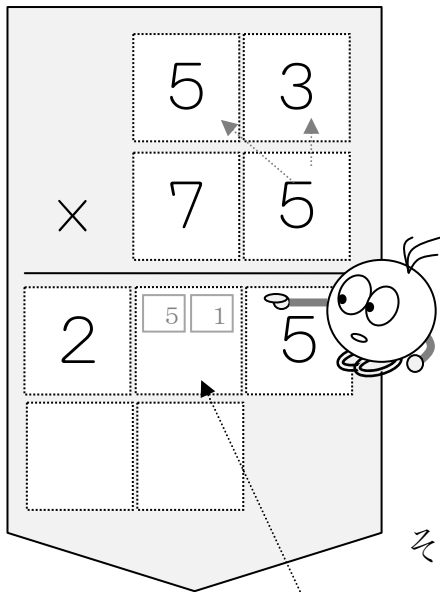
● 8 は した に なにもないから そのまま□。

● 3 と 6 で□。

● 1 と 4 で□。

4

53 × 75 のかけざんを ひっさんで してみましょう。



まず、53 × 5 の けいさんを します。

$$5 \times 3 = 15$$

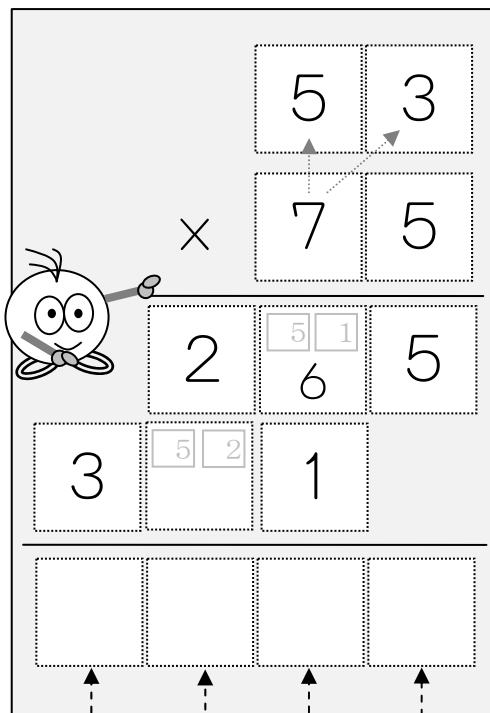
$$5 \times 5 = 25$$

でも、15 の 1 は ちいさく かきます。

25 の 5 も ちいさく かきます。

そして、ちいさく かいた 5 と 1 を たします。

その ことえをここに かきます。



つぎに、53 × 7 の けいさんを します。

$$7 \times 3 = 21$$

$$7 \times 5 = 35$$

でも、21 の 2 は ちいさく かきます。

35 の 5 も ちいさく かきます。

ちいさく かいた 5 と 2 を たします。

さいごに うえと したを たします。

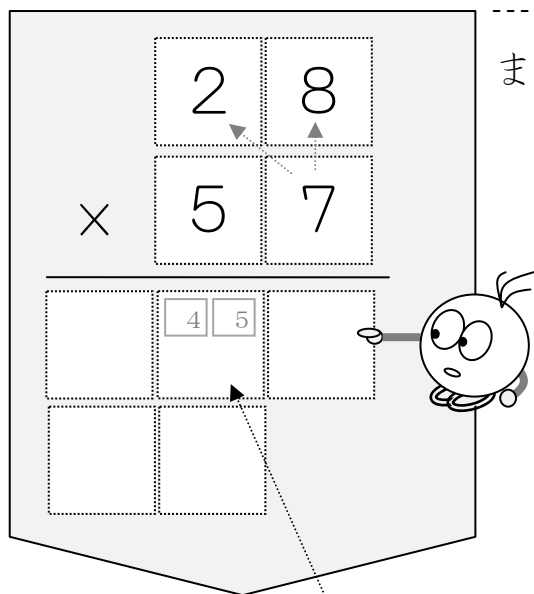
● 5 は したになにもないから □。

● 6 と 1 で □。

● 2 と 7 で □。

● 3 は うえになにもないから □。

28 × 57 のかけざんを ひっさんで してみましょう。



まず、28 × 7 の けいさん を します。

$$7 \times 8 = 56$$

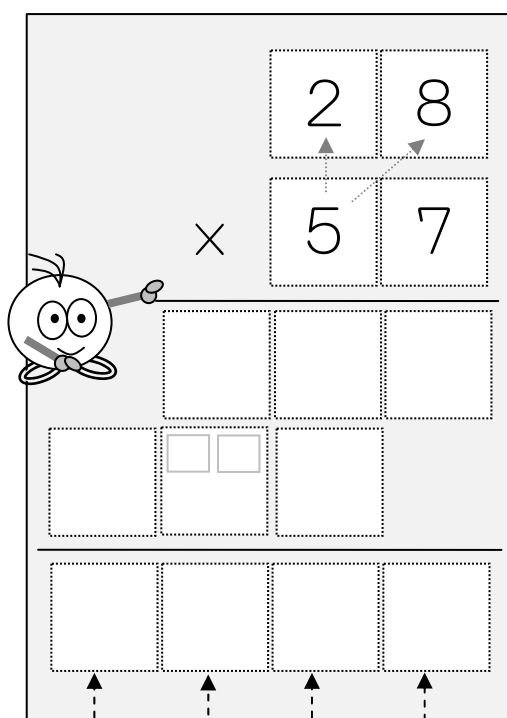
$$7 \times 2 = 14$$

でも、56 の 5 は ちいさく かきます。

14 の 1 も ちいさく かきます。

ちいさく かいた 4 と 5 を たします。

その ことえを ここに かきます。



つぎに、28 × 5 の けいさん を します。

$$5 \times 8 = 40$$

$$5 \times 2 = 10$$

でも、40 の 4 は ちいさく かきます。

10 の 0 も ちいさく かきます。

ちいさく かいた 0 と 4 を たします。

さいごに うえと したを たします。

● 6 は した に なにも ない から □。

● 9 と 0 で □。

● 1 と 4 で □。

● 1 は うえ に なにも ない から □。